このたびはMIRAGEをお買い上げいただき,ありがとうございます。

J09200101227

この取扱説明書は,お客様のお車をいつも安全・快適に運転していただくための正しい取り扱いについて説明しています。
また,お車のお手入れや万一のときの処置についても記載してありますので,ご使用前に必ずお読みください。

安全に関する表示

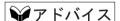
- 運転者や他の人が傷害を受けるおそれがあることと,その回避方法をつぎの表示で記載しています。重要な事項ですので必ず読んでお守りください。

記載事項を守らないと,死亡や重大な傷害につながるおそれがあること。

記載事項を守らないと,傷害や事故につながるおそれがあること。

安全のためにしてはならない行為。(イラスト内に表示されています)

その他の表示

- お車に関することやその他のアドバイスは,つぎの表示で記載しています。

お車のために守っていただきたいこと。
知っておくと便利なこと。

タイプ別装備

グレードにより異なる装備やオプション装備に表示しています。

- 取扱説明書は車の中に保管してください。
- 保証および点検,整備内容については,別冊のメンテナンスノートをご覧ください。
- お車をゆずられるときは,取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。

- **装備仕様の変更などにより,本書の内容がお客様のお車と合わないことがありますので,あらかじめご了承ください。**
- **ご不明な点は,担当営業スタッフにお問い合わせください。**

目次

ハンドルまわり

J00100800887

・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

TAF000548

計器盤まわり

J00100101773

センターパネル

J00100200823

・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

TAF000564

室内

J00100301632

・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

TAF000577

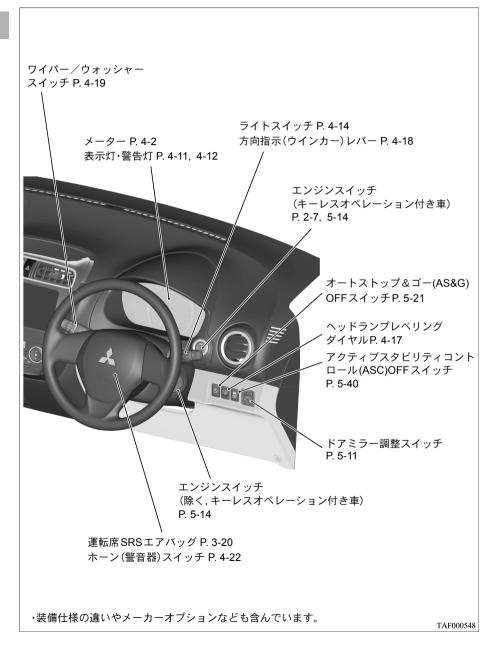
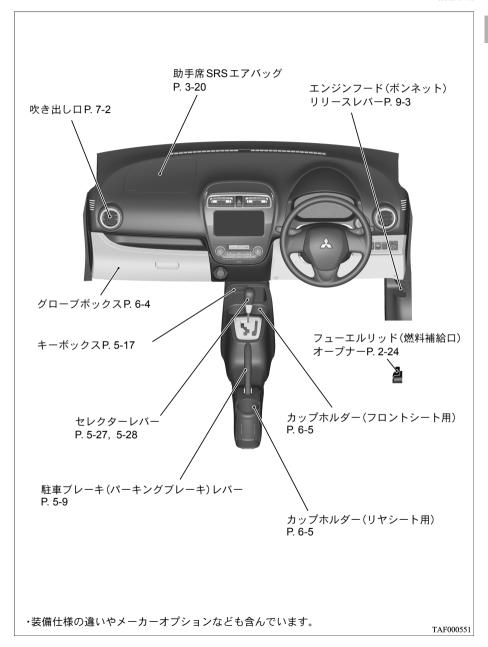
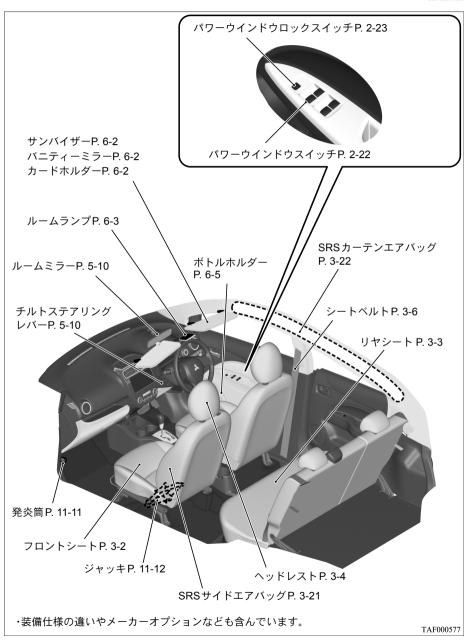
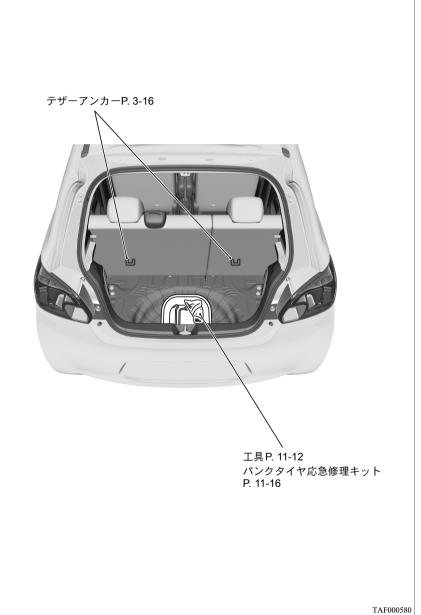
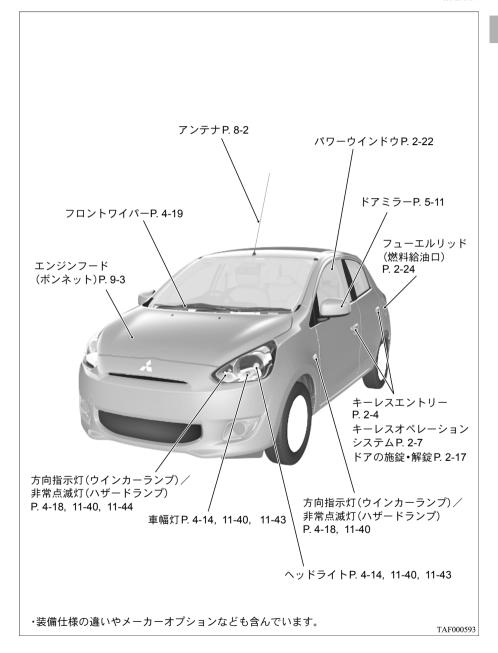
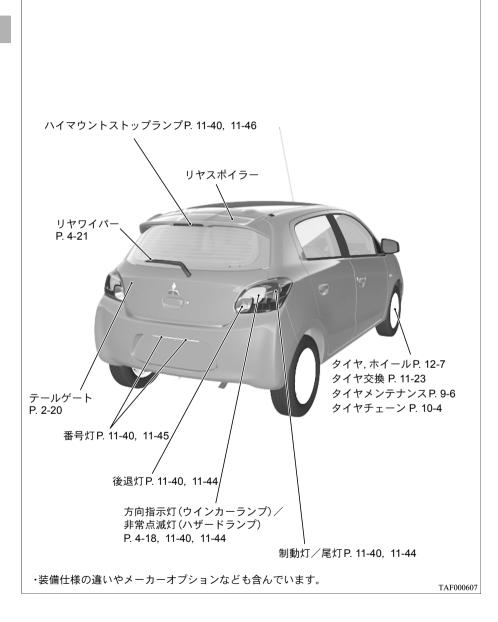
ラゲッジルーム

J00100600553

外まわり

J00100401877

・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

ハイマウントストップランプP. 11-40，11-46
リヤスポイラー
リヤワイパー
P. 4-21
テールゲート
P. 2-20
番号灯P. 11-40，11-45
後退灯P. 11-40，11-44
方向指示灯（ウインカーランプ）／
非常点滅灯（ハザードランプ）
P. 4-18，11-40，11-44
制動灯／尾灯P. 11-40，11-44
タイヤ, ホイールP. 12-7
タイヤ交換 P. 11-23
タイヤメンテナンスP. 9-6
タイヤチェーン P. 10-4
・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。
TAF000607

各部の開閉

キー

J00400101444

1- キーレスエントリーキー
2- マスターキー（プレート）
3- キーレスオペレーションキー
4- スペアキー
5- エマージェンシーキー

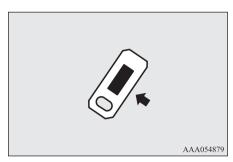
⚠警告

- 航空機内にキーを持ち込むときは，機内でキーのスイッチを押さないでください。スイッチを押すと電波が発信され，航空機の運航に悪影響をおよぼすおそれがあります。
かばんなどに入れて持ち込むときも，簡単にスイッチが押されないようにしてください。

アドバイス

- キーレスエントリーキーおよびキーレスオペレーションキーは信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため，つぎの点をお守りください。
  - ダッシュボードの上など直射日光が当たる場所には放置しない
  - 分解，改造をしない
  - キーを無理に曲げたり，強い衝撃を与えない
  - 水にぬらさない
  - 磁気を帯びたキーホルダーなどを近づけない
  - オーディオ，パソコン，テレビなど磁気を帯びた機器の近くに置かない
  - 携帯電話や無線機，高周波医療機器など強い電波を発する機器の近くに置かない
  - 超音波洗浄器などで洗浄しない
- 電池交換のとき以外はキーを不用意に分解しないでください。分解，改造したキーを使用することは法律で禁止されています。
また，必ず日本国内でご使用ください。
- 万一，キーを紛失したときは，盗難などを防ぐため，ただちに三菱自動車販売会社にご相談ください。

キーナンバープレート

J00433700010

キーナンバーがキーナンバープレートに打刻してあります。万一，キーを紛失した場合，キーナンバーを三菱自動車販売会社にご連絡ください。新しいキーを作ることができます。

アドバイス

- キーナンバープレートは車の中以外の安全な場所に，キーとは別に大切に保管してください。

エンジンイモビライザー（盗難防止装置）

タイプ別装備

J00400200435

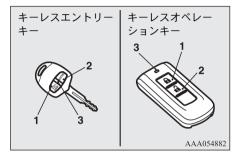
エンジンイモビライザー（盗難防止装置）は，車両盗難防止のため，あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンがかからないようにした装置です。

アドバイス

- 強い電波を発する物や設備の近くでは正しく作動しないことがあります。
- キーを紛失したときや，新しいキーを作りたいときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。キーを最大4個まで登録できます。このとき残りのすべてのキーとお車を三菱自動車販売会社へお持ちください。

キーレスエントリーシステム

J00400301316

リモコンスイッチですべてのドアおよびテールゲートの施錠・解錠，およびドアミラーを操作することができます。

1- LOCKスイッチ
2- UNLOCKスイッチ
3- 作動表示灯

ドアおよびテールゲートの施錠・解錠

LOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し，UNLOCKスイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。
UNLOCKスイッチを押して解錠しても約30秒以内にドアおよびテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます。

アドバイス

- リモコンスイッチですべてのドアおよびテールゲートを施錠・解錠すると，ドアミラーは自動格納・自動復帰します。
詳しくは「ドアミラー」をお読みください。→P. 5-11
- UNLOCKスイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ 施錠・解錠時の作動確認

つぎの通り作動を確認することができます。ただし，ルームランプの点灯はスイッチが中間（●）の位置にあるときに限られます。

施錠時：非常点滅灯が1回点滅
解錠時：ルームランプが約 15 秒間点灯し，非常点滅灯が2回点滅

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみ，または解錠時のみにする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を働かなくする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）の点滅回数を変更する。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

ドアミラーの格納・復帰

LOCK スイッチを押して施錠するとドアミラーが自動で格納します。
UNLOCKスイッチを押して解錠するとドアミラーは元の位置に戻ります。

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - 運転席ドアを閉め，エンジンスイッチまたは電源モードをONまたはACCにすると自動復帰する。
  また，エンジンスイッチをLOCKにした後，または電源モードをOFFにした後，運転席ドアを開くと自動格納する。
  - 走行スピードが30 km/hになると自動復帰する。
  - 格納スイッチ以外での操作をできなくする。
- リモコンスイッチは車から約 1m 以内で作動します。
近くにTV塔や変電所，放送局があるなど周囲の状況により作動距離が変わることがあります。

アドバイス

- つぎのようなときはリモコンスイッチは作動しません。
  - エンジンスイッチにキーが差してあるとき
  - ドア，テールゲートが開いている，または半ドアのとき
- リモコンスイッチを紛失したときや，新しいリモコンスイッチを作りたいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  つぎの個数まで作ることができます。
  - キーレスエントリーキー：4個まで
  - キーレスオペレーションキー：4個まで
- つぎのときは電池の消耗が考えられます。
  - 正しい距離でリモコンスイッチを押しても施錠・解錠しないとき
  - 作動表示灯が暗い，または点灯しないとき

  電池が消耗した場合は，新しい電池に交換してください。
  →「電池交換のしかた」P. 2-5

電池交換のしかた

J00415100256

電池交換をする前に部屋のドアノブ等の金属部分に触れて，身体の静電気を除去してください。

⚠警告

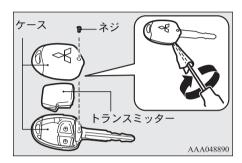
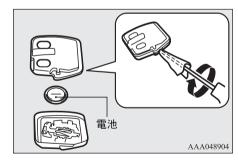
- **電池および取り外した部品は，誤ってお子さまが飲み込まないように注意してください。**

アドバイス

- 電池交換をする際は，キーを破損するおそれがあるため，三菱自動車販売会社での交換をおすすめします。
- キーは信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため，内部の金属部分や回路に触れないでください。また水やゴミを付着させないでください。
- 電池は三菱自動車販売会社，時計店またはカメラ店などでお買い求めください。

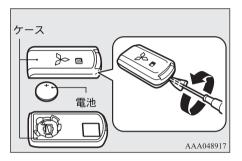
◆ キーレスエントリーキー

使用電池：CR1616

1. 三菱マークを上にしてネジを取り外します。
   先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んでケースを外し，トランスミッターを取り出します。

2. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んでトランスミッターを開きます。
   新しい電池は－極を上にして取り付けます。

3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

◆ キーレスオペレーションキー

使用電池：CR2032

1. エマージェンシーキーを取り外します。
   →「エマージェンシーキー」P. 2-16
2. 三菱マークを上にして，先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んでケースを開きます。

3. 新しい電池は＋極を上にして取り付けます。
4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

キーレスオペレーションシステム

タイプ別装備

J00407400537

キーレスオペレーションキーを携帯するだけで，ドアおよびテールゲートの施錠・解錠操作やエンジンの始動操作ができるシステムです。

→「キーレスエントリー」P. 2-4

→「エンジンのかけ方」P. 5-17

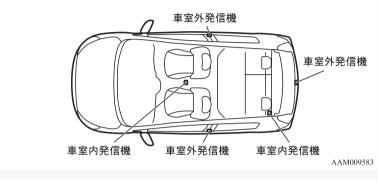
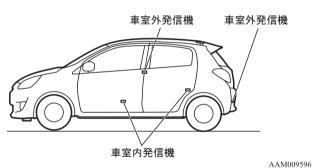
キーレスオペレーションキーは必ず運転者が携帯してください。ドアおよびテールゲートの施錠・解錠やエンジンの始動など車を操作するために必要ですので，車から離れるときは必ずキーレスオペレーションキーを携帯していることを確認してから施錠するようにしてください。

アドバイス

- スペアキーは, キーレスオペレーションキーと同等のキーレスオペレーション機能はありません。
- スペアキーは, 非常用としてドアを開けるときまたはエンジンをかけるときに使用してください。
  →「キー」P. 2-2
  →「エンジンのかけ方」P. 5-17

2

⚠警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を使用している方は, 車室外発信機・車室内発信機から約 22 cm 以内に近づかないようにしてください。キーレスオペレーションシステムに使用している電波が植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用している方は, キーレスオペレーションシステムに使用している電波による影響について医療用電気機器製造業者などに確認してからご使用ください。電波が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

キーレスオペレーションシステムでできる操作をつぎのように変更することができます。ただし, キーレスオペレーションキーはキーレスエントリーのリモコンスイッチとして使用できます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

- ドアおよびテールゲートの施錠・解錠操作のみできるようにする
- エンジンの始動操作のみできるようにする
- キーレスオペレーションシステムを働かないようにする。

キーレスオペレーションシステムでできる操作を変更した場合，作動している発信機はつぎの通りです。

- ドアおよびテールゲートの施錠・解錠操作のみ：すべての発信機
- エンジンの始動操作のみ：車室内発信機

アドバイス

● キーレスオペレーションキーは微弱な電波を使用しています。
つぎのような場合，正しく作動しなかったり，不安定な作動となることがあります。
- 近くにＴＶ塔や変電所，放送局，空港など強い電波を発する設備があるとき
- 携帯電話や無線機などの通信機器やパソコンなどの電化製品と一緒に携帯しているとき
- キーレスオペレーションキーが金属製のものに接したり，覆われているとき
- 近くでキーレスエントリーを使用しているとき
- キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているとき
- 強い電波，ノイズのある場所に置いたとき

このようなときはエマージェンシーキーを使用してドアの開閉を行ってください。
→「キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは」P. 2-16
また, エンジンの始動はキーレスオペレーションキーをキーボックスに差し込んで行ってください。
→「エンジンのかけ方」P. 5-17

● キーレスオペレーションキーは，車両との通信のために常時受信動作をしているため，キーレスオペレーションキーの使用に関係なく常に電池を消耗しています。使用状況にもよりますが，電池の寿命は約1年～3年です。電池が消耗した場合は，新しい電池に交換してください。
→「電池交換のしかた」P. 2-5

● キーレスオペレーションキーは，常時受信動作をしているため，強い電波の受信は電池の消耗につながります。テレビ，パソコンなどの電化製品の近くには置かないでください。

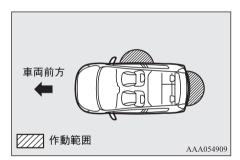
2

キーレスオペレーションシステムの作動範囲について

J00407500512

キーレスオペレーションキーを携帯してキーレスオペレーションシステムの作動範囲内に入り，ドアまたはテールゲートのスイッチを押すとIDコードの照合を行います。
車両とキーレスオペレーションキーの IDコードが一致した場合のみ，ドアおよびテールゲートの施錠・解錠操作やエンジンの始動操作が可能になります。

◆ ドアおよびテールゲートを施錠・解錠するときの作動範囲

作動範囲は運転席ドアおよびテールゲートのハンドルから周囲約70 cm以内です。

アドバイス

- キーレスオペレーションキーを検知したドアまたはテールゲートの操作でのみ施錠・解錠ができます。
- キーレスオペレーションキーがフロントドア，ドアガラス，テールゲートのすぐ近くにあるときは作動しないことがあります。
- キーレスオペレーションキーが運転席ドアまたはテールゲートのハンドルから周囲約 70 cm 以内でも，地面の近くや高い場所にあるときは，作動しないことがあります。

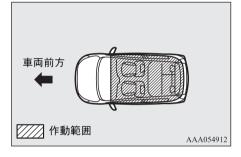
アドバイス

- キーレスオペレーションキーが作動範囲内にあれば，キーレスオペレーションキーを携帯していない人でも，運転席ドアまたはテールゲートの操作で施錠・解錠ができます。

◆ エンジンを始動する，電源モードを切り換えるときの作動範囲

J00407600278

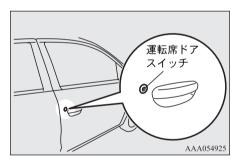
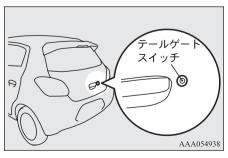
作動範囲は車室内です。

アドバイス

- キーレスオペレーションキーが作動範囲内にあっても，グローブボックスなどの小物入れやインストルメントパネル周辺，ドアポケットまたはラゲッジルームなどにあるときは，エンジン始動ができないことがあります。
- キーレスオペレーションキーが車外にあっても，ドアやドアガラスのすぐ近くにあるときは，エンジン始動または電源モードの切り換えができることがあります。

キーレスオペレーション機能を使って操作するときは

J00407700514

◆ ドアおよびテールゲートの施錠／解錠

キーレスオペレーションキーを携帯しているとき，作動範囲内で運転席ドアスイッチを押す，またはテールゲートスイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠または解錠します。
運転席ドアスイッチまたはテールゲートスイッチを押して解錠した後，約30秒以内にドアまたはテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます。つぎの項も合わせてお読みください。
→「ドア」P. 2-17
→「センタードアロック」P. 2-19
→「テールゲート」P. 2-20

アドバイス

- ドアスイッチおよびテールゲートスイッチで施錠•解錠すると，ドアミラーは自動格納•自動復帰します。
  詳しくは「ドアミラー」をお読みください。→P. 5-11
- つぎのようなときは，キーレスオペレーション機能は作動しません。
  - 車内にキーレスオペレーションキーがあるとき
  - ドア，テールゲートが開いている，または半ドアのとき
  - 電源モードがOFF以外のとき
- 解錠した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

施錠・解錠時の作動確認

つぎの通り作動を確認することができます。ただし，ルームランプの点灯はスイッチが中間（●）の位置にあるときに限られます。

施錠時：　非常点滅灯が1回点滅し，車外ブザーが1回鳴る
解錠時：　ルームランプが約 15 秒点灯し，非常点滅灯が2回点滅し，車外ブザーが2回鳴る

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみ，または解錠時のみにする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）およびブザーを働かなくする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）の点滅回数を変更する。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

警告表示について

J00433800011

項目	警告灯	ブザー	原因および処置	備考
キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構	点滅します	車外ブザー4回と, 車内ブザーが鳴ります	駐車中, かつ電源モードがOFF以外のとき, いずれかのドアを開けてキーレスオペレーションキーを車内から持ち出した後ドアを閉めると警告します。キーが車外に持ち出されていないか確認してください。	・ドアを開けずに窓からキーレスオペレーションキーを持ち出すと, キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構は働きません。 ・ドアを開けずに窓からキーレスオペレーションキーを持ち出したとき, キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構を働かせることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。 ・エンジン始動の作動範囲内でキーレスオペレーションキーを携帯していても, 周囲の環境または電波状態などにより, キーレスオペレーションキーと車両のIDコードの照合ができなかったときは, 警告が作動することがあります。

項目	警告灯	ブザー	原因および処置	備考
キー閉じ込め防止機構	点滅します	車外ブザーが約3秒間鳴ります	電源モードがOFFのとき，車内にキーレスオペレーションキーを置いたままますべてのドアおよびテールゲートを閉め，ドアスイッチおよびテールゲートのLOCKスイッチを押して施錠しようとすると警告し，ドアおよびテールゲートの施錠ができません。キーを持って車から降りてください。	必ずキーレスオペレーションキーを携帯していることを確認してから施錠するようにしてください。車内にキーレスオペレーションキーを置いたままでも，周囲の環境または電波状態などにより，施錠されることがあります。
半ドア防止機構	点滅します	車外ブザーが約3秒間鳴ります	電源モードがOFFのとき，いずれかのドアまたはテールゲートを完全に閉めずにドアスイッチおよびテールゲートのLOCKスイッチを押して施錠しようとすると警告し，ドアおよびテールゲートの施錠ができません。ドアまたはテールゲートが完全に閉まっているか確認してください。	―
電源モードOFF切り換え忘れ防止機構	点滅します	車外ブザーが約3秒間鳴ります	電源モードがOFF以外のとき，すべてのドアおよびテールゲートを閉め，ドアスイッチおよびテールゲートスイッチを押して施錠しようとすると警告し，ドアおよびテールゲートの施錠ができません。電源モードをOFFにしてください。	→「電源モードOFF切り換え忘れ防止機構」P. 5-14

2

項目	警告灯	ブザー	原因および処置	備考
キーレスオペレーションキーの電池切れ	点滅します	ブザーは鳴りません	キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているとき警告します。できるだけ早くキーレスオペレーションキーの電池を交換してください。	・電池交換をする際は, キーを破損するおそれがあるため, 三菱自動車販売会社での交換をおすすめします。 ・お客様自身で電池交換をする場合は, “電池交換のしかた”をよく読んでから行ってください。→「電池交換のしかた」P. 2-5
キーレスオペレーションシステムの異常	点灯します	ブザーは鳴りません	システムに何らかの異常があります。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。	―
エンジンスイッチ電源の異常	点灯します	車内ブザーが鳴ります（断続音）	電源に何らかの異常があります。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。	―
	点灯します	車内ブザーが鳴ります（連続音）	電源に何らかの異常があります。ただちに車両を安全な場所に停車し, 最寄りの三菱自動車販売会社に連絡してください。	―
キー抜き忘れ監視機構	点滅します	車外ブザーが約3秒間と, 車内ブザーが約1分間鳴ります	電源モードがOFFのとき, キーボックスにキーレスオペレーションキーを差したまま運転席ドアを開くと警告し, キーの抜き忘れを知らせます。キーボックスからキーを抜いてください。	―

項目	警告灯	ブザー	原因および処置	備考
ハンドルロックの異常	点灯します	車内ブザーが鳴ります	ハンドルロックシステム内に障害があります。直ちに, 車を安全な場所に止めて最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。	→「エンジンスイッチ」P. 5-14

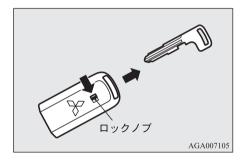
項目	警告灯	ブザー	原因および処置	備考
エンジンイモビライザーの異常	点灯します	ブザーは鳴りません	エンジンイモビライザー(盗難防止装置)に何らかの異常があります。IDコードが車両と一致したキーレスオペレーションキーを携帯している, およびキーレスオペレーションキーが作動範囲内にあることを確認してください。	一旦電源モードをOFFに戻し, 再度エンジンをかけてください。 警告表示が消えないときは, 最寄の三菱自動車販売会社へご連絡ください。
ハンドルロックの異常	点滅します	車内ブザーが鳴ります	ハンドルロックが解除されていません。ハンドルを左右に動かしながら再度エンジンスイッチを押してください。	―
	点灯します	ブザーは鳴りません	ハンドルロック装置に異常があります。詳しくは「エンジンスイッチ」をお読みください。	→「エンジンスイッチ」P. 5-14

キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは

J00407900590

◆ エマージェンシーキー

エマージェンシーキーはキーレスオペレーションキーおよびスペアキーに内蔵されています。
キーレスオペレーションキーの電池切れやバッテリー上がりなどによりキーレスオペレーション機能が使用できないとき，ドアの施錠・解錠操作をすることができます。

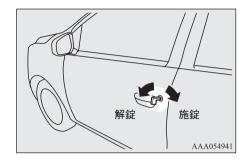
ロックノブを矢印の方向に押しながら，キーレスオペレーションキーからエマージェンシーキーを取り外します。

アドバイス

- エマージェンシーキーは緊急を要する場合のみご使用ください。
  キーレスオペレーションキーの電池が切れたときなどはできるだけ早く電池交換をして，キーレスオペレーションキーとして使用するようにしてください。
  →「電池交換のしかた」P. 2-5
- エマージェンシーキーを使用した後は，必ずキーレスオペレーションキーに戻しておいてください。

ドアの施錠・解錠（助手席ドア）

エマージェンシーキーを車両前方に回すと施錠，車両後方に回すと解錠されます。

「ドア」も合わせてお読みください。→P. 2-17

アドバイス

- エマージェンシーキーを使って施錠・解錠したときは，助手席ドアのみ施錠・解錠します。

ドア

J00400400583

⚠警告

- 車から離れるときは，火災や盗難などを未然に防ぐため，必ずエンジンを止めドアを施錠してください。
  法的にも義務付けられています。
  お子さま連れのときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
  また車内に貴重品を置いたままにしないでください。
- 走行する前にすべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。
  半ドアのときは，メーター内の半ドア警告灯が点灯します。
  確実に閉まっていないと，走行中にドアが開いて乗員が車外に放り出されるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

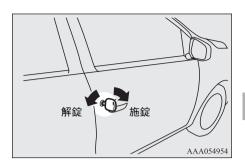
アドバイス

- 運転席のドアが開いているときは，キー閉じ込め防止のため運転席ドアのキーまたはロックノブを使って施錠しようとしても運転席のドアは施錠できません。

車外から施錠・解錠するときは

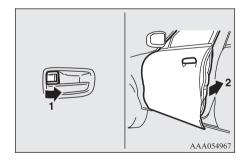
J00404400871

◆ キーを使って施錠・解錠するときは

キーを車両前方に回すと施錠，車両後方に回すと解錠されます。

アドバイス

- キーレスオペレーションシステム付き車は，エマージェンシーキーを使って助手席ドアを施錠・解錠することができます。
  →「エマージェンシーキー」P. 2-16
- 除く，キーレスオペレーションシステム付き車で，キーを使って施錠・解錠したときは，すべてのドアおよびテールゲートが施錠・解錠します。

◆ キーを使わずに施錠するときは（助手席，後席ドア）

1. ドア内側のロックノブを車両前方に倒し，
2. ドアを閉じます。

◆ キー抜き忘れ防止機構

J00404500654

除く，キーレスオペレーションシステム付き車

エンジンスイッチを切り，キーを差したまま運転席ドアを開くとキー抜き忘れ警告ブザーが断続的に鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。

◆ 電源モードOFF戻し忘れ防止機構

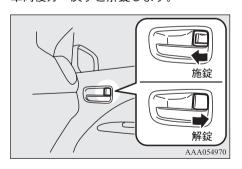
J00408700380

キーレスオペレーションシステム付き車

エンジンが止まっている，かつ電源モードがOFF以外のとき，運転席ドアを開くと警告ブザーが断続的に鳴り，電源モードがOFFに切り換えられていないことを知らせます。

車内から施錠・解錠するときは

J00404600802

ロックノブを車両前方へ倒すと施錠し，車両後方へ戻すと解錠します。

◆ オーバーライド機構

運転席ドアはロックノブを車両前方に倒したままでも，室内側のドアハンドルを引くとドアを開けることができます。

アドバイス

- すべてのドアおよびテールゲートを施錠・解錠するときは，センタードアロック，キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能の操作で施錠・解錠してください。
→「センタードアロック」P. 2-19
→「キーレスエントリー」P. 2-4
→「キーレスオペレーション機能を使って操作するときは」P. 2-11

センタードアロック

J00400501086

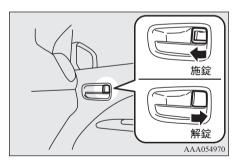
つぎの操作ですべてのドアおよびテールゲートの施錠・解錠ができます。

アドバイス

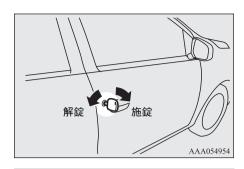
- 運転席のドアが開いているときは，キー閉じ込め防止のためセンタードアロックスイッチを使って施錠しようとしても運転席のドアは施錠できません。
- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

ロックノブを使って施錠・解錠するときは

J00412200038

運転席ドアのロックノブを車両前方へ倒すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し，車両後方へ倒すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。

キーを使って施錠・解錠するときは（キーレスエントリーシステム付き車）

J00411000097

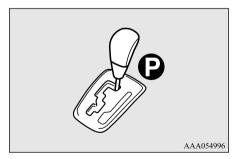
運転席ドアのキーを車両前方に回すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し，車両後方に回すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。

セレクターレバーを使って解錠するときは

J00415300128

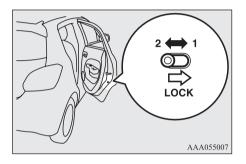
セレクターレバーを使って解錠する機能を設定することができます。この機能は工場出荷時は「解錠しない」に設定されています。「解錠する」に変更したいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ 解錠するときは

エンジンスイッチまたは電源モードが ON のときにセレクターレバーをⓅに入れるとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。

2

チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置）

J00400600644

レバーを施錠側（1）にしてドアを閉めると，ドアのロックノブの位置に関係なく，車内からはドアが開けられなくなります。
安全上，お子さまを乗せるときにご使用ください。

1- 施錠
2- 解錠

ドアを開けるときは車外のドアハンドルで開けます。

アドバイス

- 万一の場合など車内からドアを開けたいときは，ドアのロックノブを解錠状態にしてドアガラスを下げ，窓から手を出して車外のドアハンドルを引いてください。

テールゲート

J00401100994

⚠警告

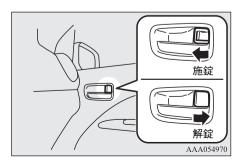
- ラゲッジルームは人が乗る構造になっておりません。お子さまを乗せたり，遊ばせたりしないでください。万一の場合，重大な事故につながるおそれがあります。
- 走行前に必ずテールゲートが確実に閉じていることを確認してください。
  開けたまま走行すると，車内に排気ガスが侵入し，一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
- テールゲートを開閉するときは，まわりに人がいないことを確認し，頭をぶつけたり，手や首などをはさまないように注意してください。

⚠注意

- ラゲッジルームの荷物を出し入れするときは，排気管の後方に立たないでください。排気熱によりやけどをするおそれがあります。

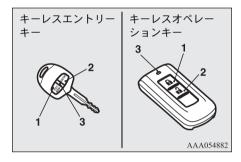
施錠・解錠するときは

◆ ロックノブを使って施錠・解錠するときは

運転席ドアのロックノブを車両前方へ倒すとテールゲートおよびすべてのドアが施錠し，車両後方へ倒すとテールゲートおよびすべてのドアが解錠します。

アドバイス

- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。
このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

◆ キーレスエントリー機能を使って施錠・解錠するときは

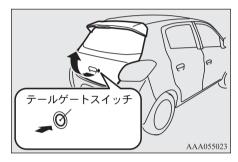
LOCK スイッチを押すとテールゲートおよびすべてのドアが施錠し，UNLOCKスイッチを押すとテールゲートおよびすべてのドアが解錠します。

1- LOCKスイッチ
2- UNLOCKスイッチ
3- 作動表示灯

開けるときは

[除く，キーレスオペレーションシステム付き車]

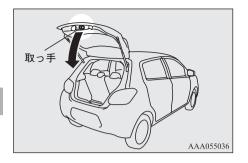
解錠した後，ハンドルを引いてテールゲートを持ち上げます。

[キーレスオペレーションシステム付き車]

テールゲートスイッチを押して解錠した後，ハンドルを引いてテールゲートを持ち上げます。

注意

- テールゲートを開けるときはまわりに人がいないことを確認してください。

閉めるときは

テールゲートの取っ手に手をかけてテールゲートを途中まで引き下げた後，取っ手から手を離してテールゲートを軽く押しつけます。

⚠注意

- テールゲートの取っ手に手をかけたまま直接テールゲートを閉じないでください。手や腕をはさみ，けがをするおそれがあります。
- テールゲートを閉じた後は，必ずテールゲートが確実に閉じていることを確認してください。走行中に開くと，荷物が落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。

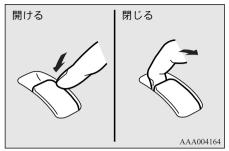
アドバイス

- テールゲートを支えるためのガススプリングがつぎの位置についています。

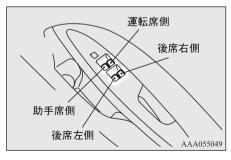
損傷や作動不良を防止するため，つぎのことをお守りください。

- ガススプリングに手をかけてテールゲートを閉めたり，押したり引いたりしないでください。
- ビニール片，テープなどがガススプリングに付着しないようにしてください。
- ひもなどをガススプリングに巻き付けないでください。
- ガススプリングに物をかけないでください。

パワーウインドウ

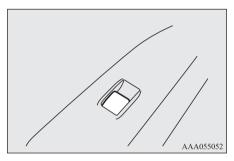
J00401500927

⚠警告

- パワーウインドウを閉じるときは，安全のため同乗者が窓から顔や手を出していないことを確認してください。
- 安全のためパワーウインドウの操作はお子さまではなく大人が行ってください。車を離れるときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
  車内にキーを残したままにしておくと，お子さまがいたずらをして手や首をはさむおそれがあります。

運転席スイッチ

運転席スイッチで全席のドアガラスの開閉をすることができます。
エンジンスイッチまたは電源モードがONのときにスイッチを押すと開き，引き上げると閉まります。

運転席ドアガラスは，運転席側のスイッチを強く押したり，強く引き上げると自動的に全開，全閉します。
途中で止めたいときはスイッチを反対方向に操作します。

助手席,後席スイッチ

AAA055052

エンジンスイッチまたは電源モードがONのときにスイッチを押すと開き，引き上げると閉まります。
後席ドアガラスは全開しません。

タイマー機構

J00405200791

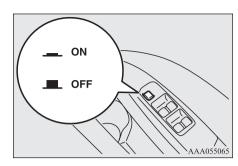
運転席ドアガラス

エンジンを止めた後でも約30秒間はドアガラスを開閉することができます。この時間内に運転席ドアを開けるとさらに約30秒間ドアガラスの開閉ができます。ただし，運転席ドアを閉めるとドアガラスの開閉はできなくなります。

ロックスイッチ

J00404300795

お子さまを乗せるときはロックスイッチをONにしてください。
助手席，後席スイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。
解除するときはもう一度押します。

AAA055065

アドバイス

- ロックスイッチがONのときは，運転席スイッチでは運転席ドアガラスのみ開閉することができます。

セーフティー機構

J00403200654

運転席ドアガラス

万一，手や首などをはさんだ場合は安全のため自動的にドアガラスが少し下がります。
ドアガラスが下がった後，再度スイッチを引き上げるとドアガラスを閉めることができます。

⚠注意

- ドアガラスを確実に閉めるため，閉め切り直前ではセーフティー機構が働かないようになっています。指などをはさまないように注意してください。
- エンジンスイッチまたは電源モードがON のときパワーウインドウスイッチを引き上げている間は，セーフティー機構は働きません。
  手や首をはさまないように注意してください。
- 手や首などをはさんで故意にセーフティー機構を働かせないでください。
  万一，手や首をはさんだ場合，重大な事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 環境や走行条件により，手や首などをはさんだときと同じ衝撃が加わると，セーフティー機構が働くことがあります。
- バッテリーを外したとき，またはパワーウインドウのヒューズを外したときは，セーフティー機構が働かなくなります。
また，運転席ドアガラスが自動的に完全に開かなくなったり，閉じなくなったりします。
この場合は，つぎの操作をすれば正常に戻ります。
運転席ドアガラスが完全に閉じるまで，繰り返し運転席スイッチを引き上げてください。つぎに，いったんスイッチから手を離し，再度約1秒間スイッチを引き上げて保持してください。

フューエルリッド（燃料補給口）

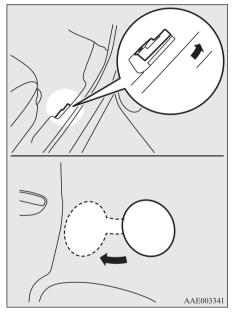
J00402300717

フューエルリッド（燃料補給口）は車両の左側後方にあります。

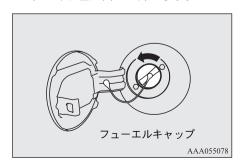
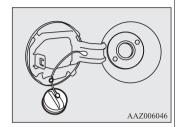
開けるときは

J00405000715

1. 運転席右下のレバーを引き上げてリッド（補給口）を開けます。

AAE003341

2. フューエルキャップのつまみを持ち，ゆっくり左に回して外します。

AAA055078

アドバイス

- フューエルキャップのひもをリッド裏側のフックにかけてキャップを固定することができます。

- 燃料は必ず指定された燃料をご使用ください。
→「燃料の量と種類」P. 12-2

閉めるときは

J00405100295

1. フューエルキャップをカチッカチッと音がするまで右に回して閉めます。
2. フューエルリッドを手で軽く押して閉めます。

セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは

J00433900012

セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは，つぎの内容をしっかり読んでから給油を行ってください。

警告

- 燃料を補給するときは火気厳禁です。
燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
  - 必ずエンジンを止めてください。
  - たばこ，ライター，携帯電話などは使用しないでください。
- フューエルキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて，必ず身体の静電気を除去してください。
静電気を帯びていると，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。

警告

- リッド（補給口）の開閉，フューエルキャップの取り付け，取り外しなど，給油操作は必ず一人で行い，補給口に他の人を近づけないでください。
複数で行うと他の人が帯電していた場合，気化した燃料に引火するおそれがあります。
- 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中，シートに座るなどすると，再帯電するおそれがあります。
- フューエルキャップを開けるときは，急激に回さないでください。燃料タンク内の圧力により，補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。
- 気化した燃料を吸わないように注意してください。燃料には有毒な成分を含んでいるものもあります。
- 給油中はドアおよびドアガラスを閉めてください。車内に気化した燃料が侵入するおそれがあります。

注意

- フューエルキャップをゆるめたときにシューッという音がしたときは，音がしなくなるまで待ってから，フューエルキャップをゆっくり回してください。
- フューエルキャップを閉めたときは，確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料が漏れ，火災になるおそれがあります。
- 補給口に給油ノズルを確実に差し込んでください。
給油ノズルが正しく差し込まれていないと，燃料がこぼれるおそれがあります。

アドバイス

- 燃料をこぼさないように注意してください。塗装の変色，シミ，ひび割れの原因になります。付着したときは，柔らかい布などでふき取ってください。
- 給油ノズルが自動的に停止したら給油を終了してください。
つぎ足しを繰り返すと燃料があふれ出るおそれがあります。

アドバイス

- ガソリンスタンドに掲示されている注意事項を守ってください。
- 給油方法についてご不明な点は，ガソリンスタンドの係員にご相談ください。
- 三菱自動車純正以外のフューエルキャップは使用しないでください。

安全装備

3

シート

シートベルト

チャイルドシート

SRSエアバッグ

シート調整

J00500200436

シート各部の調整は走行前に行ってください。

⚠警告

- **シートの調整は必ず走行前に行ってください。走行中にシートを調整すると必要以上に動くことがあり，重大な事故につながるおそれがあります。**
- **シートの調整をした後は，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き，重大な事故につながるおそれがあります。**
- **シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。**

⚠注意

- シートの調整は必ず大人が行ってください。お子さまが操作すると思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- 背もたれを調整するときは，背もたれに身体を添わせるか，手を添えて行ってください。背もたれが急に戻り顔などにあたるおそれがあります。
- シートを操作しているときは，シートの下や動いている部分に手足を近づけないでください。はさまれてけがをするおそれがあります。

3

フロントシート

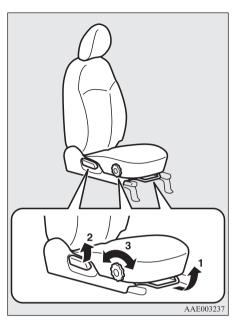
J00500300714

正しい運転姿勢がとれるように，つぎの点に注意してシートを調整してください。

⚠警告

- **背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。正しい運転姿勢がとれないため，思わぬ事故につながるおそれがあります。**

調整のしかた

J00514700012

1- 前後位置調整
レバーを引き上げたまま調整します。

2- 背もたれの角度調整
レバーを引き上げたまま調整します。

3- 高さ調整 タイプ別装備
ダイヤルを回して調整します。

リヤシート

J00501400015

背もたれの前倒し

J00501700409

背もたれを倒すことにより，大きな荷物を積むことができます。

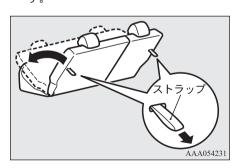
⚠警告

● 背もたれを前倒しした状態で人を乗せたり，お子さまを遊ばせないでください。急ブレーキをかけたときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

● 室内にはシートの高さ以上に荷物を積まないでください。また荷物は確実に固定してください。
後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたときなどに荷物が前方に飛び出して思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

◆ 倒すときは

1. ヘッドレスト付き車は，ヘッドレストを下げます。
2. 背もたれの背面にあるストラップを引いたまま，背もたれを前に倒します。

3. 外側席のシートベルトのプレートを格納します。
→「リヤシートベルトの格納のしかた」P. 3-8

◆ 戻すときは

外側席のシートベルトが格納されていることを確認し，背もたれを確実にロックするまで起こします。
元に戻した後は，背もたれが確実に固定されていることを確認します。

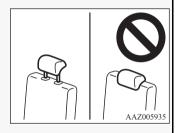
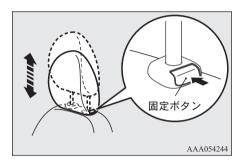
ヘッドレスト

J00503400699

⚠警告

- ヘッドレストは走行前に必ず取り付けてください。
  ヘッドレストを取り外したままで走行すると，万一，衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ヘッドレストの効果を十分に発揮させるため，つぎのことをお守りください。
  - ヘッドレストを正しい位置に調整する。
  - 背もたれと背中の間にクッションなどを入れない。
- リヤシートに座る場合は，ヘッドレストを下げた状態で走行しないでください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。走行前に必ずヘッドレストを固定できる高さまで引き上げてください。

上下調整

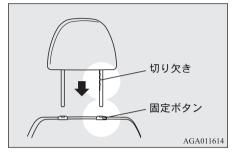
J00532400138

ヘッドレストの中央部ができるだけ耳の高さになるように調整します。
耳の高さに届かない場合（特に背の高い人など）は，固定できる範囲で一番高い位置に調整してください。
上げるときはそのまま引き上げ，下げるときは固定ボタンを押しながら下げます。

取り外すときは

J00508900107

固定ボタンを押したまま，いっぱいに引き上げて取り外します。

取り付けるときは

J00509000408

切り欠きのあるヘッドレストステーが固定ボタン側になるように，固定ボタンを押しながら差し込みます。

⚠注意

- 前後の向きを間違えて取り付けると，ヘッドレストは固定できません。
- ヘッドレストを取り付けた後，固定ボタンがロックされていることを確認してください。

シートベルト

J00505100661

シートベルトは万一の場合，運転者と同乗者の安全を守ります。シートベルトはつぎの使用方法，注意を守り，運転する前に必ず着用してください。

⚠警告

- 車に乗るときは必ず全員がシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに身体がシートに保持されず，車外に投げ出されたりして，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 肩部ベルトは脇の下を通さないで，肩に十分かかるように着用してください。ベルトが肩に十分かかっていないと衝突したときなどに身体が前方に投げ出され，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 腰部ベルトは腹部にかけないでください。衝突したときなどに腹部などに強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

- ベルトは1人用です。2人以上で使用しないでください。衝突のときなどにベルトが正常に働かず，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトは上体を起こして，シートに深く腰かけた状態で着用してください。正しい姿勢で着用しないと十分な効果を発揮しないおそれがあります。正しい姿勢については「フロントシート」を参照してください。→ P. 3-2
- シートベルトはねじれのないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり，衝突したときなどに局部的に強い力を受けてシートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ハンドルやインストルメントパネルに必要以上に近づいて運転しないでください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- お子さまでもシートベルトを必ず着用させてください。ひざの上でお子さまを抱いていても，急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトは，大人の体格に合わせて設計されています。シートベルトを着けたとき肩部のベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまは通常のシートベルトでは衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。体格に合ったチャイルドシートを使用してください。→「チャイルドシート」P. 3-10

⚠警告

- 妊娠中の女性や疾患のある方も，万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし，局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので，医師にご相談のうえ注意事項を確認してからご使用ください。
  妊娠中の方は，腰部ベルトを腹部を避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩部ベルトは確実に肩を通し，腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。
- シートベルトを着用する場合は洗たくばさみやクリップなどでベルトにたるみをつけないでください。ベルトにたるみがあると十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- ほつれや切り傷ができたり，金具部などが正常に動かなくなったときは，シートベルトを交換してください。異常がある状態で使用すると衝突時に正常に動かず，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- 万一，事故にあって，シートベルトに強い衝撃を受けた場合は，外観に異常がなくても必ず交換してください。軽い事故の場合も三菱自動車販売会社で点検を受けてください。ベルト自体が壊れている場合があり，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- シートベルトを修理または交換する場合は三菱自動車販売会社へご相談ください。
- バックルや巻き取り装置の内部に異物などを入れないようにしてください。またシートベルトの改造や取り付け，取り外しをしないでください。衝突したときなどに十分な効果を発揮できないおそれがあります。
- ベルトが汚れた場合は，中性洗剤を使用してください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤の使用や漂白，染色は絶対にしないでください。
  シートベルトの性能が落ち，十分な効果を発揮できなくなるおそれがあります。

3点式シートベルト

J00505200239

ベルトの長さを調整する必要はありません。ベルトは身体の動きに合わせて伸縮しますが，強い衝撃を受けたときは，ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

アドバイス

- ベルトをすばやく引き出すことにより，ベルトがロックするか確認できます。

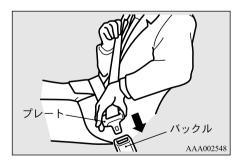
◆ 着用するときは

J00507800170

1. プレートを持ってシートベルトをゆっくりと引き出します。

アドバイス

- シートベルトがロックしたまま引き出せないときは，一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ，再度ゆっくりと引き出してください。

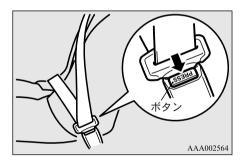
2. ベルトがねじれていないか確認した後，プレートをバックルにカチッと音がするまではめ込みます。

3. 腰部ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ，ベルトを引いて腰部に密着させます。

AAA002551

◆ 外すときは

J00507900344

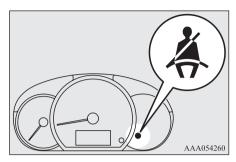
プレートを持ってバックルのボタンを押します。
ベルトは自動的に巻き取られますので，プレートに手を添えて，ゆっくり戻してください。

AAA002564

⚠警告

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
  ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると，窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
  万一，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

シートベルト非着用警告灯

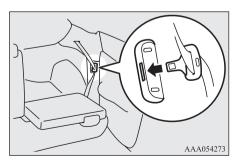
J00514800013

AAA054260

運転席のシートベルトを着用しないままエンジンスイッチまたは電源モードをONにすると，警告灯が点灯し，約6秒間ブザーが鳴ってシートベルトの着用を促します。
シートベルトを着用せずにそのまま走行すると（約8km/h以上），約90秒間警告灯の点滅とブザーでシートベルトの着用を促します。
警告灯の点滅とブザーでの警告は，シートベルトを装着するまで繰り返します。

リヤシートベルトの格納のしかた

J00505400228

リヤシートの背もたれを前倒ししたときは，シートベルトを図のように格納してください。

AAA054273

プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト

J00505701071

プリテンショナー付シートベルトは，運転席および助手席に装備されています。

プリテンショナー機構

プリテンショナー機構は，エンジンスイッチまたは電源モードが ON のときに運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方および側方（SRS サイドエアバッグ／ SRS カーテンエアバッグ付き車）より受けたときに，シートベルトを瞬時に引き込み，シートベルトの効果をいっそう高める装置です。

⚠警告

- プリテンショナー付シートベルトの効果を十分に発揮させるため，つぎのことをお守りください。
  - シートを正しい位置に調整してください。
    →「フロントシート」P. 3-2
  - シートベルトを正しく着用してください。
    →「シートベルト」P. 3-6
- プリテンショナー付シートベルトやフロアコンソール付近の修理，カーオーディオなどの取り付けをする場合はプリテンショナー機構に影響をおよぼすおそれがありますので，三菱自動車販売会社にご相談ください。

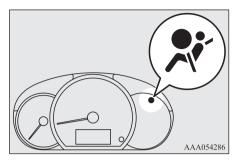
⚠注意

- 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。プリテンショナー付シートベルトが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。

アドバイス

- プリテンショナー付シートベルトはシートベルトを装着していなくても，前方および側方（SRSサイドエアバッグ／SRSカーテンエアバッグ付き車）からの強い衝撃を受けると作動します。
- プリテンショナー付シートベルトは一度作動すると再使用できません。
  三菱自動車販売会社で運転席，助手席側を同時に交換してください。

フォースリミッター機構

衝突時に，シートベルトにかかる荷重を効果的に吸収し，乗員への衝撃をやわらげる装置です。

3

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯

AAA054286

システムに異常があると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチまたは電源モードをONにすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，SRS エアバッグおよびプリテンショナー機構が作動すると，警告灯は点灯したままとなります。

⚠警告

- 警告灯がつぎのようになったときは，衝突したときなどにSRSエアバッグおよびプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがありますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - •エンジンスイッチまたは電源モードを ON にしても警告灯が点灯しない，または警告灯が点灯したまま
  - •走行中に警告灯が点灯する

3

チャイルドシート

J00506001084

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは，チャイルドシートをお使いください。
チャイルドシートには主に乳児用（ベビーシート），幼児用（チャイルドシート），学童用（ジュニアシート）の3種類があります。車の仕様やお子さまの体格に合わせて適切なチャイルドシートをお選びください。
取り付け方法はチャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがってください。

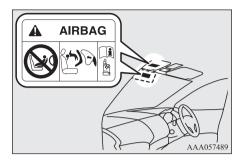
⚠警告

- **6 才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。**
- **チャイルドシートはリヤシートに取り付けてください。**

⚠注意

- チャイルドシートをリヤシートに取り付ける場合は，チャイルドシートとフロントシートが干渉しないようにフロントシートの位置を調整してください。
- 後方へシートを移動したり背もたれを倒すときは，チャイルドシートに座ったお子さまに十分注意してください。お子さまがシートとチャイルドシートの間にはさまれるおそれがあります。

助手席へのチャイルドシート取り付け時の注意

J00515000012

⚠警告

- 助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
  また，前後向きとも装着可能なチャイルドシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
  助手席 SRS エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられてお子さまが死亡，または重大な傷害を受けるおそれがあります。

- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合は，必ず前向きのチャイルドシートを，助手席を一番後ろの位置にして取り付けてください。

ISO FIX 対応*チャイルドシート

J00506100684

チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーが装備された座席専用のチャイルドシートです。専用バーおよびアンカーを使用してチャイルドシートを固定します。車両のシートベルトでチャイルドシートを固定する必要はありません。
*この車は2006年10月1日施行の保安基準に適合したISO FIX対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーを標準装備しています。

◆ シート位置別チャイルドシートの適合性一覧表（ISO FIX対応チャイルドシート固定専用バーおよび テザーアンカーでの取り付け）

下の表から，チャイルドシートを選択してください。

質量グループ（お子さまの体重）		サイズ等級*	車両ISO FIX位置
			リヤシート左右席
キャリコット		F	X
		G	X
0	10㎏まで	E	X
0+	13㎏まで	E	IL[*1]
		D	X
		C	X
I	9～18㎏	D	X
		C	X
		B	IUF
		B1	IUF, IL[*2]
		A	IUF
II	15～25㎏		X
III	22～36㎏		X

*: 国連の安全基準 ECE-R16 で定められたチャイルドシートを模擬した器具のサイズを表しています。

⚠注意

● チャイルドシートを取り付けるときに，ヘッドレストとチャイルドシートが干渉する場合は，ヘッドレストを取りはずすか，高さを調整してください。

記号の説明

- IUF: 国連の安全基準ECE-R44に適合している汎用型（ユニバーサル）ISO FIX対応の前向きチャイルドシートのみが取り付け可能です。
- IL: 以下のリストに示す三菱自動車純正チャイルドシートの取り付けが可能です。
- X: チャイルドシートを取り付けることはできません。

三菱自動車純正チャイルドシート

ご購入，ご使用に関しては三菱自動車販売会社へご相談ください。

記号	純正部品番号	ECE NO.
IL*1	MZ525277（チャイルドシート本体） MZ525276（ベースシート）	E1-04301146
IL*2	MZ525280	E1-04301133

アドバイス

- ECE-R44に適合したチャイルドシートには，つぎの認可マークが表示されています。

除く，ISO FIX対応チャイルドシート

J00506200715

車両のシートベルトを使用して固定するチャイルドシートです。

◆ シート位置別チャイルドシートの適合性一覧表（シートベルト使用による取り付け）

下の表から，装着位置に応じてチャイルドシートを選択してください。

質量グループ（お子さまの体重）		助手席	リヤシート	
			左右席	中央席
0	10㎏まで	X	U	X
0+	13㎏まで	X	U, L*1	L*1
I	9～18㎏	UF, L*2	U, L*2	L*2
II	15～25㎏	UF, L*3	U	L*3
III	22～36㎏	UF, L*3	U	L*3

前向きチャイルドシートを助手席に取り付ける場合は，可能な限り助手席を後方へ移動してください。

⚠注意

- チャイルドシートを取り付けるときに，ヘッドレストとチャイルドシートが干渉する場合は，ヘッドレストを取り外すか，高さを調整してください。
- 汎用型カテゴリーの前向きチャイルドシートを助手席に取り付ける場合は，背もたれの角度を一番起こした位置に調整してください。

記号の説明

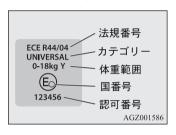
- U: 国連の安全基準ECE-R44に適合している汎用型（ユニバーサル）カテゴリーのチャイルドシートのみが取り付け可能です。
- UF: 国連の安全基準ECE-R44に適合している汎用型（ユニバーサル）カテゴリーの前向きチャイルドシートのみが取り付け可能です。
- L: 以下のリストに示す三菱自動車純正チャイルドシートの取り付けが可能です。
- X: チャイルドシートを取り付けることはできません。

三菱自動車純正チャイルドシート

ご購入，ご使用に関しては三菱自動車販売会社へご相談ください。

記号	純正部品番号	ECE NO.
L*1	MZ525277	E1-04301146
L*2	MZ525280	E1-04301133
L*3	MZ525270	E1-04301169

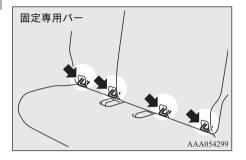
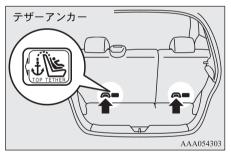
アドバイス

● ECE-R44 に適合したチャイルドシートには，つぎの認可マークが表示されています。

ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーでの取り付け方

J00506300758

固定専用バーはリヤシートクッションと背もたれの間に，テザーアンカーは背もたれの背面に，それぞれ装備されています。

AAA054299

AAA054303

⚠警告

- 固定専用バーおよびテザーアンカーはチャイルドシートを固定するために装備されています。その他の装備品の固定には使用しないでください。

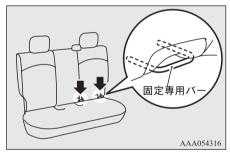
◆ 取り付けるときは

チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートを取り付けます。

⚠警告

- チャイルドシートを取り付けるときは，固定専用バーおよびテザーアンカー周辺に異物がないこと，シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。異物があるとチャイルドシートが固定されず，衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

1. リヤシートクッションと背もたれのすきまを手で少し広げて，固定専用バーの位置を確認します。

AAA054316

2. チャイルドシートを固定専用バーに取り付けます。

⚠注意

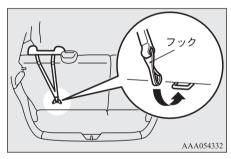
- チャイルドシートを取り付けるときに，ヘッドレストとチャイルドシートが干渉する場合は，ヘッドレストを取り外すか，高さを調整してください。
→「ヘッドレスト」P. 3-4

トップテザー付きチャイルドシートの場合は，手順3から6を行ってください。トップテザーが無いチャイルドシートの場合は，手順6を行ってください。

3. チャイルドシートを取り付けた座席のヘッドレストを取り外します。
4. 背もたれの背面にあるテザーアンカーの位置を確認します。

AAA054329

5. テザーベルトのフックをテザーアンカーに掛け，テザーベルトを締めて確実に固定します。

AAA054332

6. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されたことを確認します。

シートベルトでの取り付け方

J00506500965

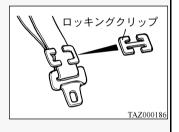
つぎの手順で確実に取り付けてください。

1. チャイルドシートを取り付けたい席に置きます。
2. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートをシートベルトで固定します。

⚠警告

- **チャイルドシートの種類によって取り付け方法が異なります。**
  必ずチャイルドシートの取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。
  チャイルドシートによってはチャイルドシートに付属のロッキングクリップでの固定が必要です。

TAZ000186

⚠注意

- チャイルドシートを取り付けるときに，ヘッドレストとチャイルドシートが干渉する場合は，ヘッドレストを取り外すか，高さを調整してください。
  →「ヘッドレスト」P. 3-4

3. 固定後は，チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されていることを確認してください。

SRSエアバッグ

J00506601152

エンジンスイッチまたは電源モードがONのとき，乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときに膨らみ，シートベルトの働きを補って，乗員への衝撃をやわらげる装置です。
SRSとはSupplemental Restraint Systemの略語で補助拘束装置の意味です。

運転席，助手席SRSエアバッグ

強い衝撃を車両前方から受けたときに膨らみ，運転者または助手席同乗者の頭部や胸部への衝撃をやわらげる装置です。

SRSサイドエアバッグ

タイプ別装備

強い衝撃を車両側面から受けたときに膨らみ，運転者または助手席同乗者の胸などの上体への衝撃をやわらげる装置です。

SRSカーテンエアバッグ

タイプ別装備

強い衝撃を車両側面から受けたときに膨らみ，運転者および同乗者の主に頭部への衝撃をやわらげる装置です。

⚠警告

● SRS エアバッグはシートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。
シートベルトをしていないと急ブレーキなどで身体が前方へ放り出されることがあり，その際にSRSエアバッグが膨らむとその強い衝撃で死亡，または重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトはつぎの理由により必ず着用してください。
- SRSエアバッグが膨らんだとき，シートベルトがあなたの身体を正しい位置に保ちます。
- SRS エアバッグが作動しないときでも，シートベルトによりけがを軽減することができます。

● シートは正しい位置に調整し，背もたれに背中をつけた正しい姿勢でシートに座ってください。
SRS エアバッグは非常に強い力で膨らむため，SRS エアバッグに近づきすぎた姿勢で乗車しているとSRSエアバッグにより死亡，または重大な傷害を受けるおそれがあります。

● SRS エアバッグ構成部品およびその周辺は膨らんだ後，高温になりますのでさわらないでください。やけどをするおそれがあります。

⚠警告

- SRSエアバッグが収納されている部分に傷がついていたり，ひび割れがあるときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せず死亡，または重大な傷害を受けるおそれがあります。

- SRSサイドエアバッグ付き車は，SRSサイドエアバッグが収納されている部分に生地のやぶれ，縫いほつれなどがあるときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せず死亡，または重大な傷害を受けるおそれがあります。

アドバイス

- SRSエアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRSエアバッグとの接触によりすり傷や打撲などを受けることがあります。
- SRSエアバッグが膨らむときかなり大きな音がし，白煙が出ますが火災ではありません。また人体への影響もありません。ただし，呼吸器系の疾患がある人や皮膚が弱い人の場合，一時的にのどや皮膚に刺激を感じることがあります。また，残留物（カスなど）が目や皮膚など身体に付着したときは，できるだけ早く水で洗い流してください。
- 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしぼむので運転席，助手席SRSエアバッグおよびSRSサイドエアバッグは視界を妨げません。
- SRSエアバッグは一度膨らむと再使用できません。三菱自動車販売会社でSRSエアバッグ構成部品を交換してください。
- 衝撃や助手席SRSエアバッグが膨らむことにより，前面ガラスが破損する場合があります。

3

運転席SRSエアバッグ

J00506700648

運転席SRSエアバッグはハンドルの中に装備されています。

AAA014037

⚠警告

- ハンドルの交換や，パッド部にステッカーを貼ったり，カバーを付けることはしないでください。SRS エアバッグが正常に作動しなかったり，誤って作動し，重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAZ000679

- ハンドルに顔や胸を近づけた姿勢で運転しないでください。
  SRSエアバッグが膨らむ際，SRSエアバッグにより死亡，または重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席SRSエアバッグ

J00506801024

助手席SRSエアバッグはグローブボックス上のインストルメントパネルの中に装備されています。
助手席SRSエアバッグは同乗者がいなくても運転席SRSエアバッグと同時に作動します。

AAA002463

⚠警告

- インストルメントパネルの上に物を置いたり，前面ガラスやルームミラーにアクセサリーなどを取り付けたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。
  また，インストルメントパネルの上にステッカーを貼ったりしないでください。SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。

AAZ005993

⚠警告

- お子さまを乗せるときには，リヤシートに座らせて必ずシートベルトを着用させてください。シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまには，チャイルドシートをリヤシートに取り付けてお乗せください。正しい姿勢でシートに座っていないと，SRS エアバッグが膨らむときの強い衝撃でお子さまが死亡，または重大な傷害を受けるおそれがあります。
→「チャイルドシート」P. 3-10
- 助手席同乗者はインストルメントパネルに手や足を乗せたり，シートの前端に座って顔や胸を近づけた姿勢で座らないでください。また，お子さまをインストルメントパネルの前に立たせたり，ひざの上に抱いたりしないでください。SRSエアバッグが膨らむ際，SRS エアバッグにより死亡，または重大な傷害を受けるおそれがあります。

TAZ000085

TAZ000098

- 助手席同乗者は，かばんなどの荷物をひざの上にかかえるなど，SRS エアバッグとの間に物を置いたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむ際に物が飛ばされ重大な傷害を受けるおそれがあります。

SRSサイドエアバッグ

タイプ別装備

J00507000433

SRS サイドエアバッグは運転席，助手席各シートの背もたれの中に装備されており，衝撃を受けた側のみ作動します。
また，衝撃を受けた側に同乗者がいなくても作動します。

AAA012873

3

⚠警告

- フロントシート背もたれのSRSサイドエアバッグ格納部に手，足，顔を近づけたり，ドアにもたれかかるような姿勢で座らないでください。
  また，お子さまなどに後席からフロントシートの背もたれを抱えたような姿勢はさせないでください。
  SRSサイドエアバッグが膨らむ際，SRSエアバッグにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

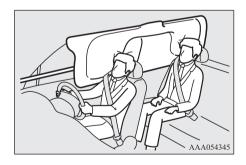
⚠警告

- SRSサイドエアバッグが収納されている付近にカップホルダーなどのカー用品を取り付けたり，ステッカーなどを貼らないでください。
  SRSサイドエアバッグが膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

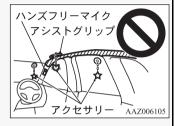
SRSカーテンエアバッグ

タイプ別装備　J00507500412

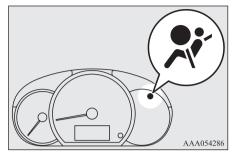
SRSカーテンエアバッグはフロントピラー，リヤピラーおよびルーフサイド部の中に装備されており，衝撃を受けた側のみ作動します。また，衝撃を受けた側に同乗者がいなくても作動します。

⚠警告

- フロントピラー，リヤピラーおよびルーフサイド部の SRS カーテンエアバッグ収納部に近づいたり，ドアにもたれかかるような姿勢で座らないでください。
  SRS カーテンエアバッグが膨らむ際，SRS エアバッグにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
  特にお子さまには注意してください。

⚠警告

- 前面ガラス，側面ガラス，フロントピラー，リヤピラー，ルーフサイド部およびアシストグリップなどの SRS カーテンエアバッグ展開部周辺にステッカーなどを貼りつけたり，アクセサリーやハンズフリーマイクなどを取り付けたりしないでください。
  SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 荷物を積むときは，側面ガラス付近に積まないでください。SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯

J00507301042

システムに異常があると点灯します。
正常なときエンジンスイッチまたは電源モードをONにすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，SRS エアバッグおよびプリテンショナー機構が作動すると，警告灯は点灯したままとなります。

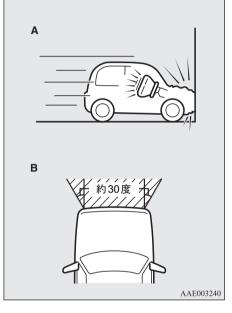
⚠警告

- 警告灯がつぎのようになったときは，衝突したときなどにSRSエアバッグおよびプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがありますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - エンジンスイッチまたは電源モードを ON にしても警告灯が点灯しない，または警告灯が点灯したまま
  - 走行中に警告灯が点灯する

運転席SRSエアバッグ，助手席SRSエアバッグの作動条件

J00506900565

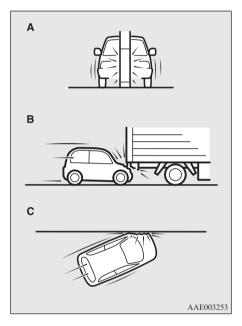
◆ 作動するとき

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに作動します。

A- 約25km/h 以上の速度でコンクリートのような固い壁に正面から衝突したとき
B- 車両の前方左右約30 度以内の方向から強い衝撃（左記と同等）を受けたとき

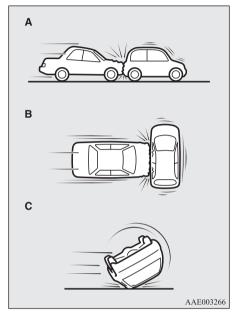
アドバイス

- コンクリートのような固い壁でなく，衝撃を吸収できるもの（車やガードレールのように変形，移動するもの）に衝突した場合は，SRS エアバッグが作動するときの衝突速度（車速）は高くなります。

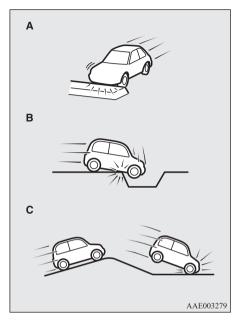
◆ 作動しないことがあるとき

衝突により車両前部が大きく変形しても，衝突した位置や角度，衝突したものの形状や状態などによって SRS エアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさと SRS エアバッグの作動は必ずしも一致しません。

A- 電柱や立木など狭い範囲に衝突したとき
B- トラックなどの荷台へ潜り込んだとき
C- 斜め前方から衝突したとき

◆ 作動しないとき

SRS エアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また，一度作動した SRS エアバッグは，2回目以降の衝突では再作動しません。

A- 追突されたとき
B- 側面から衝突されたとき
C- 横転，転覆したとき

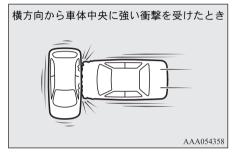
◆ 作動することがあるとき

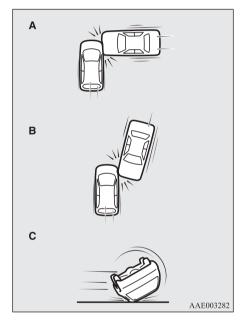
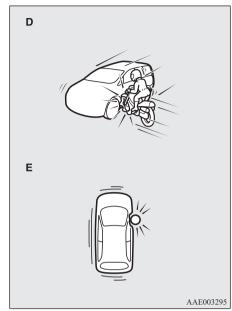
走行中，車両下部に強い衝撃を受けたときに作動することがあります。

A- 中央分離帯や縁石などに衝突したとき
B- 深い穴や溝に落ちたとき
C- ジャンプして地面にぶつかったとき

SRS サイドエアバッグ，SRS カーテンエアバッグの作動条件

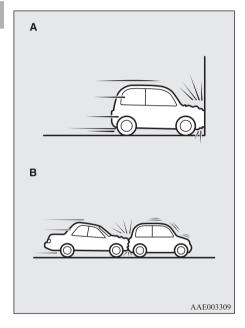
J00507100304

◆ 作動するとき

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側方から受けたときに作動します。

◆ 作動しないことがあるとき

衝突により車両側面が大きく変形しても，衝突した位置や角度，衝突したものの形状や状態などによってSRSサイドエアバッグおよびSRSカーテンエアバッグは作動しないことがありま す。車両の変形や損傷の大きさとSRSサイドエアバッグおよびSRSカーテンエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

A- 客室部以外の側面に衝撃を受けたとき
B- 斜め側方から衝撃を受けたとき
C- 横転や転覆したとき

D- 側面にバイクが衝突したとき
E- 電柱などに衝突したとき

◆ 作動しないとき

SRSサイドエアバッグおよびSRSカーテンエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また，一度作動したSRSサイドエアバッグおよび SRS カーテンエアバッグは，2 回目以降の衝突では再作動しません。

A- 正面衝突したとき
B- 追突されたとき

取り扱い上の注意

J00507400798

⚠警告

- つぎの修理または部品の取り付けをするときは，SRS エアバッグに影響をおよぼしたり，SRS エアバッグが思いがけなく作動しけがをするおそれがありますので，三菱自動車販売会社へご相談ください。
  - 運転席SRSエアバッグ，助手席SRSエアバッグ：
    ハンドル周り，インストルメントパネル，フロアコンソール付近の修理，カーオーディオなどの取り付け，および車両前部の修理
  - SRSサイドエアバッグ（タイプ別装備）：
    前席シート，センターピラーおよびその付近の修理
    前席シートの表皮の張り替え
  - SRSカーテンエアバッグ（タイプ別装備）：
    フロントピラー, センターピラー, リヤピラー, ルーフサイド部, およびその付近の修理
- サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり，サスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- つぎのSRSエアバッグ展開部付近を強くたたくなど，過度の力を加えないでください。SRSエアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
  - ステアリングパッド
  - インストルメントパネル上部
  - フロントシート側面
  - フロントピラー
  - センターピラー
  - リヤピラー
  - ルーフサイド部

⚠注意

- 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。SRS エアバッグが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。
- 電気テスターを使って, SRSエアバッグの回路診断はしないでください。SRSエアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- 無線機の電波などは，SRS エアバッグを作動させるコンピューターに悪影響を与えるおそれがありますので，無線機などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

イベントデータレコーダー(EDR) について

J00512600075

本車両は，SRS エアバッグシステムを制御するためのコンピューターを搭載しています。
当該コンピューターは，当システムが正常に作動しているかどうかを常に診断するとともに，衝突のときや衝突に近い状態のときにおいて車両の速度やブレーキペダルの状態などのデータを記録・蓄積するEDRを備えています。

EDRは，一般的なデータレコーダーとは異なり，会話などの音声や映像は記録しません。
三菱自動車および三菱自動車が委託した第三者は，EDR に記録されたデータを，車両衝突安全性能の向上などを目的として取得・利用することがあります。

なお，三菱自動車および三菱自動車が委託した第三者は，取得したデータをつぎの場合を除き，第三者へ提示することはありません。
- 車両の該当データ記録時の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など，法的強制力のある要請に基づく場合
- 使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

メーター・スイッチ

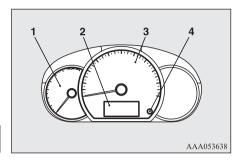
4

メーター

スイッチ

メーター

J00600100986

AAA053638

1- タコメーター タイプ別装備
毎分のエンジン回転数を示します。

アドバイス

- 指針がレッドゾーンにはいらないようにしてください。エンジンの寿命が短くなり，破損するおそれがあります。

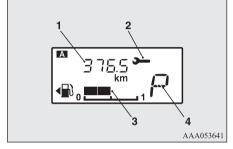
AAZ006091

2- マルチインフォメーションディスプレイ→P. 4-2
3- スピードメーター
走行速度を示します。
4- マルチインフォメーションディスプレイスイッチ

マルチインフォメーションディスプレイ

J00607100451

マルチインフォメーションディスプレイはオドメーター，トリップメーター，メーター照度，航続可能距離，平均燃費などを表示します。

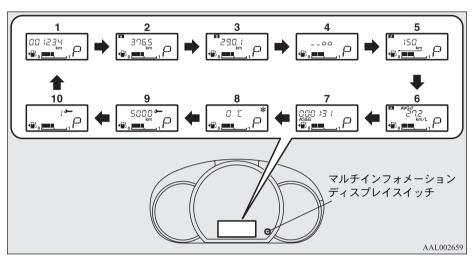
AAA053641

1- インフォメーション画面
→P. 4-3
2- サービスリマインダー
→P. 4-7
3- 燃料残量表示
→P. 4-4
4- セレクターレバー位置表示
→P. 5-29

アドバイス

- エンジンスイッチまたは電源モードがOFF のとき，燃料残量表示は表示されません。
- 走行中，サービスリマインダーは表示されません。

インフォメーション画面

J00608200390

マルチインフォメーションディスプレイスイッチを軽く押すごとにつぎの順で表示画面が切り換わります。

1- オドメーター（積算距離計）
走行した総距離を表示します。

2- トリップメーター（区間距離計）A
→P. 4-5

3- トリップメーター（区間距離計）B
→P. 4-5

4- メーター照度表示
→P. 4-5

5- 航続可能距離表示
→P. 4-6

6- 平均燃費表示
→P. 4-6

7- AS&Gモニター タイプ別装備
→P. 4-6

8- 外気温表示 タイプ別装備
→P. 4-7

9- サービスリマインダー（距離）
→P. 4-7

10- サービスリマインダー（月数）
→P. 4-7

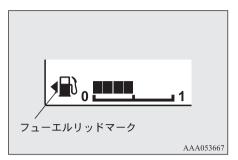
アドバイス

- 車幅灯が消灯しているとき，メーター照度は表示されません。
- エンジンスイッチまたは電源モードがOFFのとき，燃料残量，航続可能距離，平均燃費，外気温は表示されません。
- 走行中，サービスリマインダーは表示されません。

燃料残量表示

J00608600352

燃料の残量を表示します。

AAA053667

1- 満タンです。（約35L）
0- 燃料を補給してください。

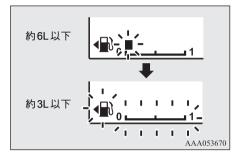
アドバイス

- 燃料補給後，表示が安定するまで少し時間がかかります。
- エンジンスイッチまたは電源モードがONのまま燃料を補給すると，正しい燃料残量が表示できません。
- フューエルリッドマークは，フューエルリッド（燃料補給口）が車体の左側についていることを示しています。

◆ 燃料残量警告表示

燃料が約 6L 以下になると目盛りが点滅し，さらに燃料が約 3L 以下になるとマークとゲージ部が点滅します。警告表示が出たら早めに燃料を補給してください。

→「フューエルリッド（燃料補給口）」P. 2-24
→「燃料の量と種類」P. 12-2

AAA053670

⚠注意

- 燃料切れを起こすと触媒装置に悪影響を与えるおそれがあります。警告表示が出たら早めに燃料を補給してください。

アドバイス

- 坂道やカーブなどでは，タンク内の燃料が移動するため，正しく表示しないことがあります。

トリップメーター（区間距離計）

J00607500048

2点間の走行距離を表示します。

＜トリップメーターA，トリップメーターBの使用例＞

トリップメーターAで自宅を出発してからの距離を測りながら，トリップメーターBで途中の経由地からの距離を測ることができます。

◆ リセットするときは

表示を 0 に戻すときはマルチインフォメーションディスプレイスイッチを約 1 秒以上押し続けます。この場合，表示されている方だけリセットされます。

＜例＞

トリップメーターAが表示されていれば，トリップメーターAだけリセットされます。

アドバイス

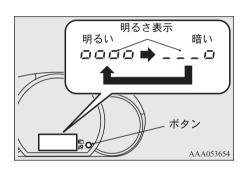
- トリップメーターA，Bともに9999.9kmまで計測することができます。9999.9kmを超えると0.0kmに戻ります。
- バッテリー端子を外すと，トリップメーターA，Bとも記憶が消去され，表示が0.0kmに戻ります。

メーター照度表示

J00622000015

車幅灯が点灯しているとき，ボタンを1秒以上押すたびに音が鳴り，メーターの明るさ（8段階）を変えることができます。

アドバイス

- 明るさが2段階減るごとに，明るさ表示は一つずつ減少します。
- エンジンスイッチをLOCKに，または電源モードをOFFにしても，メーターの明るさの状態を記憶しています。
- ボタンを押し続けると明るさ表示がオートスクロールし，手を離すと止まります。

航続可能距離表示

J00620000037

おおよその航続可能距離（あと何km走行できるか）を表示します。
航続可能距離が約50km未満になると“---”を表示します。

アドバイス

- 航続可能な距離は，燃費データをもとに割り出しますが，道路状況，運転のしかたなどにより変動しますので表示された値はあくまでも参考としてご利用ください。また，バッテリー端子を外したときは，今までの燃費データが消去され，それまでとは異なった値が表示されることがあります。
- 燃料を補給すると航続可能距離が更新されます。ただし，給油量が少ないと正しい数値が表示されませんので，給油するときはできるだけ満タンにしてください。
- 非常に急な坂道で停車した場合，まれに航続可能距離の値が変動することがあります。これは坂道でタンク内の燃料が移動したためで，故障ではありません。
- 単位表示をお好みの設定（km または miles）に変更することができます。
→「機能設定」P. 4-8

平均燃費表示

J00620200039

リセットしてから現在までの平均燃費を表示します。
リセットモードにはマニュアルリセットモードとオートリセットモードの 2 種類があります。
→「平均燃費表示のリセットモード変更」P. 4-8

アドバイス

- 平均燃費が測定できないときは“---”を表示します。
- 平均燃費は走行状態（道路状況，運転のしかたなど）により変化します。実際の燃費と表示燃費が異なることがありますので，あくまでも参考としてご利用ください。
- 単位表示をお好みの設定 {km/L, L/100km または mpg} に変更することができます。
→「機能設定」P. 4-8

AS&Gモニター

タイプ別装備

J00622100016

エンジンがオートストップ＆ゴー (AS&G) の働きによって停止していた累積時間を表示します。
→「オートストップ＆ゴー (AS&G)」P. 5-21

アドバイス

- エンジンスイッチまたは電源モードを再び ON にすると表示はリセットされます。

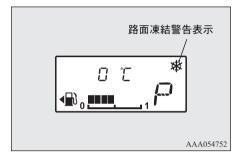
外気温表示

タイプ別装備

J00608500221

車外気温を表示します。

◆ 路面凍結警告表示

車外気温が 0°C 以下になると，路面凍結警告表示が約10秒間点滅すると同時にブザーが鳴り，路面凍結のおそれのあることを警告します。

⚠注意

- 路面凍結警告表示が点滅していなくても路面が凍結している場合がありますので注意してください。

アドバイス

- 走行条件などにより，実際の車外気温と異なる表示をすることがあります。

◆ 表示単位を変更するときは

J00622700012

外気温が表示しているとき，マルチインフォメーションディスプレイスイッチを約 1 秒以上押すと表示する単位をお好みの設定（°Cまたは°F）に変更することができます。

サービスリマインダー

J00609800348

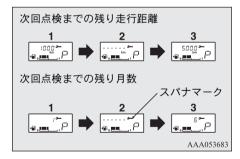
次回点検までの残り走行距離または月数を知らせます。

表示のしかた

1. 次回点検までの残り走行距離または月数を表示します。

アドバイス

- 距離は 100km 単位，月数（期間）は 1ヶ月単位で減少します。
- 新車 6ヶ月点検を過ぎると，月数（期間）のみを表示します。

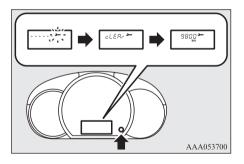
2. 点検時期が近づいたことを“------”を表示して知らせます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
3. 三菱自動車販売会社で点検を受けると，次回点検までの残り走行距離または残り月数を表示します。

アドバイス

- 点検時期が近づいたとき，エンジンスイッチまたは電源モードを ON にするとスパナマークが表示され，その後，サービスリマインダーをリセットするまで表示され続けます。リセットするとスパナマークは次回点検時期が近づくまで表示されません。
- サービスリマインダーの設定を変更することができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

リセットするときは

エンジンスイッチまたは電源モードがOFF のときに，スパナマーク，“------”表示をリセットすることができます。

1. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを軽く数回押して，次回点検までの残り走行距離または残り月数を表示させます。
2. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約1 秒以上）押して“スパナマーク”を点滅表示させます。
   （点滅中，約10 秒間何も操作しないともとの表示画面に戻ります。）
3. 点滅中にマルチインフォメーションディスプレイスイッチを軽く押すと“------”が“cLEAr ”表示にかわります。
   その後，次回点検までの残り走行距離または残り月数を表示します。

AAA053700

⚠注意

- 定期点検整備は，お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。
  事故や故障を未然に防ぐために必ず実施してください。

アドバイス

- “------”表示後，一定距離及び一定期間が経過すると自動的にリセットされてつぎの定期点検までの時期を表示します。

アドバイス

- 誤ってリセットした場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

機能設定

J00620400044

エンジンスイッチまたは電源モードがON のとき，「平均燃費表示のリセットモード」，「平均燃費表示の単位」をお好みの設定に変更することができます。

アドバイス

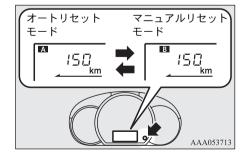
- 安全のため停車してから操作してください。

◆ 平均燃費表示のリセットモード変更

J00620600046

平均燃費表示のモード条件を「オートリセットモード」または「マニュアルリセットモード」に切り換えることができます。

1. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを軽く数回押して航続可能距離表示に切り換えます。
2. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長く（約1秒以上）押すごとに，A（オートリセットモード）→B（マニュアルリセットモード）→Aと切り換わります。

AAA053713

マニュアルリセットモード

- 平均燃費を表示しているときに，マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長押しすると，そのときに表示している平均燃費表示をリセットします。

オートリセットモード

- 平均燃費を表示しているときに，マルチインフォメーションディスプレイスイッチを長押しすると，そのときに表示している平均燃費表示をリセットします。
- エンジンスイッチまたは電源モードがつぎの状態のとき，平均燃費表示を自動でリセットします。
  [除く，キーレスオペレーションシステム付き車]
  エンジンスイッチが約 4 時間以上ACCまたはLOCKの状態
  [キーレスオペレーションシステム付き車]
  電源モードが約4時間以上ACCまたはOFFの状態

アドバイス

- 平均燃費表示は，オートリセットモードまたはマニュアルリセットモードのモード毎にリセットされます。
  ＜例＞
  マニュアルリセットモードのときにリセット操作をした場合，マニュアルリセットモードの平均燃費表示はリセットされますが，オートリセットモードの平均燃費表示はリセットされません。
- バッテリーを外すと，オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの平均燃費表示の記憶は消去されます。

◆ 平均燃費表示の単位変更

J00620700047

平均燃費の表示単位を切り換えることができます。

1. マルチインフォメーションディスプレイスイッチを軽く数回押して平均燃費表示に切り換えます。
2. マルチインフォメーションディスプレイスイッチをブザーが鳴るまで押し続け（約5秒以上），さらに押し続けると単位が km/L→L/100km→mpg→km/Lと切り換わります。

選択した平均燃費の単位に合わせて，つぎの組み合わせで航続可能距離の単位も切り換わります。

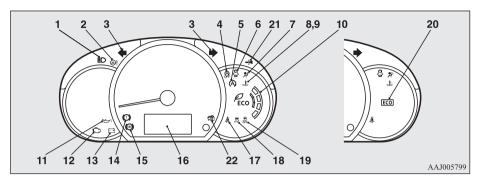
平均燃費	航続可能距離
km/L	km
L/100km	km
mpg	miles

アドバイス

- 平均燃費，航続可能距離の表示単位は切り換わりますが指針（スピードメーター），オドメーター（積算距離計），トリップメーター（区間距離計）およびサービスリマインダーの単位は切り換わりません。
- バッテリーを外すと単位設定の記憶は消去され，自動的にkm/Lに設定されます。

4

表示灯・警告灯

J00601501304

1- ヘッドライト上向き表示灯→P. 4-11
2- 電動パワーステアリング(EPS)警告灯→P. 5-38
3- 方向指示表示灯/非常点滅表示灯→P. 4-11
4- オートストップ＆ゴー (AS&G)OFF表示灯 タイプ別装備 →P. 5-25
5- オートストップ＆ゴー (AS&G)表示灯 タイプ別装備 →P. 5-21
6- 半ドア警告灯→P. 4-13
7- SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯→P. 3-24
8- 高水温警告灯（赤色）→P. 4-13
9- 低水温表示灯（緑色）→P. 4-11
10- ECOドライブアシスト タイプ別装備 →P. 4-11
11- 油圧警告灯→P. 4-13
12- エンジン警告灯→P. 4-12
13- 充電警告灯→P. 4-13
14- ブレーキ警告灯→P. 4-12
15- ABS警告灯→P. 5-37
16- マルチインフォメーションディスプレイ→P. 4-2
17- シートベルト非着用警告灯→P. 3-8
18- アクティブスタビリティコントロール(ASC)作動表示灯 タイプ別装備 → P. 5-40
19- アクティブスタビリティコントロール(ASC)OFF表示灯 タイプ別装備 → P. 5-40
20- ECOランプ タイプ別装備 →P. 4-11
21-「警告表示について」をお読みください。 タイプ別装備 →P. 2-12
22-「警告表示について」をお読みください。 タイプ別装備 →P. 2-12

表示灯

J00601600177

方向指示表示灯／非常点滅表示灯

J00601700400

つぎの場合に点滅します。

- 方向指示レバーを操作し，方向指示灯を作動させたとき。
  →「方向指示レバー」P. 4-18
- 非常点滅灯スイッチを押し，非常点滅灯を作動させたとき。
  →「非常点滅灯スイッチ」P. 4-18
- 走行中に急ブレーキを踏んで，自動的に非常点滅灯が作動したとき。
  →「緊急制御信号システム」P. 5-33

ヘッドライト上向き表示灯

J00601800010

ヘッドライトを上向きにすると点灯します。

低水温表示灯（緑色）

J00602300096

エンジン冷却水の温度が低いときに点灯（緑色）し，エンジンが温まると消灯します。

アドバイス

- 表示灯が消灯したら，暖房の効き始めの目安としてお役立てください。
- 表示灯が点灯したままのときは，温度センサーなどの異常が考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ECOランプ

タイプ別装備

J00620500146

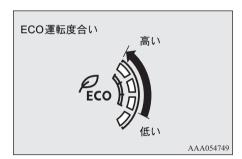
燃費に良い運転状態のときに表示されます。

ECOドライブアシスト

タイプ別装備

J00621900017

走行状態に応じて，燃費によい運転度合いを表示します。
走行速度に合ったアクセルペダルの操作でECO運転をしているとECOドライブアシストが下図のように変化します。

警告灯

J00602500160

ブレーキ警告灯

J00602601096

エンジンスイッチまたは電源モードを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
走行する前に，必ず警告灯が消えていることを確認してください。
エンジンをかけても，つぎのようなときは点灯します。

- 駐車ブレーキをかけたままのとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- ブレーキ力配分機能の異常

駐車ブレーキをかけたまま車速が8km/h以上になるとブザーが鳴り，解除忘れを知らせます。

⚠注意

- つぎの場合はブレーキの効きが悪くなったり，急ブレーキをかけたとき車体姿勢が不安定になるおそれがありますので，急ブレーキや高速走行を避けただちに車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へご連絡ください。
  - 駐車ブレーキをかけても点灯しないときや戻しても消灯しないとき
  - 走行中ブレーキ警告灯が点灯したまま消灯しないとき
  - ブレーキ警告灯と ABS 警告灯が点灯したとき
    →「ABS警告とブレーキ警告を表示したときは」P. 5-37

⚠注意

- ブレーキの効きが悪い場合はつぎの処置により車を止めてください。
  - ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。
    ブレーキペダルが奥まで踏み込まれた状態になることがありますが，そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
  - 万一，ブレーキが効かないときは，エンジンブレーキでスピードを落としてから駐車ブレーキを慎重にかけてください。
    このとき後続車に注意をうながすため，ブレーキペダルを踏んでストップランプを点灯させてください。

エンジン警告灯

J00602700830

エンジン制御システム，または CVT 制御システムに異常があると点灯または点滅します。
正常なときはエンジンスイッチまたは電源モードをON にすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

⚠注意

- エンジン回転中に点灯したときは，高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

充電警告灯

J00602800349

充電系統に異常があると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチまたは電源モードをONにすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

⚠注意

- エンジン回転中に点灯したときは，ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

油圧警告灯

J00602900278

エンジン回転中，エンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチまたは電源モードをONにすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

⚠注意

- エンジンオイルが不足したまま運転したり，エンジンオイルの量が正規であっても点灯したままで運転するとエンジンが焼き付き，破損するおそれがあります。
- エンジン回転中に点灯したときは，ただちに安全な場所に停車しエンジンを止め，エンジンオイル量を点検してください。
（点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。）
- エンジンオイル量が正常で点灯するときは，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

アドバイス

- 油圧警告灯はオイル量を示すものではありません。オイル量の点検は必ずオイルレベルゲージで行ってください。

高水温警告灯（赤色）

J00603000074

エンジン冷却水の温度が異常に高くなると点灯（赤色）します。
正常なときはエンジンスイッチまたは電源モードをONにすると点灯し，数秒後に消灯します。

⚠注意

- 走行中に点灯したときはオーバーヒートのおそれがあります。そのまま走行を続けるとエンジン故障の原因となりますので，ただちに安全な場所に車を止め，処置してください。
→「オーバーヒートしたときは!」
P. 11-29

アドバイス

- 高速走行や山道走行などで走行したあとの再始動時に点灯することがありますが，異常ではありません。しばらくエンジンをかけたままにするか，走行すれば消灯します。

半ドア警告灯

J00603200601

いずれかのドア（含む，テールゲート）が完全に閉められていないときに点灯します。
半ドアのまま車速が約8km/h以上になるとブザーが 4 回鳴り，半ドアを知らせます。

⚠注意

- 走行する前に，警告灯が消灯していることを確認してください。

ライトスイッチ

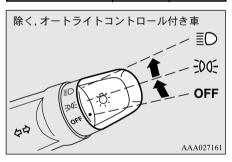
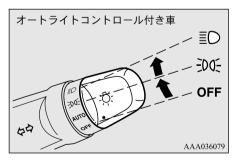
J00604001049

手動で使うときは

J00616700105

エンジンスイッチまたは電源モードの状態に関係なく使用できます。
レバー先端のツマミを回すと下表の〇印のランプが点灯します。

ツマミの位置		
ヘッドライト	〇	—
車幅灯	〇	〇
尾灯	〇	〇
番号灯	〇	〇
計器類照明灯	〇	〇

除く，オートライトコントロール付き車

オートライトコントロール付き車

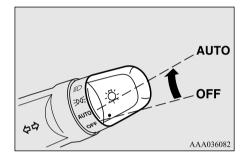
アドバイス

- 雨の日や洗車後などにレンズ内側が曇ることがあります。これは湿気の多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。ランプを点灯すると熱で曇りは取れます。ただし，ランプ内に水がたまっているときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

自動で使うときは（オートライトコントロール）

タイプ別装備

J00616800076

エンジンスイッチまたは電源モードがONのときに使用できます。レバー先端のツマミをAUTO位置にすると，車外の明るさに応じてヘッドライト，車幅灯，尾灯，番号灯などが自動的に点灯・消灯します。
エンジンスイッチまたは電源モードをOFFにすると自動的に消灯します。

アドバイス

- 自動点灯センサーの感度を調整することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 自動点灯・消灯装置のセンサーの上には物を置いたり，ガラスクリーナーなど吹きかけないでください。
  センサーが車外の明るさを検知できなくなり，ライトが自動に点灯•消灯しなくなるおそれがあります。

- AUTOの位置で点灯・消灯しないときは，手動スイッチを操作し，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト *1 オートカット機能（自動消灯）

J00606000929

*1 ヘッドライトや車幅灯などの車外照明

- ライトスイッチが≡Dまたは≡D0≡の位置でも，エンジンスイッチまたは電源モードをOFFにし，運転席ドアを開くと，ランプ類が自動的に消灯します。
- ライトスイッチが≡Dまたは≡D0≡の位置でも，エンジンスイッチまたは電源モードをOFFにし，運転席ドアを開かないまま約3分たつとランプ類が自動的に消灯します。

◆ 降車後，照明として利用するときは

降車後も約3分間ランプ類を点灯させておくことができます。

1. ライトスイッチをOFFにし，エンジンスイッチをLOCKに，または電源モードをOFFにします。
2. ライトスイッチを≡Dの位置にし，降車します。

アドバイス

- ライトスイッチを≡D0≡位置にすると降車後照明として利用できません。（自動消灯せず通常通り，ランプ類が点灯し続けます。）
- キーを使ってエンジンをかけているときは，運転席から降車するときキーが抜かれていればライト消し忘れ警告ブザーが鳴り，キーが差さっていればキー抜き忘れ警告ブザーが鳴りますが，ドアを閉じれば止まります。

アドバイス

- キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているときは，運転席から降車するとき電源モードがOFFのときはライト消し忘れ警告ブザーが鳴り，OFF以外のときは電源モード戻し忘れ警告ブザーが鳴りますが，ドアを閉じれば止まります。

3. 約3分後にランプ類が自動消灯します。

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - ライトスイッチが位置でも降車後照明として利用できるようにする。
  - ランプ類のオートカット機能を働かなくする。

ライト消し忘れブザー

J00606100324

キーを使ってエンジンをかけているとき

ライトスイッチがまたはの位置のままでキーを抜き，運転席のドアを開くと，ブザーが鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。

キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているとき

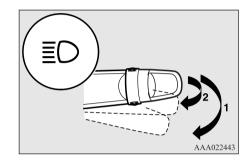
ライトスイッチがまたはの位置のままで電源モードをOFFにして運転席のドアを開くと，ブザーが鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。

どちらのときも，ヘッドライトオートカット機能が働く，ライトスイッチをOFF にする，またはドアを閉じればブザーは止まります。

上下切り換え

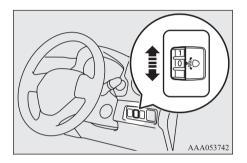
J00606200282

レバーを(1)まで引くたびにヘッドライトの照らす方向が上向き，下向きと交互に切り換わります。
レバーを(2)まで軽く引くと，引いている間ヘッドライトが上向きになり，メーター内の表示灯も点灯します。

アドバイス

- ライトスイッチがOFF位置でも，レバーを(2)まで軽く引いている間ヘッドライトが上向きで点灯します。
- ヘッドライトを上向きにしたまま戻し忘れても，次回ライトスイッチをの位置にすると必ず下向きで始まります。

ヘッドライトレベリングダイヤル

J00604100942

ヘッドライトの照らす方向（光軸）は，乗員の人数や荷物の重さなどによって変化します。人や荷物をのせて，ヘッドライトの光軸がいつもより上向きになった場合は，ダイヤルを回してヘッドライトの光軸を下向きに調整します。ダイヤルの数字が大きくなるほど下向きになります。

乗員の人数や荷物の重さに応じて下記の表を目安にダイヤル位置を調整してください。
人や荷物をおろした後は，必ずダイヤルを“0”の位置に戻してください。

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

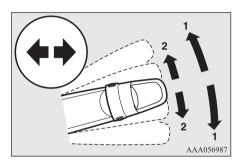
乗員やラゲッジルームの積載状態		ダイヤル位置
	運転席乗車時	0
	運転席＋助手席乗車時	
	全席乗車時	2
	全席乗車時＋ラゲッジルーム最大積載時	3
	運転席乗車時＋ラゲッジルーム最大積載時	4

アドバイス

- 車検などで光軸調整をするときは，ダイヤルを“0”の位置（光軸が一番上向きの位置）にしてから行ってください。

方向指示レバー

J00604200969

エンジンスイッチまたは電源モードがONのときにレバーを(1)まで操作すると，方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。
レバーはハンドルを戻すと自動的に戻ります。ゆるいカーブなどで戻らないときは手で戻してください。
車線変更などのときは，レバーを(2)まで軽く操作すると操作している間だけ方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。また，レバーを(2)まで軽く操作し，すぐ離すと3回，方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。

1- 方向指示
2- 車線変更

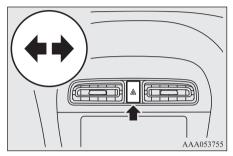
アドバイス

- 点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - 方向指示灯の点滅に合わせて鳴るブザー音を変更する。
  - エンジンスイッチまたは電源モードがONまたはACCのときにレバーを操作すると，方向指示灯とメーター内の表示灯を点滅させる。
  - 車線変更時，方向指示灯の3回点滅機能を働かなくする。
  - 車線変更時，方向指示灯の3回点滅機能のレバー操作時間を調整する。

非常点滅灯スイッチ

J00604300768

故障したときなど，やむを得ず路上に車を止めたいときに使用します。
スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅し，メーター内の表示灯も点滅します。もう一度押すと消灯します。

アドバイス

- エンジンがかかっていないときに長時間使用するとバッテリーが上がり，エンジンがかからなくなることがあります。
- スイッチを押して非常点滅灯を点滅させているときは，緊急制動信号システムは作動しません。
  →「緊急制動信号システム」P. 5-33

ワイパー／ウォッシャースイッチ

J00604801021

エンジンスイッチまたは電源モードがONまたはACCのときに使用できます。

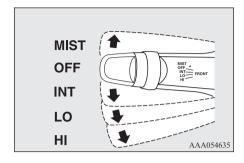
⚠注意

- 寒冷時にウォッシャーを使用するとガラスに噴きつけられたウォッシャー液が凍結し，視界を妨げることがあります。ウォッシャー使用前にヒーターやリヤウインドウデフォッガーを使って，ガラスを暖めてください。

アドバイス

- ガラスがほこりや泥で汚れているときは，洗車するかウォッシャー液を噴射してからワイパーを使用してください。
  汚れたままでワイパーを動かすとガラスに傷がつくことがあります。
- ウォッシャー液が出ないとき，ウォッシャースイッチを操作し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。
  →「ウォッシャー液の点検・補給」P. 9-5
- 凍結などでワイパーブレードがガラスに張り付いたまま作動させないでください。ガラスに張り付いたまま作動させるとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーターが故障するおそれがあります。
  凍結のおそれがあるときや長時間ワイパーを使用しなかったときは，ワイパーブレードがガラスに張り付いていないことを確認してください。
- ワイパーを作動中，積雪などによりワイパーブレードが途中で止まったときはワイパースイッチをOFFにしてもモーターに電流が流れておりエンジンスイッチをLOCKに，または電源モードをOFFにしないとモーターが焼き付くことがあります。必ず車を安全な場所に止めてエンジンスイッチをLOCKに，または電源モードをOFFにし，ワイパーブレードが作動できるように積雪などを取り除いてください。

フロントワイパースイッチ

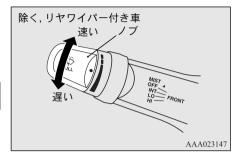
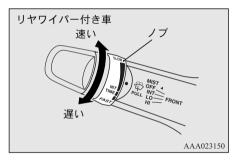
J00615400280

MIST	1回作動（ワイパーミスト機能）
OFF	停止
INT	間けつ作動（車速感応） 車速に応じてワイパーが間けつ作動します。 車速が速くなると間けつ時間が短くなります。
LO	低速作動
HI	高速作動

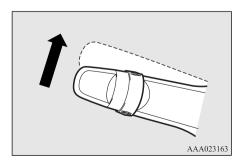
アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - 車速感応の機能を働かなくする。
  - オートライトコントロール付き車は，ワイパーが作動している間，ヘッドライトを自動的に点灯させる。（ライトスイッチがAUTO位置のときのみ）

4

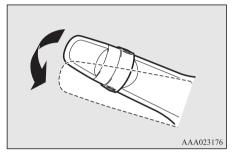
◆ 間けつ時間の調整のしかた

レバーがINT（間けつ作動）位置のときにノブを回すと間けつ時間を調整できます。

◆ ワイパーミスト機能

レバーを MIST 位置に上げて離すとワイパーが1回だけ作動します。霧雨のときなどにご使用ください。レバーをMIST位置に上げている間はワイパーが連続作動します。

フロントウォッシャースイッチ

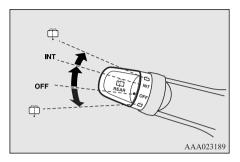
J00604900807

レバーを手前に引いている間，ウォッシャー液が噴射します。
ワイパーが作動していないときや間けつ作動中にウォッシャー液を噴射するとワイパーが数回作動します。

アドバイス

- ワイパーを作動させずにウォッシャー液を噴射するときは，レバーを手前に引いた状態でエンジンスイッチまたは電源モードをＯＮまたはＡＣＣにするとワイパーは連動せず，ウォッシャー液のみが噴射します。
- ウォッシャー液を噴射しても常時ワイパーを連動させないようにすることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

リヤワイパー／ウォッシャースイッチ

タイプ別装備

J00605000948

レバー先端のツマミを回すとつぎの通り作動します。

INT　間けつ作動
数回作動し, その後約8秒おきに作動

OFF　停止

（ウォッシャー）　この位置に回している間，ウォッシャー液を噴射。同時にワイパーが数回作動。

アドバイス

- 後方の視界を確保するため, INTの位置で間けつ作動中にセレクターレバーをⓇに入れるとワイパーが自動的に数回作動し，その後間けつ作動に戻ります。
- ワイパーを作動させずにウォッシャー液を噴射するときは，レバー先端のツマミを（ウォッシャー）の位置に回した状態でエンジンスイッチを ON または ACC にするとワイパーは連動せず，ウォッシャー液のみが噴射します。

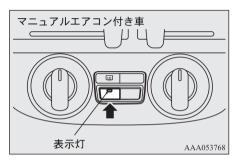
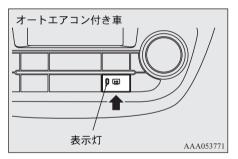
アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  - ワイパーの間けつ作動時間を調整する。この調整をした場合，間けつ作動だけでなく 1 秒以内にレバー先端のツマミを INT（間けつ作動）の位置に 2 回繰り返して回すと，ワイパーを連続作動に切り換えることができます。（連続作動モード）
  - ワイパーの間けつ作動を連続作動にする。
  - ウォッシャー液を噴射しても常時ワイパーを連動させない。

4

リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ

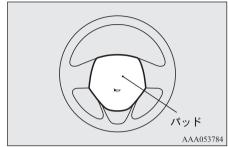
J00605500682

リヤガラスにプリントされた電熱線でガラスを暖めて曇りを取ると同時に，ガラス表面の霜や氷を取り除きやすくします。
エンジンがかかっているときにスイッチを押すと作動し，表示灯が点灯します。
もう一度押すとスイッチが切れます。

アドバイス

- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたらスイッチを切ってください。
  万一，スイッチを切り忘れても約20分後に自動的に切れます。
- リヤガラス付近に物を置かないでください。車の振動で物が当たると電熱線が切れることがあります。
- リヤガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないように柔らかい布を使い電熱線に沿ってふいてください。

ホーンスイッチ

J00605600609

ハンドルのパッドを押すとホーン（警音器）が鳴ります。

運転装置

安全なドライブのために

J00723600022

お車を運転の際に知っておいていただきたいこと，守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
重要ですので，しっかりお読みください。

出発前は

J00723700023

◆ 燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まない

● 強い直射日光などにより車内が高温になると容器が破裂したり，蒸発ガスに引火し爆発するおそれがあります。

5

◆ 運転席の足元付近を点検

● 出発前に運転席の足元付近を点検し，空き缶などの動きやすい物を放置しないでください。
ブレーキペダルやアクセルペダルの下に物が挟まると，ペダル操作ができなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

● フロアマットはペダルに引っかからないよう，車に合ったものを正しく敷いてください。→「フロアマット」P. 6-7
正しく敷かないと，ペダル操作の妨げになり，重大な事故につながるおそれがありますので，つぎのことをお守りください。
- ずれないよう固定クリップなどで確実に固定する。
- ペダルをおおわない。
- 重ねて敷かない。
- アクセルペダルの下に敷かない。

◆ フロントガラス前部の雪，落ち葉などは取り除く

● フロントガラス前部の外気取り入れ口に雪，落ち葉などが付いているときは取り除いてください。
そのままにしておくと，車内の換気が十分にできずガラスが曇り，視界が悪くなるおそれがあります。

走行するときは

J00723800024

◆ 発進するときは

● 駐車後や信号待ちなどで停車したあとは，子どもや障害物など，車のまわりの安全を十分確認してから発進してください。

● 車を後退させるときは目で後方を確認してください。
バックミラーでは確認できない死角があります。

◆ 雨天時や水たまりを走行するときは

● 雨天時やぬれた道路ではスピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。
特に雨の降りはじめは路面が滑りやすいため注意してください。

● 水たまり走行後や洗車後，ブレーキに水がかかると一時的にブレーキの効きが悪くなることがあります。
ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。

● わだちなど水のたまっている場所を高速で走行すると，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

ハイドロプレーニング現象とは…

● 水のたまっている道路を高速で走行するとき，あるスピード以上になるとタイヤが路面の水を排除できず，水上を滑走する状態になり，車のコントロールが効かなくなる現象。

◆ 下り坂ではエンジンブレーキを併用

● 長い下り坂でフットブレーキのみを多く使用すると，ブレーキが過熱して，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
坂の勾配に応じて必ずエンジンブレーキを併用してください。

◆ 段差などを通過するときは

● できるだけゆっくり走行してください。
段差や凹凸のある路面を通過するときの衝撃によりタイヤおよびホイールを損傷するおそれがあります。
またつぎのような場合，車体，バンパー，マフラーなどを損傷するおそれがありますので十分注意してください。
- 駐車場の出入り口
- 路肩や車止めのある場所
- 勾配の急な場所
- わだちのある道路

走行中に異常に気づいたら

J00723900025

◆ 万一，走行中にエンストしたときは

● 走行中にエンストしたときは，運転操作に変化がおきますので，つぎの点に注意して車を安全な場所に止めてください。
- ブレーキ倍力装置が働かなくなるため，ブレーキの効きが非常に悪くなります。
通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。
ブレーキペダルから足を離し，再び踏み直すと，ブレーキの効きがさらに悪くなります。
- 万一，スピードが落ちないときは，駐車ブレーキを慎重にかけてください。
このときも，ブレーキペダルは強く踏み続けて下さい。
- パワーステアリング装置が働かなくなるため，ハンドルが非常に重くなります。

◆ 走行中にタイヤがパンクまたはバースト（破裂）したときは

● 走行中にタイヤがパンクまたはバーストすると，車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
ハンドルをしっかり持ち，徐々にブレーキをかけてスピードを落としてください。
● つぎのようなときは，パンクやバーストが考えられます。
- ハンドルがとられるとき
- 異常な振動があるとき
- 車両が異常に傾いたとき

◆ 警告灯が点灯または点滅したときは

- 警告灯が点灯または点滅したときは，安全な場所に停車し，適切な処置をしてください。
  →「警告灯が点灯または点滅したときは！」P. 11-2
  点灯または点滅したまま走行すると，思わぬ事故を引き起こしたり，エンジンなどを損傷するおそれがあります。

◆ 車体床下に強い衝撃を受けたときは

- すぐに安全な場所に車を止めて下まわりを点検してください。
  ブレーキ液や燃料の漏れ，損傷などがあると，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  漏れや損傷などが見つかったときは，そのまま使用せず三菱自動車販売会社にご連絡ください。

駐停車するときは

J00724000010

◆ 燃えやすいものの近くには車を止めない

- 枯草や紙など燃えやすいものの近くには車を止めないでください。
  走行後の排気管は高温になっているため，火災になるおそれがあります。

◆ 仮眠するときは必ずエンジンを止める

- エンジンをかけたまま仮眠すると，排気ガスが車内に侵入して，一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
- 無意識にセレクターレバーを動かしたり，アクセルペダルの踏み込みにより，不用意な発進など，重大な事故につながるおそれがあります。
- 無意識にアクセルペダルを踏み続けたときに，オーバーヒートを起こしたり，エンジンや排気管などの異常過熱により，火災事故が発生するおそれがあります。

◆ 坂道に駐車するときは

- 坂道に駐車するときは，駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れてください。さらに輪止めをすると効果があります。
  輪止めは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
  輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。
- 急な坂道での駐車は避けてください。
  無人で車が動き出すなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。

◆ 雪が積もった場所や降雪時にはエンジンをかけたままにしない

- エンジンがかかった状態で，車のまわりに雪が積もると排気ガスが車内に侵入して，一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

経済的な運転をするために

J00724100011

◆ 無駄な荷物を載せない

- 不要な荷物を降ろして重量を軽くしてください。

◆ 発進，加速はスムーズに

- 不必要な急発進，急加速，急減速など，アクセルペダルをバタつかせるような運転は避け，アクセルペダルの操作はゆるやかに行ってください。

◆ 速度はできるだけ一定に

- 法定速度を守り，できるだけ一定のスピードで運転してください。

◆ 空ぶかしは禁物

- 空ぶかしは，燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となりますので避けてください。

◆ 駐車時はエンジンストップ

- 携帯電話の使用や休憩などで，長い間車を止めるときは，エンジンを止めてください。燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となります。

◆ タイヤの空気圧は定期的にチェック

- タイヤの空気圧はこまめに点検し，常に規定の空気圧に調整してください。
  →「タイヤの空気圧の点検•調整」P. 9-7
  →「タイヤの空気圧」P. 12-7

お子さまを乗せるときは

J00724200012

◆ お子さまは後席に座らせる

- 助手席ではお子さまの動作が気になり運転の妨げになるだけでなく，お子さまが運転装置に触れて，重大な事故につながるおそれがあります。
- やむを得ず助手席にお子さまを乗せるときでも，つぎのことをお守りください。
  - 必ずシートベルトを着用する
    →「シートベルト」P. 3-6
  - シートをできるだけ後方に下げる
  - シートに深く腰かけて，背もたれに背中がついた正しい姿勢で座らせる

◆ 窓から手や顔を出させない

- 窓から手や顔を出していると，車外の物などに当たったり，急ブレーキをかけたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。

◆ 車から離れるときはお子さまも一緒に

- お子さまだけを車内に残さないでください。
  炎天下での車内は高温となり，熱射病などのおそれがあります。

こんなことにも注意

J00724300013

◆ 運転中にハンズフリー以外の携帯電話を使用しない

- 運転中，運転者はハンズフリー以外の携帯電話を使用しないでください。使用すると，周囲の状況に対する注意がおろそかになり，思わぬ事故につながるおそれがあります。運転中，運転者がハンズフリー以外の携帯電話を使用することは法律で禁止されています。

◆ ブレーキペダルをフットレストがわりにしない

- ブレーキペダルに常に足をのせて運転すると，ブレーキ部品が早く摩耗したり，ブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。

◆ ハンドルをいっぱいに回した状態を長く続けない

- ハンドル操作力が重くなることがあります。
  →「電動パワーステアリング」P. 5-38

◆ 車を移動するときは必ずエンジンを始動する

● エンジンがかかっていないと，ブレーキの効きが非常に悪くなったり，ハンドル操作が非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。
坂道で車を移動させるときも，必ずエンジンをかけてください。

◆ アクセサリー取り付け時の注意

● ウインドウガラスなどにアクセサリーをつけたり，インストルメントパネルの上に芳香剤などを置かないでください。
運転の妨げになったり，吸盤や芳香剤の容器がレンズの働きをして火災など，思わぬ事故の原因となります。

◆ 違法改造はしない

● 国土交通省に届け出をした部品以外の物を装着すると，違法改造になることがあります。
また，三菱自動車純正以外の部品を装着すると，車の性能や機能に影響し，思いがけない事故が発生するおそれがあります。

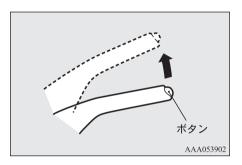
◆ 電装品や無線機などの注意

● 電装品や無線機などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。
配線が車体に干渉したり，保護ヒューズがないなど取付け方法が適切でない場合，電子機器部品に悪影響をおよぼしたり，火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

駐車ブレーキ

J00700101102

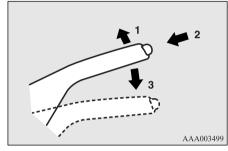
かけるときは

ブレーキペダルを踏んだまま，ボタンを押さずに駐車ブレーキレバーをいっぱいまで引きます。
メーター内のブレーキ警告灯が点灯していることを確認してください。

⚠注意

- 坂道に駐車するときは駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れてください。
- 駐車ブレーキをかけるときはブレーキペダルをしっかり踏み，完全に車を止めてから駐車ブレーキレバーを引いてください。
  車が動いているうちに駐車ブレーキレバーを引くと後輪がロックして車体姿勢が不安定になるおそれがあります。また駐車ブレーキの故障の原因になります。

解除するときは

1. ブレーキペダルを踏んだまま，レバーを少し引き上げ
2. ボタンを押したまま
3. 完全に戻します。

解除したときはメーター内のブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。

⚠注意

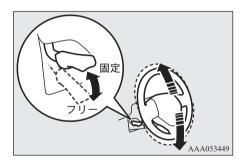
- 駐車ブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し，ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。

チルトステアリング

J00700200470

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

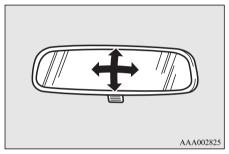
ハンドルを手で支えてレバーを押し下げ，ハンドルを上下に動かして調整します。
レバーをいっぱいまで引き上げると固定できます。
調整後はハンドルを上下に動かして固定されていることを確認してください。
固定が不十分だとハンドル位置が突然変わり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

ルームミラー

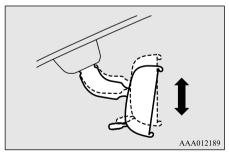
J00700300543

⚠注意

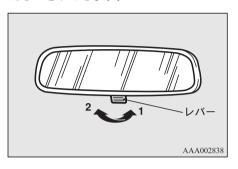
- 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

ミラーの角度調整

ミラーの本体を上下左右に動かして調整します。

ミラーの上下位置調整

ミラーの本体を上下方向に動かして調整します。

防眩切り換え

レバーを動かしてミラーの位置を切り換えることができます。

AAA002838

1- 通常はレバーを前方に押した状態で使用します。
2- 後続車のライトがまぶしいときはレバーを手前に引きます。

ドアミラー

J00700500910

ミラーの角度調整

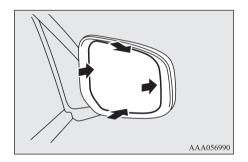
J00718200121

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。
- ドアミラーは凸面鏡を採用しています。
  凸面鏡は平面鏡に比べ，物が遠くに見え，実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

除く，電動リモコンドアミラー付き車

ミラーの部分を押して角度を調整します。

AAA056990

電動リモコンドアミラー付き車

エンジンスイッチまたは電源モードがONまたはACCの状態のときに調整できます。

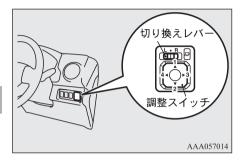
1. 切り換えレバーを調整したい側の位置に動かします。
   L:左側ミラーの調整
   R:右側ミラーの調整

5

2. 調整スイッチを押して角度を調整します。

アドバイス

- 調整が終わったら切り換えレバーは中央の位置に戻してください。

AAA057014

ドアミラーの格納・復帰

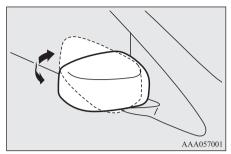
J00718300148

⚠注意

- ミラーを倒したままで運転しないでください。ミラーによる後方確認ができず思わぬ事故につながるおそれがあります。

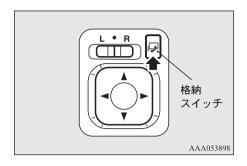
除く，電動リモコンドアミラー付き車

手でミラーを車両後方に倒して格納します。
戻すときはカチッと音がするまで車両前方へ起こします。

AAA057001

電動リモコンドアミラー付き車

◆ 格納スイッチによるミラーの格納・復帰

J00718400266

エンジンスイッチまたは電源モードがONまたはACCの状態のときに操作できます。
格納スイッチを押すとミラーが格納されます。
もう一度押すともとの位置に戻ります。
エンジンスイッチをLOCKの状態にした後，または電源モードをOFFの状態にした後でも，約30秒間はミラーを格納・復帰することができます。

⚠ 注意

- ミラーは手で格納することも復帰することもできますが，格納スイッチの操作で格納したミラーは手で戻さず，再度格納スイッチを押してミラーを元の位置に戻してください。
  格納スイッチで格納したミラーを手で戻すとミラーの固定が不完全になり，走行中の振動および風の影響などでミラーが動き，後方の確認ができなくなります。

アドバイス

- ミラーが動いているときは手などをはさまないように注意してください。
- 凍結などによりドアミラーが動かないときはミラー格納スイッチを何回も操作しないでください。モーターが焼き付くことがあります。

◆ 格納スイッチの操作以外によるミラーの格納・復帰

J00718400253

除く，キーレスオペレーションシステム付き車

キーレスエントリーのリモコンスイッチですべてのドアおよびテールゲートを施錠・解錠するとミラーが自動格納・自動復帰します。
→「キーレスエントリー」P. 2-4

キーレスオペレーションシステム付き車

キーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチまたはキーレスオペレーション機能を使ってすべてのドアおよびテールゲートを施錠・解錠するとミラーが自動格納・自動復帰します。
→「キーレスエントリー」P. 2-4

アドバイス

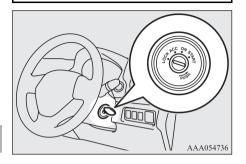
- つぎの機能を変更することができます。
  - 運転席ドアを閉め，エンジンスイッチまたは電源モードをONまたはACCにすると自動復帰する。
    また，エンジンスイッチをLOCKにした後，または電源モードをOFFにした後，運転席ドアを開くと自動格納する。
  - 走行スピードが30 km/hになると自動復帰する。
  - 格納スイッチ以外での操作をできなくする。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

エンジンスイッチ

J00700800942

除く，キーレスオペレーションシステム付き車

AAA054736

各位置の働き

LOCK	ハンドルがロックされる位置 キーが抜き差しできます
ACC	エンジンを止めたままでもオーディオ，アクセサリーソケットなどが使用できる位置
ON	すべての電気系統が働きます
START	エンジンを始動する位置 エンジンがかかったら，キーから手を離してください。自動的にONの位置へ戻ります

アドバイス

- エンジンを止めたままオーディオなどの電気製品を長時間使用すると，バッテリー上がりを起こし，エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。

アドバイス

- エンジンが回転しているときは，エンジンスイッチをSTARTの位置にしないでください。スターチングモーターが破損することがあります。
- エンジンスイッチがLOCKからACCの位置にできないときはハンドルを軽く左右に動かしながらエンジンスイッチをACCの位置にしてください。

キーを抜くときは

J00706200544

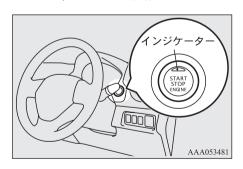
ACCの位置でキーを押しながらLOCKの位置にして抜きます。

セレクターレバーがⓅでないとキーを抜くことはできません。

キーレスオペレーションシステム付き車

車両盗難防止のため，あらかじめ登録されたキーレスオペレーションキー以外ではエンジンがかかりません。（エンジンイモビライザー機能）

キーレスオペレーションキーを携帯しているとき, エンジンの始動ができます。

AAA053481

⚠警告

- エンジンスイッチ上のインジケーターが橙色に点滅したときは，絶対に走行しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
  ただちに三菱自動車販売会社へご連絡ください。

⚠注意

- エンジンスイッチに引っかかりがあるときは，エンジンスイッチの操作をせず，ただちに三菱自動車販売会社へご連絡ください。

アドバイス

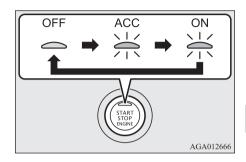
- エンジンスイッチは奥まで確実に押してください。押し方が不十分な場合は，電源モードの切り換えやエンジンの始動ができない場合があります。確実に操作すれば，エンジンスイッチを押し続ける必要はありません。

エンジンスイッチの電源モードと働き

OFF	スイッチ上のインジケーターは消灯します セレクターレバーがⓅ以外のときはOFFになりません
ACC	エンジンを止めたままでもオーディオ, アクセサリーソケットなどが使用できるモード スイッチ上のインジケーターが橙色に点灯します
ON	すべての電気系統が働くモード スイッチ上のインジケーターが緑色に点灯します エンジン回転中は消灯します

電源モードの切り換え方

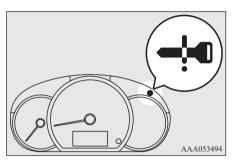
ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチを押すと, 電源モードが「OFF」→「ACC」→「ON」→「OFF」の順に切り換わります。

アドバイス

- エンジンを止めたままオーディオなどの電気製品を使用したり，電源モードを長時間 ACC または ON のままにしておくと，バッテリー上がりを起こし，エンジンの始動やハンドルロックの作動および解除ができなくなります。
- バッテリーを外しても電源モードの状態は記憶されます。バッテリーを再接続したときは，電源が絶たれる前の電源モードの状態に戻ります。修理などでバッテリーを外すときは，必ず電源モードをOFFにしてから行ってください。

  バッテリー上がりのときに，バッテリーが上がる前の電源モードの状態がわからない場合は十分注意をしてください。
- キーレスオペレーションキーが車室内にないと電源モードをOFFからACC，またはONに切り換えることはできません。

  →「エンジンを始動する，電源モードを切り換えるときの作動範囲」P. 2-10

◆ 電源モードOFF切り換え忘れ防止機構

AAA053494

電源モードがOFF以外のとき，すべてのドアおよびテールゲートを閉め，ドアスイッチおよびテールゲートのLOCKスイッチを押して施錠しようとすると，警告表示と約3秒間のブザーで警告し，ドアおよびテールゲートの施錠ができません。

◆ 電源モードOFF戻し忘れ防止機構

エンジンが止まっている，かつ電源モードがOFF以外のとき，運転席ドアを開くと警告ブザーが断続的に鳴り，電源モードがOFFに切り換えられていないことを知らせます。

ハンドルロック

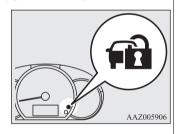
エンジンスイッチを押して電源モードをOFFにした後，運転席ドアを開くとハンドルが固定されます。
解除するときはエンジンスイッチを押します。

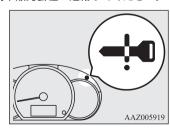
⚠警告

- 走行中にエンストしたときは，車が安全な場所に停車するまでドアを開いたりしないでください。ハンドルロックが作動する可能性があるため，重大な事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 電源モードがOFFのときにつぎの操作を行うとハンドルが固定されます。
  - 運転席ドアを開くまたは閉じる
  - すべてのドアを閉じる
  - すべてのドアが閉じているときにいずれかのドアを開く
  - キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能の操作でドアを施錠する
- ハンドルロックが施錠されていないときに運転席のドアを開いていると，ブザーが鳴ります。
- ハンドルロックが解除されないときは，警告灯が点滅し，ブザーが鳴ります。ハンドルを左右に動かしながら再度エンジンスイッチを押してください。
- ハンドルロックが異常で，施錠ができないときは警告灯が点灯します。電源モードをONからOFFにして，ハンドルロックを再度施錠してください。警告灯が再び点灯するならば三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

AAZ005906

- ハンドルロックシステム内に障害があるときは警告灯が点灯しブザーが鳴ります。直ちに，車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へ連絡してください。

AAZ005919

エンジンのかけ方

J00700901559

⚠警告

- 車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。排気ガスが車内に侵入して，一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
- 排気音が変わったり，車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は排気系や燃料系の異常が考えられますので，必ず三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠注意

- 窓越しなど車外からエンジンをかけないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジン回転中にエンジン警告灯が点灯または点滅したときは，高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
→「エンジン警告灯」P. 4-12

アドバイス

- 除く，キーレスオペレーションシステム付き車は，バッテリー上がりやスターチングモーターの故障を防ぐため，STARTにして10秒以上スターチングモーターを回さないでください。10秒以上たってもエンジンがかからなかったときは，一旦キーをLOCKに戻し，2～3秒待ってから再度エンジンをかけてください。エンジンやスターチングモーターが止まらないうちに始動の操作をくり返すと関連部品の故障の原因となります。
- エンジンが冷えているときや，再始動直後はエンジン保護のため高回転させたり，高速運転は避けてください。
- エンジンルームから，エンジン始動直後に特有の音が聞こえることがあります。エンジンが暖まれば音は止まります。

除く，キーレスオペレーションシステム付き車

1. 正しい運転姿勢をとります。
   ブレーキペダルが確実に踏め，ハンドル操作が楽にできるように，シート位置を調整します。
   →「フロントシート」P. 3-2
2. 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
3. セレクターレバーがⓅにあることを確認します。

アドバイス

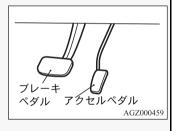
- セレクターレバーがⓅまたはⓃ以外ではエンジンがかかりません。
  安全のため車輪が固定できるⓅでエンジンをかけてください。

4. ブレーキペダルを右足で踏みます。
5. エンジンスイッチにキーを差し込み，START に回してエンジンをかけます。

アドバイス

- AS&G 車はバッテリーの交換直後などはバッテリー状態を把握のため，エンジン始動に若干の遅れを生じる場合があります。

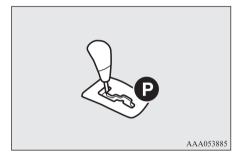
⚠警告

- **アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。**
  アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- エンジンがかからないときはつぎの手順にしたがってください。
  - ブレーキペダルを踏んだまま，アクセルペダルを半分程度踏みながらエンジンをかけてください。
  - エンジンがかかったらアクセルペダルをすみやかに戻してください。

キーレスオペレーションシステム付き車

エンジンのかけ方

1. 正しい運転姿勢をとります。
   ブレーキペダルが確実に踏め，ハンドル操作が楽にできるように，シート位置を調整します。
   →「フロントシート」P. 3-2
2. 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
3. セレクターレバーがⓅにあることを確認します。

アドバイス

- セレクターレバーがⓅまたはⓃ以外ではエンジンがかかりません。
  安全のため車輪が固定できるⓅでエンジンをかけてください。

4. ブレーキペダルを右足で踏み，エンジンスイッチを押してエンジンをかけます。

アドバイス

- AS&G 車はバッテリーの交換直後などはバッテリー状態を把握のため，エンジン始動に若干の遅れを生じる場合があります。

⚠警告

- **アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。**

アドバイス

- どの電源モードのときでもエンジンが始動できます。
- エンジンの始動操作をしてすぐにエンジンスイッチから手を離すと，エンジン始動のために最大で約15秒間スターチングモーターが回り続けます。
  スターチングモーターが回転中に再度エンジンスイッチを押すと，スターチングモーターが止まります。
  エンジンスイッチを押したままでも，最大で約30秒間スターチングモーターが回り続けます。
  エンジンがかからないときは，しばらくしてから再度エンジンの始動操作を行ってください。エンジンやスターチングモーターが止まらないうちに始動の操作を繰り返すと関連部品の故障の原因となります。
- エンジンが冷えているときや，再始動直後はエンジン保護のため高回転させたり，高速運転は避けてください。
- エンジンルームから，エンジン始動直後に特有の音が聞こえることがあります。エンジンが暖まれば音は止まります。

アドバイス

- エンジンがかからないときはつぎの手順にしたがってください。
  - ブレーキペダルを踏んだまま，アクセルペダルを半分程度踏みながらエンジンをかけてください。
  - エンジンがかかったらアクセルペダルをすみやかに戻してください。

エンジンの止め方

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけます。
3. セレクターレバーをⓅに入れてから，エンジンスイッチを押してエンジンを止めます。

⚠警告

- **緊急を要する場合以外は走行中にエンジンを止めないでください。ブレーキの効きが悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。**

アドバイス

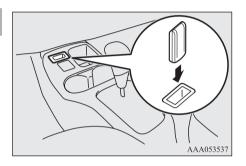
- 緊急時以外は走行中にエンジンスイッチを操作しないでください。万一，走行中にエンジンを緊急停止したい場合は，エンジンスイッチを3秒以上押し続けるか，素早く3回以上押してください。エンジンが止まり，電源モードが ACC になります。
- セレクターレバーがⓅ以外でエンジンを止めないでください。セレクターレバーがⓅ以外でエンジンを止めると，電源モードはACCに切り換わり，OFFになりません。セレクターレバーをⓅに入れてから電源モードをOFFにしてください。

5

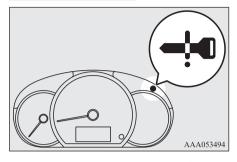
キーレスオペレーションキーが正常に作動しないとき（電池切れなど）または，スペアキーを使用してエンジンを始動するときは

キーボックスにキーレスオペレーションキーまたはスペアキーを差し込みます。

エンジンの始動，電源モードの切り換えが可能になります。

エンジンの始動後または電源モードの切り換え後は，キーボックスからキーレスオペレーションキーまたはスペアキーを抜いてください。

アドバイス

- キーに接している金属や他のキーを取り除いてからキーボックスにキーレスオペレーションキーまたはスペアキーを差し込んでください。車がキーからの信号を受信できずエンジンの始動や電源モードの切り換えができないことがあります。
- キーボックスにキーレスオペレーションキーまたはスペアキー以外のものを入れないでください。破損したり，正常に作動しなくなるおそれがあります。

キー抜き忘れ監視機構

電源モードがOFFのとき，キーボックスにキーレスオペレーションキーまたはスペアキーを差したまま運転席ドアを開くと，警告表示と約 3 秒間のブザーで警告し，キーの抜き忘れを知らせます。

オートストップ＆ゴー (AS&G)

タイプ別装備

J00723000055

オートストップ＆ゴー (AS&G) は，信号待ちや渋滞などで停車する際に，エンジンスイッチを使用することなく自動的にエンジンを停止および再始動して，排気ガスの排出を削減するとともに燃費効率を向上させます。（アイドリングストップ機能）

⚠注意

- 車を長時間停車させたり，車から離れるときは，エンジンスイッチを LOCK または電源モードを OFF にしてエンジンを停止させてください。

アドバイス

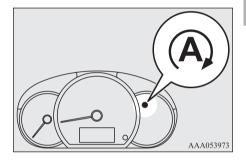
- オートストップ＆ゴー (AS&G) でエンジンを止めた時間はメーター内のインフォメーション画面に表示します。
→「AS&Gモニター」P. 4-6

AS&Gを起動するには

J00723100043

AS&G は，エンジンスイッチまたは電源モードを ON にすると自動的に起動します。

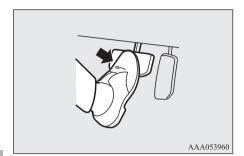
AS&G を 非 作 動 に す る に は AS&G OFF スイッチを押します。詳しくは「AS&Gを非作動にするには」をお読みください。→P. 5-25

AS&G が作動可能な状態であるときは表示灯が点灯して運転者に知らせます。

◆ エンジンを自動で停止させるには

J00723200073

1. 走行中にブレーキペダルを踏み込んで，停車させます。

2. 完全に停車し，ブレーキペダルがしっかり踏み込まれていると，エンジンが自動的に停止します。

AAA053960

アドバイス

● エンジンが自動的に停止すると，運転操作に変化が起きます。つぎの点に十分注意してください。
- パワーアシストが作動しなくなり，ハンドルが重くなります。

⚠注意

● エンジンが停止した場合，必ずつぎの注意事項を守ってください。エンジンが自動的に再始動した際に，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転席を離れたり，エンジンフードを開けたりしないでください。運転者がシートベルトを外し，ドアを開けて運転席を離れたり，エンジンフードが開いていると，表示灯が点滅して運転者に知らせます。この状態になると，ドアを閉めてシートベルトを着用したり，エンジンフードを閉めても，エンジンは自動的に再始動しません。
  ブレーキペダルを踏み込みながら，セレクターレバーをⓅに入れ，エンジンスイッチを START に回して，またはエンジンスイッチを押してエンジンを始動します。詳しくは「エンジンのかけ方」をお読みください。
  →P. 5-17

アドバイス

● つぎのようなときは，表示灯は点灯せず，エンジンは自動的に停止しません。
- 運転者がシートベルトを着用していないとき
- 運転席のドアが開いているとき
- エンジンフードが開いているとき
- エンジンが自動的に再始動してから，速度が5km/h以上になっていないとき
- ハンドル操作をしているとき
- 駐車ブレーキをかけているとき
- エンジンスイッチでエンジンをかけてから，30秒未満のとき
- エンジンが自動的に再始動してから10 秒以内に再停車したとき
- セレクターレバーがⒹ以外のとき
- エンジン冷却水の温度が低いとき
- 車外の気温が3°C以下のとき
- バッテリー性能が劣化などの理由により低下しているときや，バッテリー上がりなどにより充電した直後に走行したとき
- 車両の消費電流が大きいとき
- エンジン警告灯が点灯しているとき
- AS&G OFF表示灯が点滅しているとき
- メーター内のセレクターレバー位置表示灯が点滅しているとき
- ASC作動表示灯が点灯しているとき
- ABS警告灯が点灯しているとき
- 車内の温度が高いときに，エアコンを使用しているとき
- エアコンの吹き出し口切り換えダイヤルが （曇り取り）の位置にあるとき
  詳しくは「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」をお読みください。
  →P. 7-14
- 温度調整ダイヤルを最高温度または最低温度に設定して，エアコンをAUTO作動させているとき（オートエアコン付き車）
- リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）や電装品が作動している場合や，エアコンの風量調整ダイヤルが風量強に設定されている場合など，消費電力が大きいとき

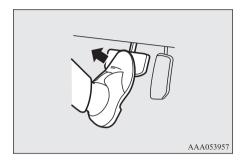
アドバイス

- ただし，AS&G表示灯が点灯していても，つぎのようなときはエンジンが自動的に停止しない場合があります。
  - アクセルペダルを踏んでいるとき
  - ブレーキペダルを踏む力が弱いとき
  - ブレーキペダルを繰り返し踏み込んだり，通常より強めに踏み込んだりして，ブレーキの負圧が低いとき
  - 勾配が急な場所で停車したとき
- エアコン作動中に AS&G が作動した場合，エンジンとエアコンコンプレッサの両方が停止し，送風のみとなります。
- 曇り取り機能と AS&G を同時に使用する場合，吹き出し口切り換えダイヤルを にすることをおすすめします。詳しくは「吹き出し口切換えスイッチ」をお読みください→P. 7-13
- 車外の温度が高いときにエアコンが作動しているときは，温度調整ダイヤルを高めに設定すると，エンジンの自動停止時間が延長されます。

◆ エンジンを自動で再始動させるには

J00723300061

ブレーキペダルから足を離すと，エンジンが自動的に再始動します。

AAA053957

アドバイス

- エンジンを自動で再始動させたときに，ブレーキをかけた状態を一時的に保持して，クリープ現象などによる車両の不意な飛び出しを防ぐ機能が装備されています。セレクターレバーをⓃにすると，機能は解除されます。
  機能作動中に，車体下から作動音がしたり，ブレーキペダルにショックを感じることがありますが，これは機能が正常に作動していることを示すもので，異常ではありません。
- エンジンが自動的に再始動しない場合やエンストした場合，充電警告灯およびエンジン警告灯が点灯します。また再始動を失敗した場合，オートストップ＆ゴー(AS&G)OFF 表示灯が点滅および警告ブザーが鳴り，運転者へ知らせます。この状態になると，ブレーキペダルから足を離してもエンジンは自動で再始動しません。
  ブレーキペダルを踏み込みながら，セレクターレバーをⓅに入れ，エンジンスイッチをSTARTに回して，またはエンジンスイッチを押してエンジンを手動で始動してください。詳しくは「エンジンのかけ方」をお読みください。
  →P. 5-17

⚠注意

- つぎのようなときは，ブレーキペダルから足を離さなくてもエンジンが自動的に再始動します。エンジンの再始動時に思わぬ事故につながるおそれがありますので，十分ご注意ください。
  - エンジンが自動停止してから約3分経過したとき
  - 坂道を惰性で下るなど，車両が動き出したとき
  - ブレーキペダルを繰り返し踏み込んだり，通常より強めに踏み込んだりして，ブレーキの負圧が低いとき
  - エンジン冷却水の温度が低いとき
  - セレクターレバーをⓇに入れたとき
  - エアコンスイッチを押して，エアコンを作動させたとき
  - 温度調整ダイヤルを使用して，エアコンの設定温度を大きく変更したとき
  - エアコンの吹き出し口切り換えダイヤルが（曇り取り）の位置にあるとき
    詳しくは「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」をお読みください。→P. 7-14
  - 温度調整ダイヤルを最高温度または最低温度に設定して，エアコンをAUTO作動させているとき（オートエアコン付き車）
  - エアコンが作動しているときに，車内の温度が上昇して，エアコンのコンプレッサーが作動したとき
  - リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）や電装品が作動している場合や，エアコンの風量調整ダイヤルが風量強に設定されている場合など，消費電力が大きいとき
  - バッテリーの充電量が低下したとき
  - ハンドル操作をしたとき

アドバイス

- エンジンが自動停止しているときにブレーキペダルを強く踏み込み，セレクターレバーをすばやくⒹからⓅへ操作すると，表示灯が点滅して，ブレーキペダルから足を離してもエンジン停止状態を保持することができます。
  この状態から，エンジンを自動で再始動させるときは，もう一度ブレーキペダルを踏み込みます。
- つぎのようなときは，AS&Gを使ってエンジンを停止させていても，エンジンは自動で再始動しません。再始動する場合は，ブレーキペダルを踏み込みながら，セレクターレバーをⓅに入れ，エンジンスイッチをSTARTに回して，またはエンジンスイッチを押してエンジンを手動で始動してください。詳しくは「エンジンのかけ方」をお読みください。
  →P. 5-17
  - 運転者がシートベルトを外してドアを開け，運転席を離れたとき
  - 自動停止中にエンジンフードが開いたとき
- エンジンが自動的に再始動するとき，一時的にオーディオの音量が下がることがありますが，故障ではありません。
- エンジンが自動で停止している間，一時的にエアコンの風量が変化することがありますが，故障ではありません。

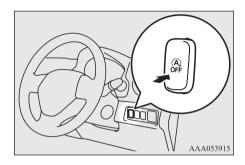
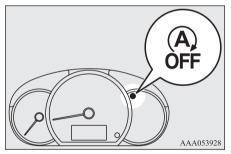
5

AS&Gを非作動にするには

J00723400059

AS&Gが起動しているときにAS&G OFFスイッチを押すと，表示灯が点灯してAS&Gが非作動状態になります。
もう一度 AS&G OFFスイッチを押すと，表示灯が消灯して，AS&Gが再度起動します。

AAA053915

AAA053928

アドバイス

- この表示灯は，エンジンスイッチをONにした時も，数秒間点灯します。
- AS&Gを使ってエンジンを自動停止させているときは，AS&G OFFスイッチを押しても，AS&Gを非作動にすることはできません。

走行中にAS&G OFF表示灯が点滅したときは

J00723500047

走行中に表示灯が点滅したときは，AS&Gに異常があるため，AS&Gが正常に作動しません。
表示灯が点滅したまま消えないときや，たびたび点滅するときは，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

CVT

J00701400381

INVECS-III CVT

INVECS: Intelligent ＆ Innovative Vehicle Electronic Control System

CVT: Continuously Variable Transmission

INVECS-III CVTは，路面や走行状況に応じて，常に適切な変速比を無段階に自動選択し，低燃費で変速ショックのないスムーズな走行を実現します。

◆ 上り坂では

アクセルペダルを戻しても不必要なシフトアップを防止し，スムーズな走りを実現します。

◆ 下り坂では

状況に応じて変速比を変更して，運転者がブレーキペダルを踏む回数を低減します。

⚠注意

- エンジンブレーキの効きが弱いと感じたときは，必要に応じてブレーキペダルを踏んだり，シフトダウンしてください。
  なお，滑りやすい路面ではシフトダウンするとタイヤがスリップするおそれがありますので，常に道路状況に合った安全な運転を心がけてください。

セレクターレバーの位置・働き

J00701700368

	(パーキング) 駐車およびエンジンをかけるとき	車輪が固定されます。駐車のときは必ず駐車ブレーキをかけてⓅにしてください。
	(リバース) 後退させるとき	Ⓡにするとブザーが鳴り，Ⓡにあることを運転者に知らせます。

⚠注意

● ブザーは車外の人には聞こえません。

	(ニュートラル) 動力が伝達されません	この位置でもエンジンをかけることができますが安全のためⓅで行ってください。
	(ドライブ) 通常走行	発進から高速走行まで無段階に自動変速されます。
	(ダウンシフト＆ドライブスポーティ) 坂道走行	軽いエンジンブレーキが必要なとき，力強いスポーティ走行を行うときに使います。

アドバイス

● 高速道路の長い下り坂，山道や登降坂路などの走行に有効です。

	(ロー) 急な下り坂走行	強力なエンジンブレーキが必要なときに使います。

⚠警告

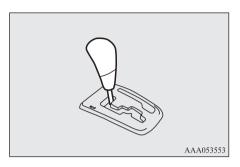
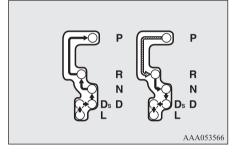
● ぬれた道路や凍結した道路では急激なエンジンブレーキは避けてください。スリップして重大な事故につながるおそれがあります。

5

セレクターレバーの動かし方

J00701500584

AAA053553

AAA053566

- ブレーキペダルを踏んだまま，セレクターレバーをゲートに沿って操作します。
- セレクターレバーをゲートに沿って操作します。

⚠警告

- セレクターレバーをN→DまたはN→Rに操作するときは，安全のため必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- レバーの操作は誤操作防止のため，各位置ごとにいったん止めて確実に行ってください。操作後は必ずメーター内の表示でポジションを確認してください。

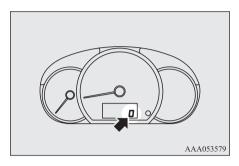
アドバイス

- ブレーキペダルを踏んでいないと，シフトロック装置が働いてPから他の位置に操作できません。また，エンジンスイッチまたは電源モードがつぎの状態のときはブレーキペダルを踏んでもPから他の位置に操作できません。
  [除く，キーレスオペレーションシステム付き車]
  エンジンスイッチがLOCKまたはACCの状態。
  [キーレスオペレーションシステム付き車]
  電源モードがOFFまたはACCの状態。
- の操作はブレーキペダルを先に踏んでから行ってください。ブレーキペダルを踏む前に操作すると，セレクターレバーが動かなくなることがあります。
- DからR，RからDおよびPに入れるときはブレーキペダルをしっかりと踏み，完全に車を止めてから入れてください。車が動いているうちにPやRに入れるとトランスミッションの故障の原因になります。

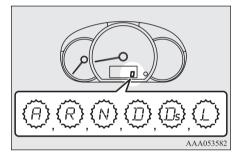
セレクターレバー位置表示灯

J00701600572

セレクターレバーの位置をメーター内に表示します。

AAA053579

警告表示

J00712200259

AAA053582

走行中にメーター内のセレクターレバー位置表示灯が点滅したときは，つぎの方法で処置してください。

アドバイス

- “A” が点滅するときは CVT ポジションスイッチが故障しています。それは，通常では表示しません。

◆ 表示灯が早く点滅（1 秒間に約 1回）しているとき

オートマチックトランスミッション(CVT)オイルの温度が高くなっています。
高くなったオートマチックトランスミッション (CVT) オイルの温度を下げるためにエンジン制御が働き，エンジン回転数と車速が下がることがあります。
車を安全な場所に止めてセレクターレバーをⓅに入れ，エンジンをかけたままエンジンフードを開けて冷やします。
しばらくしたらセレクターレバーをⓅ以外に入れて表示灯が点滅しないことを確認します。
表示灯が点滅しなければもとのように走行できます。
表示灯が点滅したままのときや，たびたび警告表示するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

◆ 表示灯がゆっくりと点滅（2 秒間に約1回）しているとき

トランスミッションに何らかの異常が発生し，安全装置が働いていると考えられます。できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

◆ セレクターレバーをⓅから操作できないときは

万一，エンジンスイッチまたは電源モードが ON でブレーキペダルを踏んだ状態でも，Ⓟから他の位置に操作できないときは，バッテリー上がりやシフトロック装置の故障が考えられます。ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
また，お車を移動させる必要がある場合はつぎの手順でセレクターレバーを操作してください。

1. 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
2. エンジンをかけている場合は，エンジンを切ります。
3. ブレーキペダルを右足で踏みます。
4. シフトロック解除穴にマイナスドライバーなどを差込，押下げながらセレクターレバーをⓃに入れます。

CVT 車の運転のしかた

J00702901289

⚠注意

- 車を少し移動させるときでも，正しい運転姿勢をとり，ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
- 少しだけ後退したときなどは，セレクターレバーがⓇに入っていることを忘れてしまうことがあります。
  後退した後は，すぐにⓇからⓅまたはⓃに戻す習慣をつけましょう。
- 車を後退させるときは，身体を後ろにひねった姿勢になり，ペダルの操作がしにくくなります。
  ブレーキペダルが確実に踏めるように注意してください。
- 切り返しなどでⒹからⓇ，ⓇからⒹと何度もレバーを操作するときは，そのつどブレーキペダルをしっかりと踏み，車を完全に止めてから行ってください。
  車が動いているうちにⓅやⓇに入れると，トランスミッションの故障の原因になります。

発 進

1. ブレーキペダルを右足で踏みます。

⚠警告

● ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。

AAZ002224

⚠注意

● セレクターレバーをⓅ，Ⓝ以外の位置（前進または後退の位置）に入れるとクリープ現象により，ブレーキペダルから足を離すとアクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。
特にエアコン作動中などエンジン回転数が高くなるとクリープ現象が強くなりますので，よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

クリープ現象とは…

● セレクターレバーをⓅ，Ⓝ以外に入れると動力がつながった状態となり，アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出すオートマチック車（CVT車）特有の現象。

2. セレクターレバーを前進はⒹ，後退はⓇに入れます。

⚠警告

● セレクターレバーの操作は必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

3. セレクターレバーの位置を確認します。

AGA004348

4. 周囲の安全を確認し，駐車ブレーキを解除します。
5. ブレーキペダルを徐々にゆるめ，アクセルペダルをゆっくりと踏み込んで発進します。

◆ 急な上り坂での発進

1. 車が動き出さないよう駐車ブレーキをかけたまま，ブレーキペダルから足を離します。
2. アクセルペダルをゆっくり踏みながら，車が動き出す感触を確認してから，駐車ブレーキを解除して発進します。

走 行

⚠警告

- 走行中はセレクターレバーをⓃに入れないでください。誤ってⓅ，Ⓡに入れてしまったり，エンジンブレーキが効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

⚠注意

- セレクターレバーは走行状況に合った正しい位置で使用してください。
  坂道などで，前進の位置（Ⓓ，Ds，Ⓛ）にしたまま惰性で後退したり，後退の位置Ⓡにしたまま惰性で前進しないでください。
  エンストしてブレーキの効きが非常に悪くなったり，ハンドルが非常に重くなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

◆ 通常走行

セレクターレバーをⒹで走行します。
発進するとスピードに応じて自動的に変速されます。

◆ 急加速したいとき

アクセルペダルを深く踏み込みます。
自動的に変速比が切り換わって急加速ができます。これをキックダウンといいます。

停 車

1. セレクターレバーはⒹのままブレーキペダルをしっかりと踏みます。

⚠注意

- エアコン作動時などは，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかり踏んでください。

2. 必要に応じて駐車ブレーキをかけます。

⚠注意

- 急な上り坂ではクリープ現象が働いても，車が後退することがあります。停止時はブレーキペダルを踏み，しっかりと駐車ブレーキをかけてください。
- 上り坂でブレーキペダルを踏まずに，アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つことはしないでください。トランスミッションの故障の原因になります。

3. 渋滞などで停車時間が長くなりそうなときはセレクターレバーをⓃに入れます。

⚠注意

- 停車中はむやみに空ぶかしをしないでください。万一，セレクターレバーがⓅ，Ⓝ以外に入っていると思わぬ急発進の原因になります。

4. 再発進するときは，セレクターレバーがⒹ位置にあることを確認してから発進してください。

駐 車

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけます。
3. セレクターレバーをⓅに入れます。

⚠注意

- Ⓟでは車輪が固定されるため，車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には必ずセレクターレバーがⓅに入っていることを確認してください。
- 車が完全に止まらないうちにⓅに入れると，急停止してけがをするおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

アドバイス

- 坂道では，まず駐車ブレーキをかけてからつぎにセレクターレバーをⓅに入れてください。駐車ブレーキをかけずにⓅに入れると発進時にセレクターレバーの操作力が重くなる場合があります。

4. エンジンを止めます。

⚠注意

- 車から離れるときは必ずエンジンを止めてください。
  エンジンをかけたままにしておくと，万一，セレクターレバーがⓅ以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。

緊急制動信号システム

J00721300083

急ブレーキ時に，非常点滅灯を自動的に速く点滅させることで後続車に注意をうながし，追突の可能性を低減させる装置です。
緊急制動信号システムが作動すると，メーター内の非常点滅表示灯も同時に速く点滅します。

⚠注意

- ABS警告またはASC警告が表示されているときは，緊急制動信号システムが作動しないことがあります。
  →「ABS警告」P. 5-37
  →「ASC警告表示」P. 5-41

アドバイス

- [緊急制動信号システムの作動条件]
  つぎの条件がそろったときに作動します。
  - 車速が約55km/h以上のとき
  - ブレーキペダルが踏み込まれ，車両の減速度やアンチロックブレーキシステム(ABS)の作動状況から，システムが急ブレーキだと判断したとき

  [緊急制動信号システムの作動停止条件]
  つぎのいずれかの条件で作動を停止します。
  - ブレーキペダルから足を離したとき
  - 非常点滅灯スイッチを押したとき
  - 車両減速度やABSの作動状況から，システムが急ブレーキではないと判断したとき

5

ヒルスタートアシスト

タイプ別装備

J00721800075

ヒルスタートアシストは，急な上り坂で発進するときに起こる車両の後退を防止し，発進を容易にする装置です。ブレーキペダルからアクセルペダルに踏み換えるとき, ブレーキをかけた状態を約2秒間保持します。

⚠注意

- ヒルスタートアシストを過信しないでください。
  極端に急な上り坂, 凍結した上り坂, ぬかるんだ上り坂など路面の状態によっては車両が後退することがあります。
  また，停止するときにブレーキペダルの踏み方が不十分であったり，乗員の人数，荷物の重さなどによってヒルスタートアシストが作動しないことがあります。
- ヒルスタートアシストは 2 秒以上車両の後退を防止することはできません。
- 上り坂でブレーキペダルを踏み込まずに，ヒルスタートアシストを使って停止状態を保つことはしないでください。
  思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ヒルスタートアシストが作動中に，エンジンスイッチまたは電源モードをONまたはACCにしないでください。
  ヒルスタートアシストが作動を停止し，思わぬ事故につながるおそれがあります。

5

使い方

J00721900164

1. ブレーキペダルを踏んで車両を完全に停止させます。
2. ブレーキペダルから足を離します。
   ヒルスタートアシストがブレーキ力を保持し，車両の後退を約2秒間防止します。
3. アクセルペダルを踏み込みます。
   ヒルスタートアシストは，車両の発進に合わせて，徐々にブレーキ力をゆるめます。

アドバイス

- ヒルスタートアシストは，つぎの条件がそろったときに作動します。
  - エンジンがかかっている。
  - セレクターレバーがⓅまたはⓃ以外の位置に入れてある。
  - ブレーキペダルを踏んで，車両を完全に停止している。
  - 駐車ブレーキを解除している。
- ヒルスタートアシストは，ブレーキペダルから足を離す前にアクセルペダル踏み込むと作動しません。
- ヒルスタートアシストは，坂道を後ろ向きに登るときにも作動します。
- ヒルスタートアシスト作動中に車体下から作動音がすることがあります。これはヒルスタートアシストが正常に作動していることを示すもので異常ではありません。

警告表示

J00722000188

システムに異常があると表示灯が点灯します。

除くASC装着車

ASC装着車

このような場合は，つぎの方法で処置してください。

1. 安全な場所に車を止め，エンジンを停止します。
2. 再度エンジンをかけ，表示灯が消えるか確認します。

表示が消えれば異常ありません。消えないときや，たびたび表示するときは，通常走行には支障はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠注意

- 警告が表示されるとヒルスタートアシスト が作動を停止します。慎重に発進してください。

ブレーキアシスト

タイプ別装備

J00722200089

ブレーキアシストは，緊急制動時などにブレーキペダルを強く踏み込めない運転者を補助し，より大きな制動力を確保する装置です。ブレーキペダルを素早く踏み込んだときにブレーキが強くかかるようになります。

⚠注意

- ブレーキアシストはブレーキ性能以上の制動力を発揮させる装置ではありません。ブレーキアシストを過信せず，十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。

アドバイス

- いったんブレーキアシストが作動すると，ブレーキペダルをゆるめても大きな制動力を保持します。
  ブレーキアシストの作動を停止させたいときは，ブレーキから完全に足を離してください。
- 走行中にブレーキアシストが作動すると，ブレーキペダルが軽く感じられることがあります。また作動音とともにペダルが小刻みに動いたり，車体やハンドルに振動を感じることがあります。これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- ABS 警告灯が点灯しているときは，ブレーキアシストは作動しません。

アンチロックブレーキシステム（ABS）

J00703000769

アンチロックブレーキシステム（ABS）とは，急ブレーキや滑りやすい道路でブレーキを踏んだときに車輪のロックを防止し，制動力を維持し，かつ安定した車体姿勢とハンドル操舵性を保つ装置です。

⚠注意

- ABS は制動時の車体安定性を確保するためのもので必ずしも制動距離が短くなるとはかぎりません。ABS を過信せず，十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。
- 雪道を走行した後は足回りに付いた雪や泥を取り除いてください。足回りを清掃するときはホイール付近に付いている車速感知装置や配線などを傷付けないよう十分注意してください。
- 4輪とも同一サイズ，同一種類の指定タイヤを装着してください。
サイズや，種類の異なるタイヤを混用すると，ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル（LSD）を装着しないでください。ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

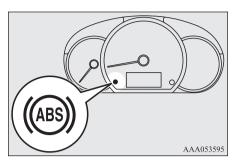
- つぎのような場合は，ABS の付いていない車に比べて制動距離が長くなることがありますので，速度はひかえめにし，車間距離を十分とって運転してください。
  - 砂利道や深い新雪路を走行するとき
  - タイヤチェーンを装着しているとき
  - 道路の継ぎ目や段差を乗り越えるとき
  - 凸凹道などの悪路を走行するとき
- マンホール，工事用の鉄板，白線の上，段差を乗り越えるときなど，車輪が滑りやすい状況では，車輪のロックを防止するため急制動以外でもABSが作動することがあります。

アドバイス

- ABSが作動すると車体，ハンドル，ブレーキペダルに振動を感じたり，作動音が聞こえます。
また，ブレーキペダルを踏み込んだときに固く感じることがあります。
これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- つぎのような場合は，エンジンルーム内より作動音がすることがあります。また，ブレーキペダルにショックを感じることがあります。これは ABS 装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
  - エンジンスイッチまたは電源モードをONにしたとき。
  - エンジンをかけてしばらく走行したとき。
- ABSは，発進後車速が約10km/hになるまで作動しません。また，車速が約 5km/hまで下がると作動を停止します。

5

ABS警告灯

J00704500934

システムに異常があると警告灯が点灯します。
正常なときはエンジンスイッチまたは電源モードをONにすると点灯し，数秒後に消灯します。

⚠注意

- 点灯したままのとき，または点灯しないときは装置の故障が考えられますので，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

走行中に警告を表示したときは

J00704600632

◆ ABS 警告のみ表示したときは

- 急ブレーキや高速走行を避け安全な場所に車を止めます。
  エンジンを停止し，再度エンジンをかけ，その後しばらく走行して警告表示しなければ異常ありません。
  しばらく走行しても警告表示したままのときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。この場合，ABSは作動せず，普通のブレーキとして作動します。
- バッテリーが電圧不足のときにエンジンをかけると，警告を表示することがありますが ABS の故障ではありません。
  このようなときは，しばらくアイドリング回転でバッテリーを充電してください。
  充電しても警告表示したままのときや，たびたび警告表示するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

◆ ABS 警告とブレーキ警告を表示したときは

ブレーキ力の配分機能が作動しないことがあるため，急ブレーキをかけたときに車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
急ブレーキや高速走行を避け，車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へ連絡してください。

5

電動パワーステアリング(EPS)

J00703100311

エンジン回転中にパワーアシストが作動し，ハンドルの操作力を軽くする装置です。
もし，パワーアシストが作動しなくなったときは，ハンドルが重くなります。この場合は，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

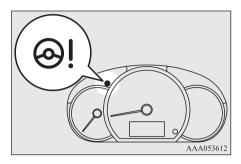
警告

- **走行中はエンジンを止めないでください。エンジンを止めると，ハンドルが非常に重くなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。**

アドバイス

- 駐車するときなどに，ハンドルをいっぱいに回す操作を繰り返すと，システムの過熱を防止するため保護機能が働きハンドル操作が徐々に重くなります。この場合，しばらくハンドル操作を控えてください。
  システムの温度が下がるとハンドルの操作力は元に戻ります。
- ヘッドライトを点灯したままで停車しているとき，ハンドル操作をするとヘッドライトが暗くなることがありますが異常ではありません。しばらくすれば元の明るさに戻ります。

電動パワーステアリング(EPS)警告灯

J00704700369

システムに異常があると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチまたは電源モードをONにすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

注意

- エンジン回転中に警告灯が点灯したときは，ハンドルが重くなることがありますので，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

アクティブスタビリティコントロール（ASC）

タイプ別装備　J00710300269

アクティブスタビリティコントロール（ASC）はトラクションコントロール機能とスタビリティーコントロール機能を持ち，アンチロックブレーキシステムと統合的に制御を行うことで，車両姿勢を安定させると共に駆動力を確保する装置です。つぎの項も合わせてお読みください。
→「アンチロックブレーキシステム（ABS）」P. 5-36
→「トラクションコントロール機能」P. 5-39
→「スタビリティコントロール機能」P. 5-39

⚠注意

- ASC が作動した状態でも車両の安定確保には限界があり，無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。ASC を過信せず，常に道路状況に合った安全運転を心がけてください。
- 4輪とも同一サイズ，同一種類の指定タイヤを装着してください。
  サイズや種類の異なるタイヤを混用すると，ASC が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル（LSD）を装着しないでください。ASC が正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

- つぎのような場合は，エンジンルーム内より作動音がすることがあります。また，ブレーキペダルにショックを感じることがあります。これは ASC 装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
  - エンジンスイッチまたは電源モードを ON にしたとき。
  - エンジンをかけてしばらく走行したとき

アドバイス

- ASC が作動すると，車体に振動を感じたり，エンジンルーム内より作動音が聞こえたりします。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。
- ABS 警告灯が点灯しているときは，ASC は作動しません。

トラクションコントロール機能

J00710400156

トラクションコントロール機能は，滑りやすい路面での駆動輪の空転を防止して発進しやすくすると共に，旋回加速時の適切な駆動力・操舵能力を向上させる機能です。

⚠注意

- 雪道や凍結路を走行するときは，冬用タイヤを装着して速度は控えめにし，車間距離を十分とって運転してください。

スタビリティコントロール機能

J00710500186

スタビリティコントロール機能は，急激なハンドル操作や滑りやすい路面のカーブに進入したときなどに生じる車両の横滑りを，各車輪のブレーキとエンジン出力を制御することにより抑制し，車両の安定性を向上させる機能です。

アドバイス

- スタビリティコントロール機能は，車速が約 15km/h 以上で作動します。

ASCのON/OFF作動切り換え

J00710800466

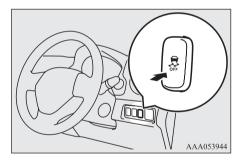
アドバイス

- ぬかるみ，砂地または新雪などからの脱出時に，アクセルペダルを踏み込んでもASCの働きによりエンジン回転が上がらないことがあります。このようなときは，ASC OFFスイッチでASCをOFFにすると抜け出しやすくなります。

エンジンスイッチまたは電源モードをONにすると自動的にASCはONになります。

ASCをOFFにしたいときはASC OFFスイッチを3秒以上押し続けます。

スイッチを押し続けると3秒後に，OFF表示灯が表示されます。もう一度押すとONになります。

AAA053944

注意

- 安全のため，ASC OFFスイッチの操作は停車しているときに行ってください。
- 通常走行時は必ずASCをONにしてください。

アドバイス

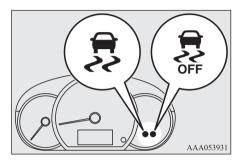
- ASC OFFスイッチではスタビリティコントロール機能とトラクションコントロール機能の両方がOFFになります。

アドバイス

- ASCをOFFにしたあともASC OFFスイッチを押し続けると，誤操作防止機能が働いてASCはONに戻ります。

ASC作動表示／ASC OFF表示

J00711600269

AAA053931

- ASC作動表示灯
  ASCが作動すると点滅します。
- OFF - ASC OFF表示灯
  ASC OFFスイッチでASCをOFFにすると点灯します。

注意

- 作動表示灯が点滅したときは路面が滑りやすい状態か，加速しすぎています。
  アクセルペダルをゆるめて控えめな運転をしてください。

アドバイス

- エンジンをかけるとOFF表示灯が点灯することがあります。これは，エンジン始動時にバッテリーの電圧が一時的に低下したためで，すぐに消灯すれば故障ではありません。
- スペアタイヤ装着時は，タイヤのグリップ力が低下するため作動表示灯が点滅しやすくなります。

ASC警告表示

J00715700242

システムに異常があると作動表示灯と，表示灯が点灯します。
このような場合は，つぎの方法で処置してください。

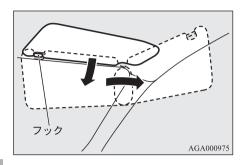
1. 安全な場所に車を止め，エンジンを停止します。
2. 再度エンジンをかけ，表示灯が消えるか確認します。

表示が消えれば異常ありません。消えないときや，たびたび表示するときは，通常走行には支障はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

室内装備

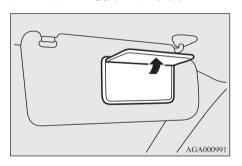
サンバイザー

J00900100295

前面だけでなく，フックから外せば側面にも回せます。

バニティーミラー

タイプ別装備

J00912700227

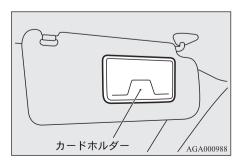
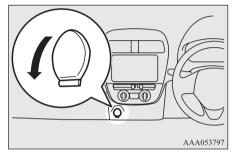
サンバイザーの裏側にあります。

カードホルダー

タイプ別装備

J00912800228

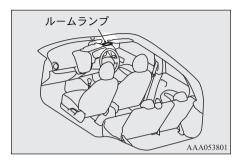
サンバイザーの裏側にあります。

アクセサリーソケット

J00900500710

エンジンスイッチまたは電源モードがONまたはACCの状態のときに使用できます。
フタを開け，プラグタイプの電気製品の電源としてご使用ください。
必ず, 12Vで消費電力が120W以下の電気製品を使用してください。

アドバイス

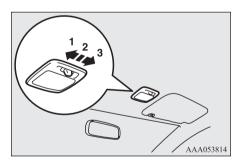
- 市販の電気製品を使用しないでください。バッテリー上がりやアクセサリーソケットが損傷する原因となります。
- アクセサリーソケットを使わないときはフタを閉めておいてください。
  プラグタイプ以外のものをソケットに入れると故障したり，ショートする可能性があります。
- エンジンがかかっていないときに長い間使用すると，バッテリーが上がることがあります。

室内灯

J00900800696

アドバイス

- エンジンがかかっていないときに長い間ランプを点灯させておくと，バッテリーが上がることがあります。
  車から離れるときは必ずランプが消えていることを確認してください。

ルームランプ

J00900901450

1- (〓)
ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく点灯します。

2- (•)
- いずれかのドアまたはテールゲートを開けると点灯，閉じると約 15 秒後に消灯します（遅延消灯）。ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。
  - エンジンスイッチまたは電源モードをONにしたとき
  - センタードアロックの機能を使って施錠したとき
  - キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチを使って施錠したとき
  - キーレスオペレーションシステム付き車は，キーレスオペレーション機能を使って施錠したとき
- エンジンスイッチが LOCK または ACC にあるとき，または，電源モードがOFFまたはACCにあるときにドアまたはテールゲートを開け点灯したままにすると，約 30 分後に自動的に消灯します。
  つぎのようなときは，再び点灯します。
  - エンジンスイッチまたは電源モードをONにしたとき。
  - キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステムの操作をしたとき。
  - すべてのドアおよびテールゲートを閉じたとき。

アドバイス

- キーを使ってエンジンをかけている場合は，ドアおよびテールゲートが閉まっているときにエンジンスイッチを LOCK にしてキーを抜くと点灯し，約15秒後に消灯します。
- キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているときは，ドアおよびテールゲートが閉まっているときに電源モードをOFFにすると点灯し，約15秒後に消灯します。
- 遅延消灯までの時間を調整することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

アドバイス

- 自動的に消灯する機能は，ルームランプのスイッチが ⊡ の位置にあるときは働きません。
  また，自動的に消灯する機能を働かなくすることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

3- (◯)
ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく消灯します

小物入れ

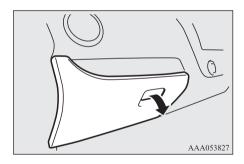
J00906700802

⚠注意

- 強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，ライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しないでください。
  ライターなどの可燃物は自然発火したり，炭酸飲料などの缶は破裂するおそれがあります。また，プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形，ひび割れをおこすおそれがあります。
- 走行中は小物入れのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合，フタや内部の小物でけがをするおそれがあります。

グローブボックス

J00907200628

レバーを引くと開きます。

カップホルダー

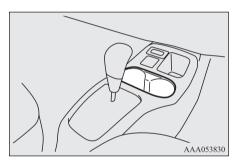
J00903800831

⚠注意

- 走行中は，飲み物を出し入れしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行中の振動や揺れなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物の場合，やけどをするおそれがありますので注意してください。

フロントシート用

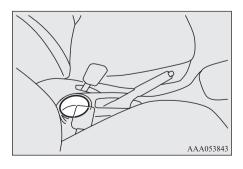
フロアコンソールにカップホルダーがあります。

AAA053830

リヤシート用

駐車ブレーキの後ろにカップホルダーがあります。

AAA053843

ボトルホルダー

J00905900302

ペットボトルなどを入れることができます。

AAA053856

⚠注意

- 走行中は，飲み物を出し入れしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行中の振動や揺れなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物の場合，やけどをするおそれがありますので注意してください。

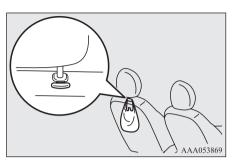
アドバイス

- カップや飲料缶を収納しないでください。
- ペットボトルなどはフタを確実に閉めて収納してください。
- ペットボトルの大きさ，形状によっては収納できないことがあります。

コンビニフック

J00905000345

軽い荷物をかけることができます。

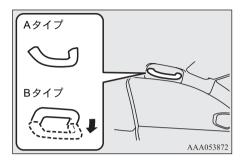
AAA053869

アドバイス

- フックには約 4kg 以上の荷物をかけないでください。フックが破損するおそれがあります。
- 使用しないときはフックを格納しておいてください。

アシストグリップ

J00912900391

座ったときに手で身体を支えるためのグリップがあります。

AAA053872

注意

- アシストグリップに手をかけて乗り降りしないでください。
  アシストグリップが外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロアマット

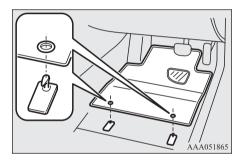
タイプ別装備

J00922800045

お客様のお車には，専用のフロアマットが設定されています。
フロアカーペットに装着されている固定クリップを使用し，つぎの手順で確実に固定してください。

固定のしかた

J00922900134

1. フロアマットを床の形状に合わせて敷きます。
2. フロアマットの取り付け穴に固定クリップを通し，確実に固定します。

アドバイス

● 車種により，フロアマットの形状や固定クリップの数が異なる場合があります。詳しい固定方法はフロアマットの取扱説明書をお読みください。

⚠警告

● 運転席にフロアマットを敷くときは，つぎのことを必ずお守りください。お守りいただかないと，フロアマットがずれて各ペダルと干渉し，思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど重大な事故につながるおそれがあります。
- 固定クリップを使用し確実に固定する
- フロアマットを前後逆さまにしたり，裏返して使用しない
- フロアマットでペダルをおおわない
- フロアマットの上または下に，別のフロアマットを重ねて敷かない
- アクセルペダルの下に敷かない
- 三菱自動車純正フロアマットであっても，他車種または年式の異なるフロアマットを使用しない

● 運転する前につぎのことを確認してください。
- フロアマットがすべての固定クリップで正しく固定されていることを定期的に確認し，車内の清掃などでフロアマットを取り外した後は必ず確認する
- エンジン停止時およびセレクターレバーがⓅのときに，各ペダルをいっぱいに踏み込み，フロアマットと干渉がなく運転に支障がないことを確認する

6

エアコン

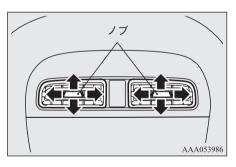
吹き出し口

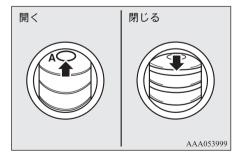
J01000100772

風向き調整

J01000300732

◆ 中央吹き出し口

ノブを動かして調整します。

◆ 左右吹き出し口

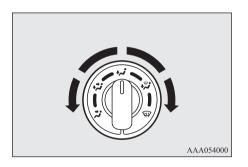
1. くぼみ（A 部）を押すと吹き出し口が開きます。閉じるときは，くぼみ（A 部）の下側を押します。
2. 風向きは吹き出し口を回して調整します。

アドバイス

- 吹き出し口に飲み物などが入らないようにしてください。エアコンが正常に作動しなくなるおそれがあります。

吹き出し口の切り換え

J01000400863

吹き出し口切り換えダイヤルを操作し，使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。
オートエアコンの場合は，吹き出し口切り換えスイッチまたはデフロスタースイッチを押して吹き出し口を切り換えます。
→「吹き出し口切り換えスイッチ」P. 7-13
→「デフロスタースイッチ」P. 7-13

AAA054000

- 上半身に送風したいとき
- 上半身と足元に送風したいとき
- 足元に送風したいとき
- 足元とウインドウガラスに送風したいとき
- ウインドウガラスに送風したいとき

⚠注意

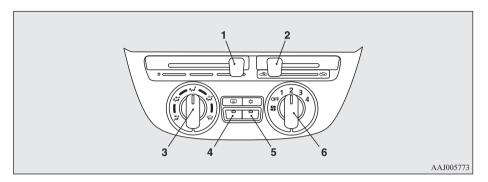
● と の間で使用するときは，窓の曇りを防止するため内外気切り換えレバーを外気導入にしてください。
→「内外気切り換えレバー」P. 7-5

アドバイス

● 吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にすると上半身へ多く， と の間または と の間にすると足元へ多く， と の間にするとウインドウガラスへ多く送風されます。

マニュアルエアコン

J01000500428

エンジンスイッチがONのときに使用できます。

1- 温度調整レバー →P. 7-5
2- 内外気切り換えレバー →P. 7-5
3- 吹き出し口切り換えダイヤル→P. 7-3
4- リヤウインドウデフォッガースイッチ→P. 4-22
5- エアコンスイッチ→P. 7-6
6- 風量調整ダイヤル→P. 7-5

- スイッチの使い方 P. 7-5
- 目的に合った使い方
  - 暖房したいときはP. 7-6
  - 冷房したいときはP. 7-7
  - 頭寒足熱にしたいときはP. 7-7
  - ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときはP. 7-7
  - 暖房と曇り止めを同時にしたいときは P. 7-8
  - 換気したいときはP. 7-8
  - 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときはP. 7-8

スイッチの使い方

J01000600012

◆ 風量調整ダイヤル

J01000700257

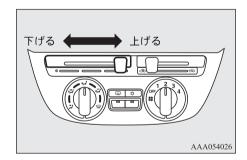
風量を強くするときは右へ，弱くするときは左へ回します。

AAA054013

◆ 温度調整レバー

J01000900321

送風温度を上げるときは右へ，下げるときは左へ動かします。

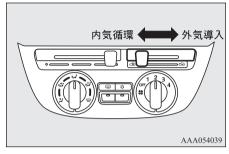
AAA054026

アドバイス

- エンジン冷却水の温度が低いときに温度調整レバーを動かしても送風温度は変わりません。（除く，スタートアップヒーター付き車）

◆ 内外気切り換えレバー

J01001400059

外気導入（外気を車内に入れる）と内気循環（外気をしゃ断する）の切り換えができます。

AAA054039

- 通常走行時
- 早く冷房したいときや外気が汚れているとき

⚠注意

- 窓の曇りを防止するため通常は外気導入で使用してください。
  長時間内気循環にしておくとウインドウガラスが曇りやすくなるため，ときどき外気導入に切り換えて換気してください。

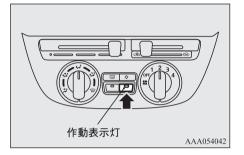
アドバイス

- 早く冷暖房したいときは，内気循環にすると効果的です。

7

◆ エアコンスイッチ

J01001500281

スイッチを押すとエアコン（冷房・除湿機能）が作動し，スイッチ内の作動表示灯が点灯します。もう一度押すとエアコンは停止します。

AAA054042

⚠ 注意

- CVT 車は，エアコン作動中はエンジン回転数が高くなりクリープ現象が強くなりますので，停車中はしっかりとブレーキペダルを踏んでください。
  →「クリープ現象」P. 5-30

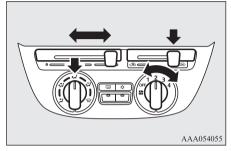
目的に合った使い方

J01001700241

各ダイヤル，レバー，スイッチを図のように設定します。

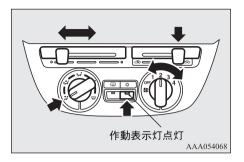
◆ 暖房したいときは

J01001800369

AAA054055

アドバイス

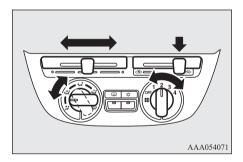
- 吹き出し口切り換えダイヤルが のとき，ウインドウガラスにも少し送風されますが，これはウインドウガラスの曇りを防止するためのものです。
- 急速暖房したいときは，風量調整ダイヤルを「3」の位置，温度を最高に設定します。

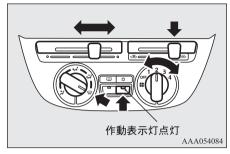
◆ 冷房したいときは

J01001900315

⚠注意

- 早く冷房したいとき内気循環にします。ただし，長時間内気循環にしておくとウインドウガラスが曇りやすくなるため，ときどき外気導入に切り換えて換気してください。

◆ 頭寒足熱にしたいときは

J01002000313

◆ ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは

J01002100402

曇り，霜を早く取りたいときは風量を最大に，温度を最高に設定して，エアコンを使用してください。

⚠注意

- との間で使用するときは，窓の曇りを防止するため内外気切り換えレバーを外気導入にしてください。
- 安全のため，ウインドウガラスの曇りや霜は早めに取り除いて視界確保に努めてください。
- 位置でエアコンを使用しているときは設定温度を最低温度付近にしないでください。ウインドウガラスの外側に露が付き，視界を妨げることがあります。

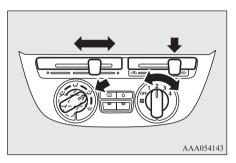
アドバイス

- サイドウインドウガラスの曇りを早く取りたいときは，左右の吹き出し口をサイドウインドウガラスに向けてください。

7

◆ 暖房と曇り止めを同時にしたいときは

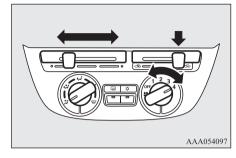
J01002200344

AAA054143

アドバイス

- エアコンを使用すると除湿効果があります。

◆ 換気したいときは

J01002300329

AAA054097

◆ 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときは

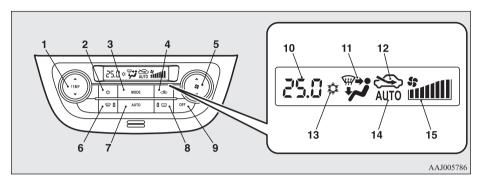
J01009600060

トンネルや渋滞など外気が汚れているときは内外気切り換えレバーを内気循環にします。

→「内外気切り換えレバー」P. 7-5

オートエアコン

J01002400665

エンジンスイッチまたは電源モードがONの状態のときに使用できます。
各スイッチを押すと音が鳴ります。

1- 温度調整スイッチ→P. 7-10
2- エアコンスイッチ→P. 7-12
3- 吹き出し口切り換えスイッチ→P. 7-13
4- 内外気切り換えスイッチ→P. 7-11
5- 風量調整スイッチ→P. 7-10
6- デフロスタースイッチ→P. 7-13
7- AUTOスイッチ→P. 7-12
8- リヤウインドウデフォッガースイッチ→P. 4-22
9- OFFスイッチ→P. 7-12
10- 設定温度表示灯→P. 7-10
11- 吹き出し口表示灯
12- 内外気切り換え表示灯
13- エアコン作動表示灯
14- AUTO作動表示灯
15- 風量表示灯

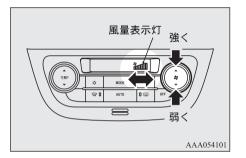
- スイッチの使い方P. 7-10
- 通常の使い方（自動で使うとき）P. 7-13
- 手動で使うとき
  - 急速暖房したいときはP. 7-14
  - ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときはP. 7-14
  - 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときはP. 7-15

スイッチの使い方

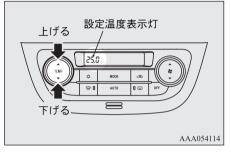
J01002500174

◆ 風量調整スイッチ

J01002800438

風量を強くするときはスイッチの上▲側を，弱くするときは下▼側を押します。
選択した風量は風量表示灯に表示されます。

◆ 温度調整スイッチ

J01003000541

送風温度を上げるときはスイッチの上▲側を，下げるときは下▼側を押します。
選択した温度は設定温度表示灯に表 示されます。

アドバイス

- 設定温度表示灯の値は，マルチインフォメーションディスプレイの温度単位に連動して切り換わります。→「外気温表示：表示単位を変更するときは」P. 4-7
- エンジン冷却水の温度が低いときに温度調整スイッチを押しても送風温度は変わりません。（除く，スタートアップヒーター付き車）
- 温度を最高または最低に設定すると，内外気およびエアコンがつぎの通り自動的に切り換わります。
  自動的に切り換わった後に手動操作した場合は，操作した機能が優先されます。
  - 急速暖房（最高温度に設定）
    外気導入，エアコン停止
  - 急速冷房（最低温度に設定）
    内気循環，エアコン作動

  工場出荷時は上記のように設定されています。内外気切り換え／エアコンスイッチのカスタマイズ（機能の設定変更）したときや，操作条件によっては外気およびエアコンの自動切り換えを，お好みにあわせて変更することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  →「エアコンスイッチ」P. 7-12
  →「内外気切り換えスイッチ」P. 7-11

◆ 内外気切り換えスイッチ

J01003400428

スイッチを押すと外気導入（外気を車内に入れる）と内気循環（外気をしゃ断する）の切り換えができます。
選択した状態（内気循環または外気導入）は，内外気切り換え表示灯に表示されます。

⚠注意

- 窓の曇りを防止するため通常は外気導入で使用してください。
  長時間内気循環にしておくとウインドウガラスが曇りやすくなるため，ときどき外気導入に切り換えて換気してください。

アドバイス

- 早く冷暖房したいときは，内気循環にすると効果的です。
- 手動操作後，AUTOスイッチを押すと，内外気切り換えスイッチも自動制御されます。

内外気切り換えのカスタマイズ（機能の設定変更）

つぎの機能をお好みにあわせて変更することができます。

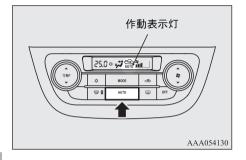
- 内外気自動制御許可:
  AUTOスイッチを押すと，内外気切り換えスイッチも自動制御されます。
- 内外気自動制御拒否:
  AUTOスイッチを押しても内外気切り換えスイッチは自動制御されません。
- 設定変更方法
  内外気切り換えスイッチを約 10 秒以上押し続けます。
  - 許可から拒否へ変更した場合
    音が“ピピピッ”と鳴り，表示灯が3回点滅します。
  - 拒否から許可へ変更した場合
    音が“ピピッ”と鳴り，表示灯が3回点滅します。

アドバイス

- 工場出荷時は「内外気自動制御許可」に設定されています。
- デフロスタースイッチを押しているときは，窓の曇りを防止するため，「内外気自動制御拒否」に設定していても自動的に外気導入に切り換わります。

◆ AUTOスイッチ

J01002600032

スイッチを押すと作動表示灯が点灯し，吹き出し口，風量調整，内外気切り換え，温度調整およびエアコンのON/OFFを自動調整します。

◆ エアコンスイッチ

J01003500605

スイッチを押すとエアコン（冷房・除湿機能）が作動し，作動表示灯が点灯します。もう一度押すとエアコンは停止します。

⚠注意

- CVT車は，エアコン作動中はエンジン回転数が高くなりクリープ現象が強くなりますので，停車中はしっかりとブレーキペダルを踏んでください。
  →「クリープ現象」P. 5-30

エアコンスイッチのカスタマイズ（機能の設定変更）

つぎの機能をお好みにあわせて変更することができます。

- エアコン自動制御許可:
  AUTOスイッチを押した場合や温度調整スイッチで最低温度にした場合，エアコンスイッチの自動制御をします。
- エアコン自動制御拒否:
  エアコンスイッチを操作しない限り，エアコンスイッチの自動制御をしません。
- 設定変更方法
  エアコンスイッチを約10秒以上押し続けます。
  - 許可から拒否へ変更した場合
    音が“ピピピッ”と鳴り，表示灯が3回点滅します。
  - 拒否から許可へ変更した場合
    音が“ピピッ”と鳴り，表示灯が3回点滅します。

アドバイス

- 工場出荷時は「エアコン自動制御許可」に設定されています。
- デフロスタースイッチを押しているときは，窓の曇りを防止するため，「エアコン自動制御拒否」に設定していてもエアコンは自動的に作動します。

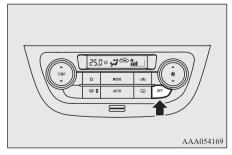
◆ OFFスイッチ

J01002700020

エアコンシステムを停止します。

◆ 吹き出し口切り換えスイッチ

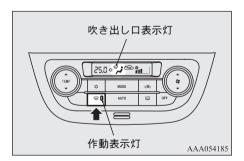
J01003300023

スイッチを押すごとに吹き出し口を →→→→ の順に切り換えます。選択した吹き出し口は吹き出し口表示灯に表示されます。

→「吹き出し口の切り換え」P. 7-3

◆ デフロスタースイッチ

J01003800028

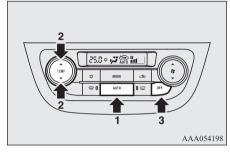
スイッチを押すと吹き出し口が に切り換わり，スイッチ内の作動表示灯が点灯します。選択した吹き出し口は吹き出し口表示灯に表示されます。

→「吹き出し口の切り換え」P. 7-3

アドバイス

- デフロスタースイッチを押すと，エアコンが自動的に作動し、内外気切り換えは外気導入に切り換わります。
  →「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」P. 7-14

通常の使い方（自動で使うとき）

J01004000900

吹き出し口，風量，エアコンの ON/OFF および，内外気の切り換えを自動的に調整します。

1. AUTOスイッチを押します。
2. 温度調整スイッチで希望温度を設定します。設定温度を 18~32 の間で調整できます。
3. 停止するときは OFF スイッチを押します。

アドバイス

- 25 を基準に，お好みの温度に調整してください。
- AUTO 作動中にスイッチを操作すると操作した機能が優先されます。操作した機能以外は自動制御されます。
- 室温センサーをふさいだりしないでください。

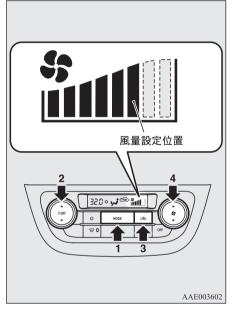
7

手動で使うとき

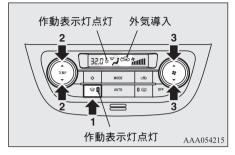
J01004100552

お好みに合わせてスイッチを操作してください。AUTO 作動中でも，操作した機能が優先されます。
操作した機能以外は自動制御されます。
停止するときは OFF スイッチを押します。

◆ 急速暖房したいときは

J01011000188

1. 吹き出し口切り換えスイッチを押して にします。
2. 温度調整スイッチで設定温度表示灯を32.0に設定します。
3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。
4. 風量調整スイッチで風量表示灯を図の位置に設定します。

◆ ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは

J01004200654

1. デフロスタースイッチを押します。
エアコンが自動的に作動し，内外気切り換えは外気導入に切り換わります。
2. 温度調整スイッチで温度をお好みに設定します。
3. 風量調整スイッチで風量をお好みに設定します。

⚠注意

- 安全のため，ウインドウガラスの曇りや霜は早めに取り除いて視界確保に努めてください。
- 吹き出し口切り換えスイッチを にしてもウインドウガラスの曇り，霜を取ることができますが，自動的にエアコンは作動しません。また，外気導入にも切り換わりません。エアコンの作動および外気導入への切り換えは，エアコンスイッチおよび内外気切り換えスイッチを操作してください。
- デフロスタースイッチを押したときは設定温度を最低温度付近にしないでください。ウインドウガラスの外側に露が付き，視界を妨げることがあります。

アドバイス

- 曇り，霜を早く取りたいときは風量を最大に，温度を最高に設定します。
- サイドウインドウガラスの曇りを早く取りたいときは，左右の吹き出し口をサイドウインドウガラスに向けてください。

◆ 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときは

J01004300033

トンネルや渋滞など外気が汚れているときは内外気切り換えスイッチを押して内気循環にします。

→「内外気切り換えスイッチ」P. 7-11

スタートアップヒーター

タイプ別装備

J01010900050

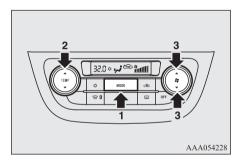
エンジン冷却水の温度が低いとき，暖房性能を向上させるための電気式ヒーターです。

自動で使うとき（オートエアコンのみ）

AUTO スイッチを押し，温度調整スイッチでお好みの温度に設定してください。
エンジン冷却水と車室内の温度から判断して自動で作動，停止を行います。

手動で使うとき

7

◆ オートエアコン

1. 吹き出し口切り換えスイッチを押して吹き出し口をお好みに設定します。
2. 温度調整スイッチで設定温度表示灯を32.0に設定します。
3. 風量調整スイッチで風量をお好みに設定します。

◆ マニュアルエアコン

AAA046795

1. 吹き出し口切り換えダイヤルで吹き出し口をお好みに設定します。
2. 温度調整レバーを右端に設定します。
3. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

7

アドバイス

● エンジン冷却水の温度が十分に上昇すると，自動で停止します。

エアコンの上手な使い方

J01009400749

長時間炎天下に駐車したときは

車室内の温度は大変高くなります。
このようなときはドアガラスを開けて車室内の熱気を車外に追い出してからエアコンを作動させてください。

冷やしすぎに注意

長時間冷風を直接身体に当てないでください。冷やしすぎは身体によくありませんので，少し涼しいと感じる温度に調整してください。

冷媒ガス量の点検を忘れずに

冷媒ガスが不足すると冷房，除湿効果が悪くなります。暑い季節になる前に三菱自動車販売会社で冷媒ガス量の点検を受けてください。

⚠注意

● エアコンの冷媒ガスを充填する場合は，エンジンフード（ボンネット）内に貼付のエアコン冷媒ラベルに記載されている冷媒量をお守りください。規定量を超えて充填した場合，エアコンコンプレッサが故障し，エンジン停止や始動不能になるおそれがあります。

アドバイス

● エアコン冷媒は，オゾン層を破壊させない代替フロンガス HFC-134a (R134a) を使用していますが，この代替フロンガスにも地球を温暖化させる働きがあります。エアコンの効きが悪い場合は三菱自動車販売会社でガス漏れの点検を行い，ガスの大気放出を防止してください。

クリーンエアフィルター

J01009500652

花粉やほこり，粉じんなどを取り除くフィルターを内蔵しています。フィルターに花粉やほこりなどが付着すると効果が低下しますので，フィルターは定期的に交換してください。
→「クリーンエアフィルターの交換のしかた」P. 9-7

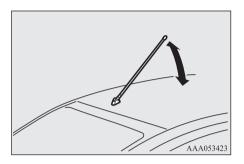
アドバイス

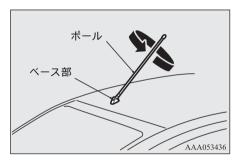
- フィルターの交換時期については別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

オーディオ

アンテナ

J01102200882

ラジオを聞くときは，アンテナをいっぱいまで起こしてからお聞きください。

取り外し方，取り付け方

取り外すときはポールを反時計回りにまわします。

取り付けるときは時計回りにまわしてポールをベース部にねじ込み，しっかりと取り付けてください。

アドバイス

- つぎのようなときは，アンテナを損傷するおそれがあるため必ずアンテナを取り外してください。
  - 自動洗車機を使用するとき
  - ボデーカバーをかけるとき
- 立体駐車場など天井の低い所へ入るときは，アンテナが当たらないように倒してください。

簡単な整備・車のお手入れ

簡単な整備

車のお手入れ

日常点検

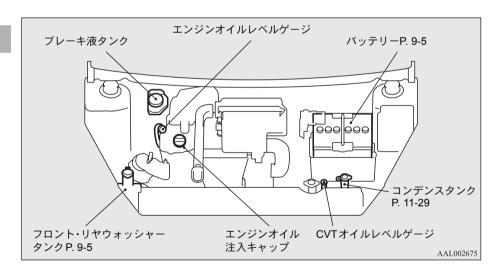
J01203900018

日常点検整備は，お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。事故や故障を未然に防ぐため必ず実施してください。

- 日常点検整備は，長距離を走行するときや，洗車，給油時などにお客様自身で行う点検整備です。
  詳細については，別冊の「メンテナンスノート」に記載していますので併せてお読みください。
- つぎのような点に気付いたら，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - いつもと違う音や臭いや振動がするとき
  - ブレーキ液が不足しているとき
  - 地面に油の漏れたあとが残っているとき

⚠警告

- エンジン回転中はエンジンルームに手を入れないでください。
  手や衣服がドライブベルトなどに巻き込まれるおそれがあります。
- エンジンルーム内の部品には高温になるものがあります。
  やけどをするおそれがありますので，各部が十分冷えてから点検してください。

9

エンジンフード（ボンネット）

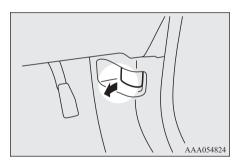
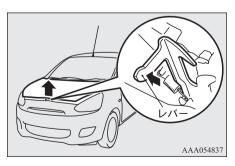
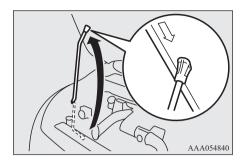
J01204000016

開けるときは

1. ワイパーアームが立っているときはワイパーアームを倒します。

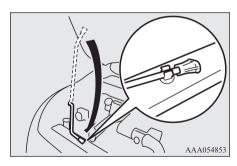
アドバイス

- ワイパーアームが立った状態でエンジンフードを開けるとエンジンフードに傷がつくおそれがあります。

2. 計器盤右下にあるレバーを引くとエンジンフードが少し浮き上がります。

3. エンジンフードのすき間に手を入れ，前端中央部のレバーを左へ押しながらエンジンフードを持ち上げます。

4. 支持棒をエンジンフードの穴に差し込みエンジンフードを確実に固定します。

⚠注意

- 風の強いときにエンジンフードを開けていると，風にあおられて支持棒が外れることがあります。特に風の強いときはご注意ください。
- 支持棒は必ず所定の穴に差し込んでください。所定以外の箇所に掛けると支持棒が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

閉めるときは

1. エンジンフードを支えながら支持棒を穴から外してクリップに固定します。

2. エンジンフードを少し持ち上げた位置（約20cm）から離します。

⚠注意

- 手や物をはさまないように注意してください。

3. エンジンフードが完全に閉じていることを確認します。

⚠注意

- 走行前に必ずエンジンフードが確実に閉じていることを確認してください。
完全に閉じていないまま走行するとエンジンフードが開くおそれがあります。

アドバイス

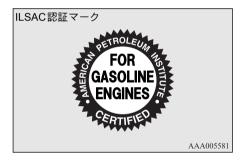
- エンジンフードを手で強く押しつけないでください。力のかけぐあいや場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。

エンジンオイルの補給

J01200100686

エンジンオイルが不足するとエンジンの不調や破損につながるおそれがあります。
エンジンオイル量を点検しオイルが不足している場合は，三菱自動車純正エンジンオイルまたはオイル缶に ILSAC 認証マークの入ったエンジンオイルを補給してください。なお，エンジンオイルの点検，補給方法，交換時期についての詳細は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

→「エンジンオイル注入キャップ，エンジンオイルレベルゲージ」P. 9-2
→「オイル類の量と種類」P. 12-3

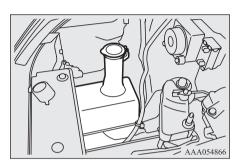
ILSAC認証マーク

アドバイス

- エンジンオイルは通常走行でも，走行状況に応じて消耗します。
オイル量を点検しオイルが不足している場合は，補給してください。

ウォッシャー液の点検・補給

J01200200687

タンク内の液面の位置で液量を点検します。

フロント・リヤ共用

ウォッシャー液が不足している場合は,三菱自動車純正ウォッシャー液を気温に適した濃度で補給してください。

使用地域・季節	希釈割合	凍結温度
通常	原液1に水2	-10℃程度
寒冷地の冬期	原液1に水1	-20℃程度
極寒冷地の冬期	原液のまま	-50℃程度

⚠注意

● 冬期は,ウォッシャー液を薄めすぎると液がウインドウガラスに凍りついてしまうことがあります。

バッテリー液の点検・補充

J01202200098

バッテリー液を点検し,液が不足している場合は補給してください。

アドバイス

● 点検および補給方法については別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

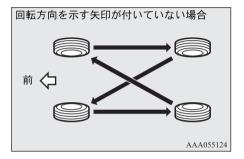
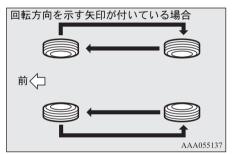
9

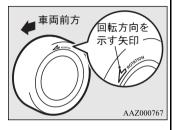
タイヤメンテナンス

J01202100198

タイヤローテーション

J01202400234

タイヤの摩耗を均一にして寿命を延ばすため，タイヤローテーションを 5,000km 走行ごとに行ってください。

⚠注意

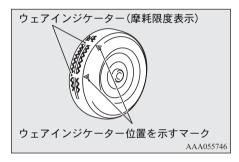
- タイヤに回転方向を示す矢印が付いているときは，4輪で前後ローテーションを行ってください。
  タイヤを取り付けるときは車両前進時の回転方向と矢印の向きが同じになるように取り付けてください。矢印の向きが異なるとタイヤの性能が十分に活かされません。

- 種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので避けてください。

9

タイヤの摩耗

J01202500134

ウェアインジケーター（溝の深さ 1.6mm 以下）が現れたら，スリップしやすくなり危険ですのでタイヤを交換してください。

AAA055746

アドバイス

- ウェアインジケーターのマークや位置は，タイヤメーカーによって異なります。

タイヤ空気圧の点検・調整

J01202600177

タイヤの空気圧は定期的に点検し，必ず規定の空気圧に調整してください。
→「タイヤの空気圧」P. 12-7

⚠警告

- タイヤの空気圧が不足したまま走行すると，タイヤが偏摩耗したり，車の安定性や操縦性を確保できなくなるおそれがあります。また，バースト（破裂）するなど重大な事故につながるおそれがあります。

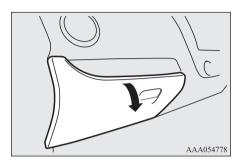
アドバイス

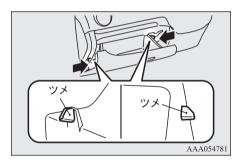
- 点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。
- 規定の空気圧は運転席ドアを開けたボデー側のラベルにも表示しています。

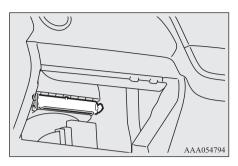
クリーンエアフィルターの交換のしかた

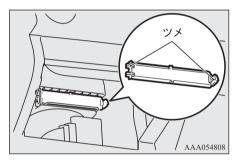
J01202000445

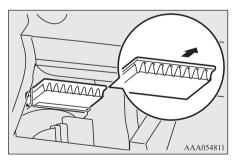
1. グローブボックスを開けます。

AAA054778

2. グローブボックスの側面を押しながら，左右のツメを外し，グローブボックスを下げます。

AAA054781

3. グローブボックスの奥にクリーンエアフィルターがあります。

AAA054794

4. カバー左右にあるツメを外して，カバーを外します。

AAA054808

5. クリーンエアフィルターを取り出して新品と交換します。

AAA054811

6. 元に戻すときは，取り外したときと逆の手順で取り付けます。

内装品のお手入れ

J01200601037

1. 電気掃除機などでほこりを取り除きます。
2. ガーゼなどの柔らかい布に，中性洗剤を薄めた水溶液を含ませて，軽くふき取ります。
3. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。
4. 水分をよくふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

⚠注意

- シリコンやワックスを含むクリーナーや保護剤を使用しないでください。
インストルメントパネルなどに使用すると使用箇所がウインドウガラスに映り込み，視界の妨げになるおそれがあります。
また，各種スイッチなどに付着すると電装品の故障につながるおそれがあります。
- シートの下など，見えにくい場所や狭い場所のお手入れをするときは，手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

アドバイス

- ベンジン，ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変色やしみ，割れの原因になります。
また，各種クリーナー類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認のうえ使用してください。
- ブラシ，合成繊維類，固い布は使用しないでください。センターパネルなどに使用すると表面を傷つけるおそれがあります。
- 液体芳香剤は，こぼれないよう容器を確実に固定してください。
また，インストルメントパネルの上やランプ類，メーターの近くには置かないでください。
含まれる成分によって樹脂部品や布材の変色，ひび割れをおこすおそれがあります。

アドバイス

● ガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないよう電熱線に沿って柔らかい布でふいてください。

外装品のお手入れ

J01200701269

走行後のお手入れ

J01204100017

お車を美しく保つために，走行後は塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としてください。
つぎのような汚れは，そのままにしておきますと，腐食，変色，しみになるおそれがありますので，できるだけ早く洗車してください。

● 海水や道路凍結防止剤など
● 工場のばい煙，油煙，粉じん，鉄粉，化学物質（酸，アルカリ，コールタールなど）など
● 鳥のふん，虫の死がい，樹液，花粉など

⚠注意

● 下まわりやホイールを洗うときは，厚手のゴム手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

洗車のしかた

J01202800544

1. 水をかけながら，車体の下まわりを洗います。
2. 車体上部から水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
3. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。
   その後は，中性洗剤を水で完全に洗い落とします。
4. 柔らかい布またはセーム皮で，塗装面にはん点が残らないよう水分をふき取ります。

⚠注意

- エンジンルーム内には水をかけないでください。車体の下まわりを洗車するときも，エンジンルーム内に水が入らないようにしてください。
  エンジン始動不良などの原因になります。
- 洗車後は，低速で走行しながら数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
  ぬれたままにしておくとブレーキの効きが悪くなったり，凍結やさびによってブレーキが固着し，走行できなくなることがあります。

アドバイス

- 自動洗車機を使用すると塗装面にブラシの傷がつき，塗装の光沢が失われたり，劣化を早めるおそれがあります。
- 洗浄機（コイン洗車機など）は機種によって高温，高圧のものがあります。
  車体樹脂部品の熱変形，破損，接着式マーク類のはがれ，室内への水侵入などのおそれがありますので，つぎのことをお守りください。
  - 洗車ノズルと車体との距離を十分離す。（約70cm以上）
  - ドアガラス回りを洗うときは，洗車ノズルをガラス面に垂直に向け，洗車ノズルとガラスとの距離を十分離す。（約70cm以上）
- 自動洗車機を使用するときは，部品が破損したり，車両を傷つけるおそれがありますので，ドアミラーを格納し，アンテナを取り外してください。
  リヤスポイラー付き車は，使用する前に必ず係員にご相談ください。係員のいないコイン洗車機などは，操作要領にしたがって洗車してください。

ワックスを使ったお手入れ

J01202900372

月に 1~2 回または，水をはじかなくなったときにかけます。
ワックスがけは，洗車後や塗装面が体温以下のときに直射日光を避けて行ってください。
ワックスのかけ方はワックスの説明書にしたがってください。

アドバイス

- 三菱自動車純正ワックスの使用をおすすめします。

ウインドウガラスのお手入れ

J01203000211

ワイパーのふきが悪くなったときは，ウインドウガラス洗浄剤（ガラスクリーナー等）で清掃してください。

アドバイス

- 三菱自動車純正ウインドウガラス洗浄剤の使用をおすすめします。
- ガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないよう電熱線に沿って柔らかい布でふいてください。

ワイパーのお手入れ

J01201100090

ワイパーゴムに異物が付着していたり，摩耗しているとふきが悪くなりますので，つぎのように処置してください。

- 異物が付着しているときは，水を含ませた柔らかい布でワイパーゴムを清掃してください。
- ワイパーゴムが摩耗しているときは，早めにワイパーゴムを交換してください。

アドバイス

- ワイパーゴムの交換については，別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

樹脂部品のお手入れ

J01201500209

スポンジまたはセーム皮で清掃します。
黒色や灰色系統で表面がざらざらしている部分（バンパーやモールディングなど）およびランプ類にワックスが付着すると白くなることがあります。
ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布またはセーム皮などできれいにふき取ってください。

アドバイス

- たわしなどの硬いものは，表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- ガソリン，軽油，ブレーキ液，エンジンオイル，グリース，塗装用シンナー，硫酸（バッテリー液）を付着させると，変色，しみ，ひび割れの原因になりますので，絶対に避けてください。
  万一，付着したときは，すみやかに中性洗剤の水溶液を用い柔らかい布またはセーム皮などでふき取った後，多量の水で洗い流してください。

環境保護のために守っていただきたいこと

J01204200018

廃棄物を処理するときは

J01204300019

- 環境保護のためにつぎのことをお守りください。
  - 使用済みのバッテリーやタイヤは，新品を購入した販売店に処分を依頼してください。
  - エンジンオイルや冷却水を交換する場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

寒冷時の取り扱い

冬期前の点検と準備

J01300101189

エンジンオイル

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものに交換します。

→「オイル類の量と種類」P. 12-3

冷却水

冷却水が凍結するとエンジンを損傷します。不凍液（三菱自動車純正品）の濃度を50%にします。

ウォッシャー液

ウォッシャー液（三菱自動車純正品）の濃度を50%以上にします。

→「ウォッシャー液の点検・補給」P. 9-5

バッテリー

液量，比重の確認をし，必要に応じて液の補給や補充電します。詳しくは，「メンテナンスノート」をお読みください。

タイヤチェーン，または冬用タイヤの準備

タイヤチェーンは必ず三菱自動車純正品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。

→「タイヤチェーン」P. 10-4

冬用タイヤに取り替えるときは, 4輪とも交換します。

→「タイヤ交換のしかた」P. 11-23

ワイパー

寒冷地用ワイパーに交換するときは，必ず三菱自動車純正品をご使用ください。

運転をする前に

J01300900018

ウインドウガラスの雪や霜を落とす

ウインドウガラスの雪や霜を落として視界を確保してください。

→「ウインドウガラスの曇り，霜をとりたいときは」P. 7-7，7-14

また，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りついていないかも確認してください。

アドバイス

- 冬期はワイパーブレードが凍結しフロントガラスに張り付くことがあります。その場合はヒーターでフロントガラスを暖めてください。
  →「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」P. 7-7，7-14
  フロントガラスに張り付いたまま動かすとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーター故障の原因となります。

足まわりの確認

足まわりに付着した氷塊を取り除いてください。走行中に部品を損傷したり，ハンドルの切れが悪くなるおそれがあります。

⚠注意

- 足まわりにはブレーキ関連部品が集まっています。部品や配線などを損傷させないように注意して氷塊を取り除いてください。

10

ドアの凍結

ドアが凍結したときに無理に開けようとするとドアまわりのゴムがはがれたり，き裂が入るおそれがあります。お湯をかけて氷を溶かしてください。その後すみやかに水分を十分ふき取ってください。

アドバイス

- キー穴部にはお湯をかけないでください。凍結すると，キーが差し込めなくなります。

車に乗る前に

ペダルのすべりや，ウインドウガラスの曇りを防止するため，靴についた雪はよく落としてから乗車してください。

ペダル，ハンドル，ブレーキの効きの確認

- ペダルやハンドルの動きは円滑かどうか確認してください。
- ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
  走り始めの極低速時にブレーキペダルを踏んで，効き具合を確認してください。

雪道，凍結路の走行

J01300300689

暖機運転について

長すぎる暖機運転は，燃料の無駄使いにつながります。環境保護のためにも暖機運転は 1 分程度を目安として最小限にとどめてください。

雪道や凍結した道路はスリップに注意

- 速度はひかえめにしてください。
- 橋の上，日陰，水たまり，トンネルの出入口付近などは路面が凍結しやすいので，注意してください。

車間距離は十分に

雪道，凍結路は滑りやすいため，ブレーキの効きが悪くなります。走行中は車間距離を十分にとってください。

ブレーキの効き具合を確認

雪道走行時にブレーキ装置に着氷し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。走行中は前後の車や道路状況に注意し，ときどき軽くブレーキペダルを踏んで効き具合を確認してください。

駐車後の発進は慎重に

ブレーキ装置への着氷により車輪がロックしていることがあります。車のまわりの安全を十分確認してからゆっくり発進してください。

⚠注意

- 急にアクセルペダルを踏み込まないでください。着氷によるロックが外れたときに急発進し，思わぬ事故につながるおそれがあります。

寒冷地での駐車

J01300400550

駐車ブレーキが凍結するおそれがあります。駐車ブレーキはかけず，セレクターレバーをⓅ に入れさらに輪止めをしてください。

アドバイス

- 車の前方を風下に向けて駐車しておくと，エンジンの冷えすぎを防ぐことができます。
- ワイパーアームを立てておけば，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りつくのを防ぐことができます。
- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

タイヤチェーン

J01300701042

タイヤチェーンは前輪に取り付けてください。

⚠注意

- タイヤチェーンは後輪に取り付けないでください。

また，必ず三菱自動車純正品をご使用ください。サイズが不適合なものを取り付けると，ボデーなどにあたり傷をつけるおそれがあります。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
取り付け要領は，タイヤチェーンに添付の取扱説明書をご参照ください。

⚠注意

- パンクしたときは，パンクタイヤ応急修理キットで応急修理をしてからタイヤチェーンを装着してください。
→「パンクタイヤ応急修理キット」P. 11-16
- 路上でタイヤチェーンをかけるときは，交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所を選びます。
また，非常点滅灯や停止表示板で後続車に注意を促し同乗者は安全な場所に待機させてください。

アドバイス

- タイヤチェーンを装着したときは30km/h以下で走行してください。
- 雪道，凍結路以外でのタイヤチェーンの装着はチェーンの寿命を短くしますので，避けてください。

もしものときの処置

警告灯が点灯または点滅したときは！

J01400101122

つぎの警告灯が点灯したときは，ただちに安全な場所に停車し，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

警告灯	点灯の原因
充電警告灯 →P. 4-13	充電系統の異常
（点灯と同時にブザーが連続的に鳴る）→P. 2-12	● ハンドルロックシステムの異常 ● エンジンスイッチ電源の異常

つぎの警告灯が点灯したときは，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

警告灯	点灯の原因
電動パワーステアリング警告灯 →P. 5-38	パワーステアリングシステムの異常

つぎの警告灯などが点灯または点滅したときは，安全な場所に停車し，まず車を点検してください。点検後も消灯しないまたは点滅が止まらないときは，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

警告灯／表示灯	点灯の原因	処置内容
ブレーキ警告灯 →P. 4-12	駐車ブレーキがかかっている	駐車ブレーキの状態を確認する →P. 5-9
	ブレーキ液の不足	ブレーキ液量を点検する →別冊の「メンテナンスノート」参照
	ブレーキ配分機能の異常	ABS警告灯が同時に点灯しているときは, 三菱自動車販売会社へ連絡する
油圧警告灯 →P. 4-13	エンジンオイルの圧力の低下	エンジンオイル量を点検する →別冊の「メンテナンスノート」参照
高水温警告灯（赤色） →P. 4-13	冷却水がオーバーヒートしている	エンジンを冷却する →「オーバーヒートしたときは」P. 11-29
＊ セレクターレバー位置表示灯（1秒間に約1回点滅） →P. 5-29 ＊：セレクターレバーがⒹの場合	オートマチックトランスミッション(CVT)オイルの温度が高くなっている	オートマチックトランスミッションを冷却する →「走行中にセレクターレバー位置表示灯が点滅したときは」P. 5-29

11

つぎの警告灯または表示灯が点灯したときは，急ブレーキや高速走行を避け，安全な場所に停車し，エンジンを停止してください。
再度エンジンをかけ，その後しばらく走行しても点灯しなければ異常ありません。
消灯しないときやたびたび点灯するときは，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

警告灯／表示灯	点灯の原因
ABS ABS警告灯 →P. 5-37，5-35	● ABSシステムの異常 ● ヒルスタートアシストシステムの異常 （除く, ASC装着車）
アクティブ スタビリティ コントロール (ASC)作動表示灯 および OFF ASC OFF表示灯 →P. 5-41	ASCシステムの異常
ASC作動表示灯 （点灯） →P. 5-35	ヒルスタートアシストシステムの異常 （ASC装着車）

つぎの警告灯などが点灯または点滅したときは，すぐに停車する必要はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

警告灯／表示灯	点灯／点滅の原因
SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯 →P. 3-24	● SRSエアバッグシステムの異常 ● プリテンショナーシステムの異常
エンジン警告灯 →P. 4-12	● エンジン制御システムの異常 ● CVT制御システムの異常
＊ セレクターレバー位置表示灯（2秒間に約1回点滅） →P. 5-29 ＊：セレクターレバーがⒹの場合	オートマチックトランスミッションに異常が発生し，安全装置が働いている
（点灯） →P. 2-12	[点灯のみのとき] キーレスオペレーションシステムの異常 [点灯と同時にブザーが断続的に鳴るとき] エンジンスイッチ電源の異常

つぎの警告灯が点灯または点滅したときは，つぎの通り処置してください。
処置しても消灯しないときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

警告灯	点灯／点滅の原因	処置内容
シートベルト 非装着警告灯 →P. 3-8	運転席シートベルトが装着されていない	シートベルトを着用する
半ドア警告灯 →P. 4-13	いずれかのドアまたはテールゲートが完全に閉められていない	全てのドアおよび テールゲートを閉じる
燃料残量警告表示 →P. 4-4	燃料が残り少なくなっている	燃料を補給する →P. 2-24
（点滅）	[点滅のみのとき] キーの電池が消耗している	キーの電池を交換する →P. 2-5
	[点滅のみのとき（エンジンスイッチを押したとき）] キーが車内にない，もしくはキーの電池が切れている	キーをキーボックスに挿入してエンジンを始動する。 →P. 5-17
	[点滅と同時にブザーが鳴るとき] キーレスオペレーションシステムの誤操作防止機構が働いている	「キーレスオペレーションシステム：警告表示について」を参照して処置してください。 →P. 2-12
（点灯）	エンジンイモビライザー装置とキーの認証ができていない	キーレスオペレーションの作動範囲内でキーを携帯する →P. 2-10
	ハンドルロック装置に何らかの異常が起きている	ハンドルロックを再度施錠する →P. 5-14

警告灯	点灯／点滅の原因	処置内容
（点滅）	ハンドルロックが解除できていない	ハンドルロックを解除する →P. 5-14

つぎの表示灯が点灯したときは，定期点検時期が近づいたことをお知らせしています。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

表示灯
サービスリマインダー →P. 4-7

こんなことでお困りのときは!

J01400301791

現象	処置
水たまりに入った後にブレーキの効きが悪い。	前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み, ブレーキを乾かしてください。 「雨天時や水たまりを走行するときは」→ P. 5-3
走行中にエンストした。	通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。 「万一, 走行中にエンストしたときは」→ P. 5-4
エンジンスイッチが回らない。 (除く, キーレスオペレーション付き車) AAZ006118	**LOCKからACCに回らない** ハンドルを左右に動かしながらエンジンスイッチを回してください。 **ACCからLOCKに回らない** セレクターレバーがⓅに入っているか確認し, ACCの位置でキーを押しながら LOCK まで回してください。 「キーを抜くときは」→ P. 5-14
エンジンスイッチを押してもエンジンがかからない。 (キーレスオペレーション付き車) AAM009554	キーレスオペレーションキーが車室内にあることを確認します。 「エンジンを始動する, 電源モードを切り換えるときの作動範囲」→P. 2-10 セレクターレバーがⓅに入っていることを確認し, ブレーキを踏みながらエンジンスイッチを押してください。 「エンジンのかけ方」→P. 5-17

現象	処置
キーレスオペレーション機能が作動しない。 (キーレスオペレーション付き車)	● キーレスオペレーションキーに内蔵されているエマージェンシーキーを使ってドアの施錠･解錠操作を行ってください。 「キーレスオペレーションシステム:キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは」→P. 2-16 ● キーレスオペレーションキーをセレクターレバーの前方にあるキーボックスに差し込んで, エンジンの始動, 電源モードの切り換えを行ってください。 「エンジンのかけ方:キーレスオペレーションキーが正常に作動しないとき(電池切れなど)または, スペアキーを使用してエンジンを始動するときは」→P. 5-17
セレクターレバーがⓅから動かない。	ブレーキペダルを踏んだままセレクターレバーを操作してください。 エンジンスイッチまたは電源モードが ON の状態になっていることを確認してください。 「セレクターレバーの動かし方」→ P. 5-28
雨の日, 湿気の多い日などに窓が曇る。	エアコンの内外気切り換えが, 外気導入になっているか確認してください。 エアコンを入れると効果的です。 「ウインドウガラスの曇り, 霜を取りたいときは」 → P. 7-7, 7-14
パンクした。	1. あわてずに, ハンドルをしっかり持ち, 安全な場所に車を停止します。 2. パンクしたタイヤの応急修理をします。 「パンクタイヤ応急修理キット」→ P. 11-16
エンジンがかからない。 ライトが点灯しない, 暗い。 ホーンが鳴らない, 音が小さい。	バッテリー上がりが考えられます。 「バッテリー上がりのときは!」→ P. 11-27

現象	処置
高水温警告灯(赤色)が点灯している。 エンジンルームから蒸気が出ている。 AAZ006017	オーバーヒートが考えられます。 「オーバーヒートしたときは!」→ P. 11-29
タイヤがスリップして発進できない。 (ぬかるみ, 雪道, 凍結路などの発進時)	スリップしているタイヤの前後にある土や雪などを取り除きます。 ● 1. 毛布か布などがあるときは, それをスリップしているタイヤの前に差し入れて滑り止めにします。 2. ゆっくりとアクセルペダルを踏んで発進してください。 ● 何も滑り止めにするものがないときは, 前後進を繰り返して車の反動を利用して脱出します。

⚠注意

- 車の反動を利用して脱出するときは, 車の周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- ぬかるみなどにはまったときは，むやみにタイヤを空転させないでください。タイヤがもぐり込み，かえって脱出しにくくなります。また，エンジンの高回転を続けるとオーバーヒートやトランスミッションの故障につながるおそれがあります。数回試して脱出できないときは，専門業者に依頼してください。

現象	処置
CVTが変速しない。	CVTに異常が発生し, 安全装置が働いていると考えられます。お近くの三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
加速が鈍い。	CVT に異常が発生し, 安全装置が働いているか, エンジン制御装置に異常が発生していると考えられます。高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

11

故障したときは！

J01400400740

故障して動けなくなったときは，同乗者または付近の人に応援を求め，安全な場所まで車を押して移動します。

このとき，セレクターレバーをⓃに入れてください。

一般道路での故障表示

追突などの事故を防ぐため，車を路肩に寄せ，非常点滅灯を点滅させるか，停止表示板などで故障表示します。

高速道路，自動車専用道路での故障表示

高速道路や自動車専用道路では，車両後方に停止表示板を置くことが義務付けられています。
人は車内に残らず，路肩を歩いて安全な場所に避難してください。

アドバイス

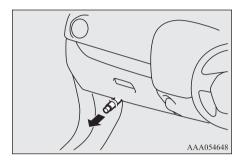
- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

修理の連絡先

別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

発炎筒を使うときは！

J01400500389

発炎筒は，高速道路や踏切などで故障し，緊急を要するときに使用します。
発炎筒は，グローブボックスの左下部に備えつけてあります。
使い方は発炎筒に記載されていますのであらかじめよく読んでおいてください。

⚠警告

- お子さまには，発炎筒をさわらせないでください。
- 人の顔や体に向けて絶対に使用しないでください。やけどをするおそれがあります。
- ガソリンなど燃えやすいものの近くでは使用しないでください。
火災をまねくおそれがあります。
- トンネル内では使用しないでください。煙により視界が悪くなり，重大な事故につながるおそれがあります。非常点滅灯など他の方法を用いてください。

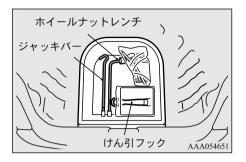
アドバイス

- 発炎時間は約5分です。非常点滅灯など他の方法を併用してください。
→「非常点滅灯スイッチ」P. 4-18
- 発炎筒には有効期限（発炎筒に記載）がありますので，期限が切れる前に三菱自動車販売会社でお買い求めください。

工具とジャッキ

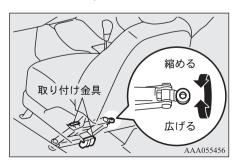
J01400600801

工具

ラゲッジルーム内のラゲッジフロアボード下に格納されています。

ジャッキ

お客様のお車にジャッキは標準装備されていません。お客様のお車専用のジャッキを三菱自動車販売会社でお買い求めください。

◆ 格納場所と脱着のしかた

ジャッキは，助手席の下に格納することができます。
助手席を一番前に移動し，ジャッキの先端を右に回してジャッキを広げ，取り付け金具に確実に固定します。
取り外すときは，逆の手順で行います。

⚠注意

- 工具やジャッキを使用した後は，元の位置に確実に格納してください。
  室内などに放置すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ジャッキは，タイヤ交換とタイヤチェーンの取り付け以外の目的には使用しないでください。

アドバイス

- 工具の種類，格納場所は，万一のとき困らないようあらかじめ確認しておきましょう。

ジャッキアップのしかた

J01400701551

ここでは三菱自動車販売会社でお買い求めいただけるジャッキの取り扱い方法について説明します。

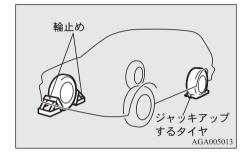
⚠警告

- **ジャッキアップしたら車の下には絶対にもぐらないでください。万一ジャッキが外れたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。**

⚠注意

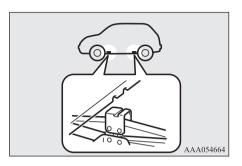
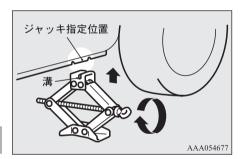
- ジャッキアップするときは安全のため，つぎのことを必ず守ってください。万一の場合，ジャッキが外れ思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - エンジンをかけたままにしない。
  - 人や荷物を乗せたままにしない。
  - 地面が平らで硬い場所以外では使用しない。
  - 凍結した路面では使用しない。
  - ジャッキの上や下に物をはさまない。
  - ジャッキアップ中に車をゆすらない。
  - ジャッキアップしたタイヤを回転させない。
  - ジャッキアップしたまま放置しない。

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れて，エンジンを止めます。
3. 人や荷物を車から降ろします。必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，停止表示板などを車両後方に置きます。
4. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。

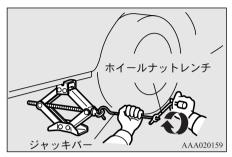
⚠注意

- ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
  万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

5. 工具とジャッキを取り出します。
→「工具とジャッキ」P. 11-12
6. ジャッキアップするタイヤに近い指定位置の下にジャッキを置きます。

7. ジャッキ頭部の溝がジャッキ指定位置にはまるまで，ジャッキを手で右に回して上げます。

⚠警告

● ジャッキ頭部の溝は，指定された位置以外にかけないでください。指定された位置以外にかけると，車体がへこんだり，ジャッキが倒れて，重大な傷害を受けるおそれがあります。

8. 図で示すようにジャッキバーとホイールナットレンチを組み付け，タイヤが地面から少し浮くまで静かにホイールナットレンチを右に回します。

⚠注意

● 地面からタイヤが少し離れた高さ以上にジャッキアップしないでください。必要以上にジャッキアップすると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

11

ガレージジャッキを使用するときは

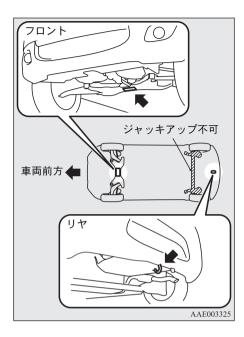
⚠警告

● ガレージジャッキを使用するときは，必ず指定のガレージジャッキセット位置に当ててジャッキアップしてください。指定された位置以外に当ててジャッキアップすると，車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

AAZ002051

● リヤ側をジャッキアップするときは，リヤサスペンションにガレージジャッキを当ててジャッキアップしないでください。リヤサスペンションにガレージジャッキを当ててジャッキアップすると，車両を損傷するおそれがあります。

◆ ガレージジャッキセット位置

AAE003325

パンクタイヤ応急修理キット

J01403800413

本キットはタイヤ接地部に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクを応急修理するものです。
お客様のお車には，スペアタイヤが搭載されていません。

⚠警告

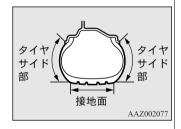
- **パンクタイヤ応急修理キットは必ず三菱自動車純正品を使用してください。**

⚠注意

- 応急修理剤を飲用すると健康に害があります。もし誤って飲用した場合は，できるだけたくさんの水を飲み，ただちに医師の診察を受けてください。
- 応急修理剤がもし目に入ったり，皮膚に付いたりした場合は，水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは，医師の診察を受けてください。
- 応急修理剤にお子さまが誤って手を触れないようご注意ください。
- 応急修理キットで応急修理を行うときは，車を地面が平らで安全な場所に止めてください。

アドバイス

- つぎのような場合は，応急修理剤を使って修理することができません。
  三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。JAF の営業所は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。
  - 応急修理剤の有効期限が切れているとき（有効期限はボトルのラベルに記載されています。）

  - タイヤが2本以上パンクしているとき
  - およそ 4mm 以上の切り傷や刺し傷によるパンクのとき
  - タイヤサイド部（接地面以外の部分）が損傷を受け，パンクしたとき

  - 空気がほとんど抜けた状態で走行したとき
  - タイヤがホイールの外側へ完全に外れているとき
  - ホイールが破損しているとき
- タイヤに刺さった釘やネジなどは，抜かずにそのまま応急処置をしてください。
- 応急修理剤が衣服などに付着すると，おちないおそれがあります。

格納場所と内容

ラゲッジルーム内のラゲッジフロアボード下に収納されています。

*: 三菱自動車販売会社でのタイヤの恒久修理，交換時に使用するホースです。
お客様がパンク応急修理時に使用するものではありません。

応急修理のしかた

J01407300168

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らな場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れて，エンジンスイッチを LOCK または電源モードを OFF にします。
3. 人や荷物を車から降ろします。必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，停止表示板などを車両後方に置きます。

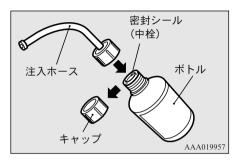
アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

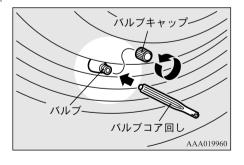
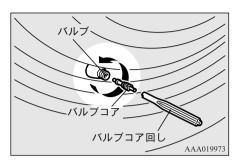
4. パンクタイヤ応急修理キットを取り出し，応急修理剤のボトルをよく振ります。

アドバイス

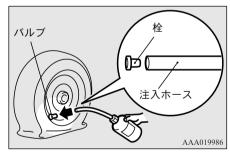
- 寒冷時（0°C以下）では，応急修理剤の粘度が高くなり注入しづらくなることがありますので，ボトルを振る前に車内などで温めてください。

5. キャップを外し，応急修理剤の密封シール（中栓）をつけたまま注入ホースをボトルにねじ込みます。注入ホースをねじ込むと，密封シール（中栓）が破れ，修理剤が注入できる状態になります。

⚠注意

● 注入ホースをねじ込んだ後，応急修理剤のボトルを振ると，修理剤が注入ホースから飛び出すおそれがあります。

6. タイヤのバルブからバルブキャップを外し，バルブコア回しを図のように押しあてて，タイヤの空気を完全に抜きます。

7. バルブコア回しでバルブコアを反時計回りに回して取り外します。
取り外したバルブコアは，汚れないようにきれいな場所に保管します。

⚠注意

● バルブコアを外すとき，タイヤに空気が残っているとバルブコアが飛び出し，けがをするおそれがありますので，完全に空気が抜けていることを確認してから外してください。

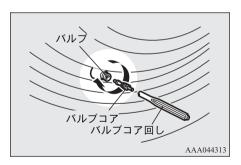
8. 注入ホースの先端の栓を取り外し，注入ホースをバルブに差し込みます。

9. 応急修理剤のボトルを逆さまに持ち，手でボトルを何回も圧迫し，ボトル内のすべての修理剤をタイヤ内に注入します。

AAA019999

アドバイス

- 修理剤は，タイヤバルブがタイヤと地面の接地部分近く（最低部付近）以外の位置で注入してください。バルブが接地部分近くにあると，修理剤が入りにくい場合があります。

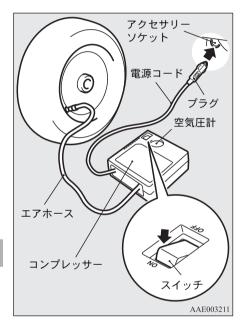
10. 注入後，注入ホースをバルブから引き抜き，バルブコアをバルブに取り付け，バルブコア回しでしっかりと時計回りにねじ込んでください。

AAA044313

アドバイス

- バルブコア回しは，手で回してください。工具などを使って回すと，バルブコア回しが破損するおそれがあります。

11. コンプレッサーのエアホースを取り出し，口金をバルブに確実に取り付けます。

AAA020003

12.空気圧計を上にして，コンプレッサーを置きます。
コンプレッサーの電源コードを取り出し，プラグをアクセサリーソケットに差し込みます。
→「アクセサリーソケット」P. 6-2
エンジンスイッチまたは電源モードをACCにし，コンプレッサーのスイッチをONにして指定の空気圧まで昇圧します。→「タイヤの空気圧」P. 12-7

⚠注意

- 備え付けのコンプレッサーは，お客様のお車専用です。他の車には使用しないでください。
- 備え付けのコンプレッサーは，自動車用タイヤの空気充填用です。自動車用タイヤの空気充填や空気圧の点検以外での使用はしないでください。
- コンプレッサーの電源は，自動車用12V専用です。他の電源は接続しないでください。
- コンプレッサーには防水加工をしておりません。降雨時などは，水がかからないようにしてご使用ください。
- コンプレッサーは，砂埃などを吸い込むと，故障の原因になります。砂地など砂埃の多い場所に直接置いて使用しないでください。
- コンプレッサーの分解，改造などは絶対にしないでください。また，空気圧計などに衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

13. コンプレッサーの空気圧計を使用して，空気圧を点検，調整します。
空気を入れ過ぎたときは，エアホースの口金をゆるめて空気を抜きます。

⚠注意

- タイヤがふくらむとき，タイヤとホイールの間に指などはさまないようにしてください。
- 使用中，コンプレッサーの表面が熱くなります。コンプレッサーは10分以上連続して作動させないでください。故障につながるおそれがあります。
- コンプレッサーの運転中に動作が鈍くなった場合は，オーバーヒート状態になっています。このような場合はただちにスイッチをOFFにし，30分以上放置してください。

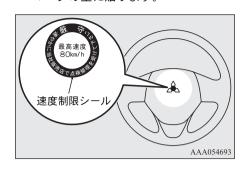
アドバイス

- 10分以内に指定の空気圧に昇圧できないときは，タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあり，応急修理剤を使って応急修理することができません。三菱自動車販売会社またはJAFなど専門業者に連絡してください。

14. コンプレッサーのスイッチをOFFにしてから電源コードのプラグをアクセサリーソケットから抜きます。

アドバイス

- 本応急修理キットでタイヤに修理剤および空気を注入するだけではパンク穴はふさがりません。応急修理が完了するまで（手順17.または18.まで）は，パンク穴より空気が漏れます。

15. 速度制限シールをハンドルの三菱マークの上に貼ります。

⚠注意

- ハンドルの指定位置以外にシールを貼らないでください。SRSエアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。

16. 応急修理キットを車に搭載してただちに走行してください。
80km/h以下の速度で法定速度を守り，急ブレーキ，急ハンドル，急なアクセル操作を避けて慎重に運転してください。

⚠注意

- 走行中異常を感じたときは，運転を中止して三菱自動車販売会社またはJAFなど専門業者に連絡してください。
応急修理完了までに空気圧が低下して安全性を損なうおそれがあります。

17.10 分間または約 5km 走行後，コンプレッサーの空気圧計でタイヤの空気圧を点検します。
空気圧の低下がなければ，応急修理完了です。つぎに手順 19. を行ってください。
タイヤの空気圧が不足している場合は，もう一度指定の空気圧まで昇圧し，走行します。

⚠注意

- 空気圧が最少空気圧 (130 kPa {1.3kgf/cm 2}) より低下しているときは，応急修理剤での応急修理はできません。
  運転を中止して三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。

18.10分間または約5km走行後，再びタイヤの空気圧を点検します。
空気圧の低下がなければ，応急修理完了です。

アドバイス

- タイヤの空気圧が指定空気圧より低下していたら運転を中止して三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。
- 寒冷時（0°C以下）では修理完了までの時間，走行距離が長くなる場合があるため，2度目の空気圧の昇圧，走行後でもタイヤ空気圧が指定空気圧より低下することがあります。
  そのような場合は，もう一度指定空気圧まで昇圧しさらに10分間または約5km走行後，もう一度空気圧を点検してください。それでも指定空気圧より低下する場合はこれ以上の運転を中止し三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。

19.すみやかに三菱自動車販売会社まで慎重に運転し，タイヤの修理，交換を行ってください。

⚠注意

- 必ず空気圧の点検を行い，応急修理の完了を確認してください。

アドバイス

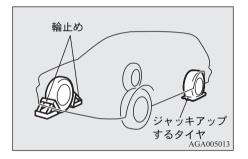
- 応急修理剤の空ボトルは，三菱自動車販売会社で新しい応急修理剤をお買い求めの際にお渡しください。
- 応急修理剤を使用したタイヤは，新しいタイヤに交換することをおすすめします。修理・再使用する場合は三菱自動車販売会社にご相談ください。なお，応急修理後の恒久修理のとき，パンク穴を発見できず恒久修理できないことがあります。

タイヤ交換のしかた

J01400901696

タイヤを取り外すときは

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーを🅟に入れて，エンジンを止めます。
3. 人や荷物を車から降ろします。必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，停止表示板などを車両後方に置きます。
4. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。

⚠注意

- ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
  万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

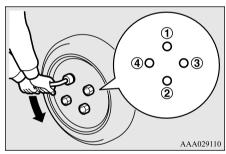
アドバイス

- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

5. 工具とジャッキを取り出します。
   →「工具とジャッキ」P. 11-12

アドバイス

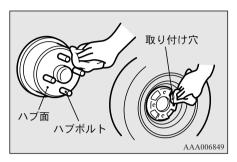
- お客様のお車にジャッキは標準装備されていません。お客様のお車専用のジャッキを三菱自動車販売会社でお買い求めください。

6. ホイールカバー付き車は，ホイールカバーを取り外します。
   →「ホイールカバー」P. 11-25
7. 交換するタイヤに近い指定箇所にジャッキをセットします。
   →「ジャッキアップのしかた」P. 11-13
8. ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に，手で回るくらいまでゆるめます。

9. タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキアップします。
10. ホイールナットを外し，タイヤを取り外します。

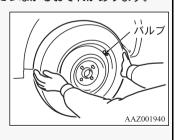
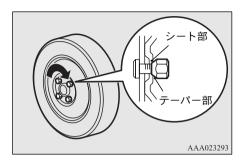
アドバイス

- タイヤを地面に置くときは，ホイール表面を上にして置いてください。
  下にして置くと，ホイールに傷がつくおそれがあります。

タイヤを取り付けるときは

1. ハブ面，ハブボルトおよびホイール取り付け穴の汚れをきれいに取り除きます。

2. タイヤを取り付けます。

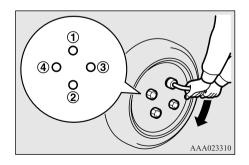
⚠警告

● タイヤを取り付けるときは，タイヤの裏表に注意し，バルブが車体外側を向くように取り付けてください。取り付けた際，バルブが見えなければ，タイヤが裏向きに取り付けられています。
タイヤの裏表を間違えて取り付けると，車両に悪影響をおよぼし，思わぬ事故につながるおそれがあります。

3. ホイールナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽く当たり，タイヤががたつかない程度まで，手でホイールナットを回して仮締めします。

⚠注意

● ハブボルト，ホイールナットには油を塗らないでください。
ネジ部，ホイールなどの損傷の原因になります。

4. タイヤが地面に接するまでジャッキを降ろし，ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に2~3回に分けて，徐々に締め付けます。
最後の締め付けは，確実に行ってください。

締め付けトルク：88~108N•m
{9~11kgf•m}

11

⚠注意

- ホイールナットを締め付けるときは，ホイールナットレンチを足で踏んだり，パイプなどを使用して必要以上に締め付けないでください。

5. ホイールカバー付き車は，ホイールカバーを取り付けます。
   →「ホイールカバー」P. 11-25
6. タイヤの空気圧を点検します。
   →「タイヤの空気圧」P. 12-7
7. 工具とジャッキを元の位置に戻します。
   →「工具とジャッキ」P. 11-12
8. 交換したタイヤは，ラゲッジルームに格納します。

⚠注意

- タイヤ交換後，走行中にハンドルや車体に振動がでたときは，三菱自動車販売会社でタイヤバランスの点検を受けてください。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。

アドバイス

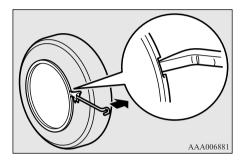
- タイヤ交換したときは，約 1,000km 走行後，再度ホイールナットを締め付けて，ゆるみがないことを点検してください。

ホイールカバー

タイプ別装備

J01402800533

◆ 取り外すときは

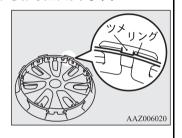
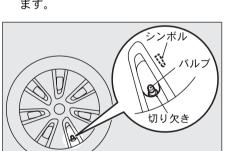
1. ジャッキバーの先に布をかぶせて，ホイールカバーの切り欠き部へ差し込み，タイヤ側にこじてカバーを少し浮かせます。

2. カバーが浮いたら，ホイールカバーの周囲に沿ってジャッキバーの差し込み位置を変えながら，少しずつこじてカバーを取り外します。

⚠注意

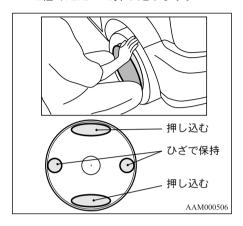
- ホイールカバーが外れるまでジャッキバーを使ってください。手でこじるとホイールカバーの端などでけがをするおそれがあります。

◆ 取り付けるときは

⚠注意

- ホイールカバーを取り付ける前に，裏面のツメがリングに正しく組み付いていることを確認してください。また，ツメが折れているときはホイールカバーを取り付けないでください。走行中にホイールカバーが外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

1. タイヤのバルブ（空気注入口）とホイールカバーの切り欠き部を合わせます。

アドバイス

- カバー裏側に切り欠き部の位置を表示するシンボルがあります。
  ホイールカバーを取り付ける前に，シンボルとバルブの位置が正しく合っていることを確認してください。

2. ホイールカバーの下部をホイールに押し込みます。
3. ホイールカバーの両端を軽く押し込み，両ひざで保持します。
4. ホイールカバーの上部を外周に沿って軽くたたいて押し込みます。

バッテリー上がりのときは！

J01401001418

つぎのような状態をバッテリー上がりといいます。

- スターターモーターが回らない。または，回っても回転が弱くてエンジンがかからない。
- ライトが点灯しない。または，いつもより暗い。
- ホーンが鳴らない。または，鳴ってもいつもより音が小さい。

このような場合は，ブースターケーブル（別売）を使用し，他車のバッテリーを電源として，つぎの要領でエンジンをかけることができます。

⚠警告

- **ブースターケーブルを使用してエンジンをかけるときは，取扱説明書にしたがって正しい手順で作業してください。取り扱いを誤ると，引火爆発や車両損傷のおそれがあります。**

⚠注意

- 救援は必ず12Vで，自車と同容量以上のバッテリーを装着している車に依頼してください。
- ブースターケーブルは，バッテリー容量に適したものを使用してください。
また，破損や腐食などの異常がないことを点検してから使用してください。
ケーブル焼損の原因になることがあります。

アドバイス

- お客様のお車は，バッテリーを外しても電源モードの状態を記憶しています。救援車とブースターケーブルで接続したときは，電源が絶たれる前の電源モードの状態に戻ります。
バッテリーが上がる前の電源モードの状態がわからない場合は，十分注意をしてください。

1. ブースターケーブルが接続でき，かつ自車と接触しない位置に救援車を止めます。
2. ライトやエアコンなど電装品のスイッチを切ります。
3. 救援車と自車の駐車ブレーキを確実にかけ，マニュアル車はシフトレバーをⓃ，CVT車，オートマチック車はセレクターレバーをⓅに入れ，エンジンを止めます。

⚠警告

- **ブースターケーブルの接続時は，救援車のエンジンも止めてください。
ケーブルや衣服などがファンやドライブベルトに巻き込まれて，けがをするおそれがあります。**
- **冷却ファンはエンジン始動後，冷却水の温度により回転，停止をくり返します。エンジン運転中は，ファンに手を近づけないでください。**

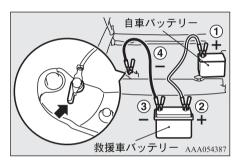
4. バッテリー液量を確認します。

⚠警告

- **バッテリー液量が下限（LOWER LEVEL）以下のままで使用しないでください。バッテリーの劣化を早めたり，発熱や爆発するおそれがあります。**
- **バッテリー液は希硫酸です。皮膚についたり，目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い，速やかに専門医の治療を受けてください。**

アドバイス

- バッテリー液の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

5. ブースターケーブルを図の番号順に確実に接続します。
   ①自車のバッテリーの＋端子
   ②救援車のバッテリーの＋端子
   ③救援車のバッテリーの－端子
   ④図で指示の箇所（アースをとる）

⚠警告

- ブースターケーブルを接続するときは，必ずつぎのことをお守りください。火花が発生し，バッテリーから発生する可燃性ガスに引火爆発するおそれがあります。
  - ブースターケーブルは正しい順番，位置に接続する
  - ブースターケーブルの＋と－端子を接触させない
  - 自車バッテリーの－端子に直接つながない
  - バッテリー付近で喫煙したり，マッチやライターなどを使用しない

⚠注意

- ブースターケーブルは，確実に接続してください。エンジン始動時の振動で外れると，ケーブルがファンやドライブベルトに巻き込まれ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- バッテリーの＋端子は，カバーを外してからブースターケーブルを接続してください。

6. 接続した後，救援車のエンジンをかけ，エンジン回転数を少し上げます。
7. 自車のエンジンをかけます。

アドバイス

- オートストップ＆ゴー（AS&G）付き車は，AS&G OFF スイッチを押して AS&G を停止し，バッテリーが十分に充電される前にエンジンが自動的に停止することがないようにしてください。
  →「AS&G を非作動にするには」P. 5-25

8. エンジンがかかったら，ブースターケーブルを接続したときと逆の手順で取り外します。
9. 最寄りのガソリンスタンドや三菱自動車販売会社でバッテリーの点検を受けてください。

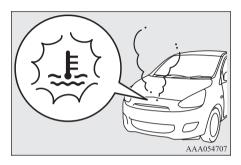
アドバイス

- CVT 車は，マニュアル車と構造が異なるため，押しがけやけん引によりエンジンをかけることはできません。
- 充電が不十分のまま車を発進させると，エンジンの回転むらが生じ，ABS 警告灯が点灯することがあります。
  →「走行中に警告を表示したときは」P. 5-37
- オートストップ＆ゴー (AS&G) 付き車には専用バッテリーが装着されています。専用バッテリーを使用しないとバッテリーが早く消耗したり，AS&G が正常に作動しなくなる原因となります。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  →「バッテリーの種類」P. 12-5

オーバーヒートしたときは！

J01401101406

つぎのような状態をオーバーヒートといいます。
- 高水温警告灯（赤色）が点灯したり，エンジンの出力が急に低下する。
- エンジンルームから蒸気が出ている。

AAA054707

つぎの要領にしたがい処置してください。

1. 車を安全な場所に止めます。
2. エンジンルームから蒸気が出ていないかどうかを確認します。

[蒸気が出ていないとき]
エンジンをかけたままでエンジンフード（ボンネット）を開け，風通しをよくします。

アドバイス

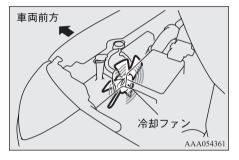
- オートストップ＆ゴー（AS&G）付き車は，AS&G OFFスイッチを押して，停車前にAS&Gを停止してください。
→「AS&Gを非作動にするには」P. 5-25

[蒸気が出ているとき]
エンジンを止め，蒸気が出なくなったら，風通しをよくするためにエンジンフード（ボンネット）を開け，エンジンをかけます。

⚠警告

- エンジンルームから蒸気が出ているときは，エンジンフード（ボンネット）を開けないでください。蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。蒸気が出ていないときでも，熱湯が噴き出していたり，高温になっている部分がありますので，エンジンフード（ボンネット）を開けるときは注意してください。

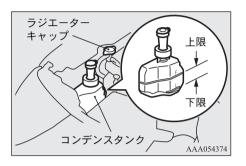
3. 冷却ファンが作動しているか確認します。

AAA054361

[冷却ファンが作動しているとき]
高水温警告灯が消灯した後で，エンジンを止めます。

[冷却ファンが作動していないとき]
すぐにエンジンを止めて自然冷却し，三菱自動車販売会社へ連絡してください。

⚠警告

- 冷却ファンに，手や衣服などを巻き込まれないように注意してください。

4. エンジンが十分冷えてから，冷却水の有無を点検します。
冷却水が不足しているときは，冷却水を補給します。
冷却水がないときは，応急処置として水を補給します。

⚠警告

- **通常はラジエーターキャップを外さないでください。**
  冷却水には圧力がかかっているため，冷却水の温度が高いときにキャップを外すと，蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。

アドバイス

- 冷却水の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

けん引

J01401201380

けん引はできるだけ JAF など専門業者に依頼してください。
つぎの場合は，三菱自動車販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。
- 下まわりを点検し，オイルなどが漏れている。

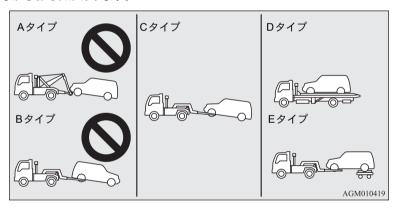
また，車輪が溝などに落ちたときは無理にけん引せず，三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に依頼してください。

アドバイス

- JAF の営業所は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

レッカー車に搬送してもらうとき

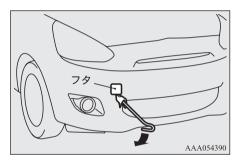
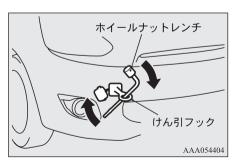
⚠注意

- 車体つり上げ式のレッカー車でけん引しないでください（Aタイプ）。
  バンパーや車体が破損するおそれがあります。
- 必ず駆動輪（前輪）を持ち上げてけん引するか，4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送してください（C，D，Eタイプ）。
  後輪だけを持ち上げてけん引すると，トランスミッション内部のオイル切れを起こし，トランスミッション故障の原因になります（Bタイプ）。
- アクティブスタビリティコントロール（ASC）装着車で前輪だけを持ち上げてけん引するときは（C タイプ），エンジンスイッチまたは電源モードをつぎの状態にしてください。
  [除く，キーレスオペレーションシステム付き車]
  　エンジンスイッチがLOCKまたはACCの状態。
  [キーレスオペレーションシステム付き車]
  　電源モードがOFFまたはACCの状態。
  エンジンスイッチまたは電源モードがONの状態で行うと，ASCが作動し思わぬ事故につながるおそれがあります。

他車にけん引してもらうとき

J01403901541

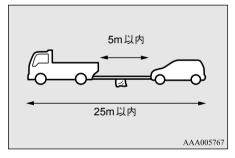
やむを得ず他車にロープでけん引してもらうときは，つぎの要領で行ってください。

◆ 前方へけん引してもらうときは

1. けん引フック，ホイールナットレンチ，ジャッキバーを取り出します。
→「工具とジャッキ」P. 11-12
2. ジャッキバーの先に布をかぶせて，フロントバンパーの運転席側にあるフタを取り外します。

3. けん引フックをホイールナットレンチを使用して確実に取り付けます。

4. けん引ロープをけん引フックにかけます。

アドバイス

- けん引ロープは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- けん引フックにロープをかけるときは，車体の破損・変形を防ぐためにつぎのことに気をつけてください。
  - けん引フックは確実に取り付けてください。
  - けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
  - けん引時にけん引フックに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。

5. けん引ロープには，30cm 平方（タテ30cm×ヨコ30cm）以上の白い布を必ずつけてください。

6. エンジンはできるだけかけておいてください。
エンジンがかからないときは，ハンドルがロックされないようにするために，エンジンスイッチまたは電源モードをONにします。

⚠警告

- エンジンが止まっているとブレーキの効きが非常に悪くなります。またハンドル操作が非常に重くなります。
- エンジンスイッチまたは電源モードをONにしておかないと，ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり，事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- オートストップ＆ゴー（AS&G）付き車は，AS&G OFFスイッチを押して，停車前にAS&Gを停止してください。
→「AS&Gを非作動にするには」P. 5-25

7. セレクターレバーをⓃに入れます。
8. 後続車に注意をうながすため，けん引される車は非常点滅灯を点滅させます。
→「非常点滅灯スイッチ」P. 4-18

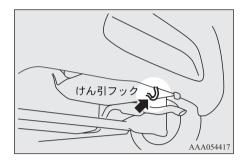
⚠警告

- 急ブレーキ，急発進，急旋回など，けん引フックやけん引ロープに大きな衝撃が加わるような運転は避けてください。けん引フックやけん引ロープが破損するおそれがあります。万一の場合，その破片が周囲の人などにあたり重大な傷害をおよぼすおそれがあります。
- 長い下り坂ではブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。レッカー車に搬送してもらってください。

⚠注意

- けん引される車は，けん引車のブレーキランプに注意して，常にけん引ロープをたるませないようにしてください。
- 安全のためにけん引するときの速度は30km/h 以下，けん引する距離は 40km以内にしてください。この速度，距離を超えるとトランスミッションの故障の原因になります。

◆ 後方へけん引してもらうときは

救助などで一時的に後方へけん引してもらうときは，図に示すけん引フックを使用してください。

⚠警告

- けん引するときは，車の周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
脱出するときに車が飛び出すおそれがあり，重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- けん引ロープは必ずけん引フックにかけてください。けん引フック以外にけん引ロープをかけると，車体が破損することがあります。

アドバイス

- この車で故障車をけん引することはできません。

ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！

J01401300137

ディスクブレーキには，ブレーキパッドの摩耗量が使用限度近くになると走行中に金属摩擦音（キーキー）を発生して警告する装置が設けてあります。

アドバイス

- 金属摩擦音が聞こえたときは，三菱自動車販売会社でブレーキパッドを点検してください。

ヒューズが切れたときは！

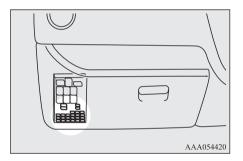
J01401501181

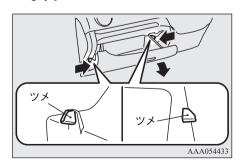
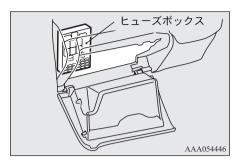
各種のランプが点灯しないときや，電気系統の装備が作動しないときは，ヒューズが切れているときがありますのでヒューズを点検し，切れているときは交換してください。

ヒューズボックスの位置

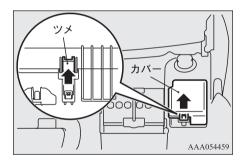
◆ 室内

グローブボックスの裏側にあり，ヒューズの点検・交換はグローブボックスを外して行います。

AAA054420

1. グローブボックスを開き，グローブボックスの側面を押しながら，左右のツメを外し，グローブボックスを下げます。

AAA054433

2. グローブボックスの奥にヒューズボックスがあります。

3. グローブボックスを戻すときは，逆の手順で取り付けます。

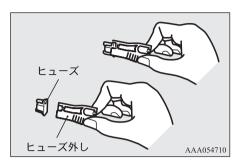
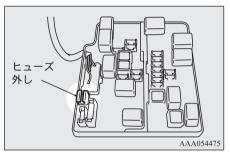
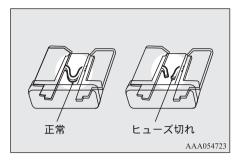
◆ エンジンルーム内

ツメを押してロックを外し，カバーを持ち上げて取り外します。

ヒューズの交換

1. エンジンスイッチまたは電源モードをつぎの状態にします。
   ［除く，キーレスオペレーションシステム付き車］
   エンジンスイッチがLOCKの状態。
   ［キーレスオペレーションシステム付き車］
   電源モードがOFFの状態。
2. 該当する装備を受け持つヒューズおよび容量を確認します。
   →「各ヒューズの受け持つ装備および容量」P. 11-37

アドバイス

- 各ヒューズの受け持つ装備および容量は，室内はグローブボックスの裏側にエンジンルーム内はヒューズボックスカバーの裏側に記載してあります。

3. ヒューズ外しを使用してヒューズを引き抜きます。ヒューズ外しは，エンジンルーム内のヒューズボックス内にあります。

4. ヒューズを点検し，切れているときは予備のヒューズと交換します。

⚠警告

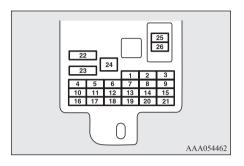
- **取り付けてあるヒューズと同じ容量のヒューズを使用してください。針金，銀紙などを使用すると，電線の過熱により火災のおそれがあります。**

アドバイス

- ヒューズを交換しても再び切れるときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズが正常で該当する装備が作動しないときは，他の原因が考えられます。すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

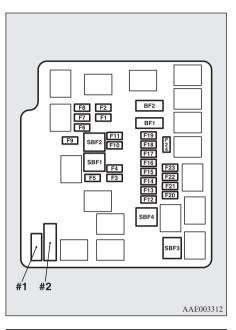
各ヒューズの受け持つ装備および容量

J01403701536

◆ 室内／グローブボックス裏側

NO.	表示	装備	容量
1		尾灯（テールライト）（左）	7.5A
2		シガレットライター／アクセサリーソケット	15A
3		イグニッションコイル	10A
4		スターター	7.5A
5	—	—	—
6	—	—	—
7		尾灯（テールライト）（右）	7.5A
8		ドアミラー	7.5A
9		エンジンコントロールユニット	7.5A
10		コントロールユニット	7.5A
11		リヤフォグランプ	10A
12		ドアロック	15A
13		室内灯（ルームランプ）	15A
14		リヤワイパー	15A
15		メーター	7.5A
16		リレー	7.5A
17		シートヒーター	20A
18	OPTION	オプション	10A
19		ヒーテッドドアミラー	7.5A
20		フロントワイパー	20A
21		後退灯（バックアップランプ）	7.5A
22		デフォッガー	30A
23		ヒーター	30A
24	—	—	—
25		ラジオ	10A
26		コントロールユニット	15A

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

11

◆ エンジンルーム内

NO.	表示	装備	容量
SBF1		ラジエーター ファンモーター	40A
SBF2	ABS	ABS	30A
SBF3		イグニッション スイッチ	40A
SBF4		パワー ウインドウ	40A
BF1	A/T	DC-DC (P/T)	30A
BF2		DC-DC (AUDIO)	30A
F1		ヘッドライト (下向き)(左)	10A
F2		ヘッドライト (下向き)(右)	10A
F3		ヘッドライト (上向き)(左)	10A
F4		ヘッドライト (上向き)(右)	10A
F5		ホーン	10A
F6		フロント フォグランプ	15A
F7		デイタイム ランニング ライト	10A
F8	—	—	—
F9	—	—	—
F10		スターター	7.5A
F11	—	—	—
F12	STOP	制動灯 (ブレーキランプ)	15A
F13		イグニッション コイル	7.5A
F14		エンジン コントロール	7.5A
F15		オルタネーター	7.5A
F16		非常点滅灯	10A
F17	A/T	オートマチック トランス ミッション	15A
F18		エアコン	10A
F19		ETV	15A
F20		バッテリー センサー	7.5A
F21	A/T	オートマチック トランス ミッション オイルポンプ	15A
F22		フューエル ポンプ	15A
F23		エンジン	20A
F24	A/T	オートマチック トランス ミッション	7.5A
#1	—	スペアヒューズ	20A
#2	—	スペアヒューズ	30A

11

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

7.5A，10A，15Aのスペアヒューズはありません。ヒューズが切れたときは，つぎのヒューズで代用してください。
7.5A: ドアミラー
10A: オプション
15A: シガレットライター／アクセサリーソケット
代用したときはなるべく早く正規容量のヒューズを補給してください。

バルブ（電球）が切れたときは！

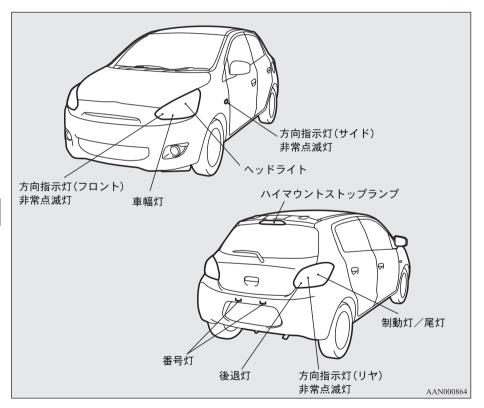
J01401600967

ヒューズが切れていないのにランプが点灯しないときは，バルブ（電球）が切れているときがあります。
バルブ（電球）を点検し，切れているときは各バルブの交換要領にしたがって交換してください。

バルブ（電球）の位置•W（ワット）数

J01406200102

◆ 車外照明

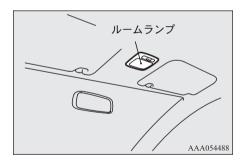
J01406800531

<table>
<tr><td colspan="2">ヘッドライト</td><td>60/55 W（H4）</td></tr>
<tr><td colspan="2">車幅灯</td><td>5 W（W5W）</td></tr>
<tr><td colspan="2">制動灯／尾灯</td><td>21/5 W (P21/5W)</td></tr>
<tr><td colspan="2">後退灯</td><td>21 W (P21W)</td></tr>
<tr><td colspan="2">番号灯</td><td>5 W（W5W）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">方向指示灯
非常点滅灯</td><td>フロント</td><td>21 W（PY21W）</td></tr>
<tr><td>サイド</td><td>5 W</td></tr>
<tr><td>リヤ</td><td>21 W（P21W）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ハイマウントストップランプ（バルブ式）</td><td>5 W（W5W）</td></tr>
</table>

● (　)内はバルブ（電球）の型式を示しています。

アドバイス

● 以下のバルブの修理・交換は三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 方向指示灯／非常点滅灯（サイド）
- ハイマウントストップランプ（リヤスポイラー付き車）

◆ 車内照明

J01406300363

ルームランプ	8 W

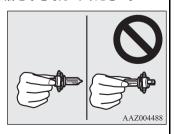
バルブ（電球）の交換

J01401700870

ここではおもなバルブ（電球）の交換方法を記載しています。記載されていないバルブの交換については，三菱自動車販売会社にご相談ください。

1. 該当するランプスイッチを OFF にして，エンジンスイッチを“LOCK”または電源モードをOFFにします。
2. 該当するランプのW（ワット）数を確認します。
→「バルブ（電球）の位置 •W（ワット）数」P. 11-40
3. 各ランプの交換要領にしたがってバルブを交換します。

⚠注意

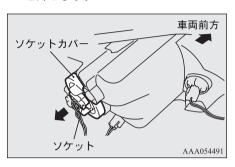
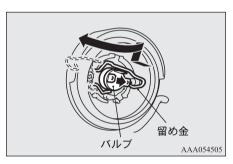
- 消灯直後はバルブの表面が高温になっているため，やけどをするおそれがあります。
バルブの表面が十分冷えてから交換してください。
- ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤を薄めた水溶液を含ませて，油をふき取ってください。

アドバイス

- バルブを交換するときは，同じ W（ワット）数，同じバルブ色のものを使用してください。
- ランプ本体やレンズを外すときは，車体を傷つけないよう十分注意してください。
- バルブを交換した後は，ランプが正しく点灯するか確認してください。
- 雨の日や洗車後などに，レンズ内側が曇ることがあります。
これは湿気が多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。
ランプを点灯すると熱で曇りはとれます。
ただし，ランプ内に水がたまっているときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

11

◆ ヘッドライト

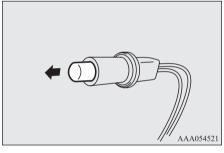
J01401901778

1. ソケットを引き抜き，ソケットカバーを外します。

2. 留め金を外し，矢印の方向に引き起こして，バルブを抜き取ります。

3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

◆ 車幅灯

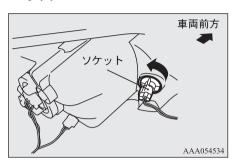
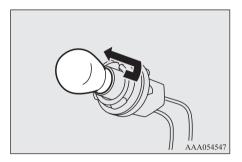
J01402000867

1. ソケットを反時計回りに回して外します。

2. ソケットからバルブを引き抜きます。

3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

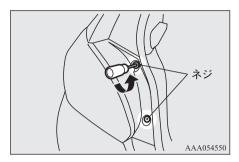
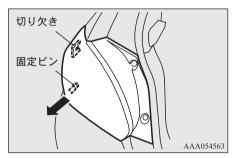
◆ 方向指示灯（フロント）

J01402100796

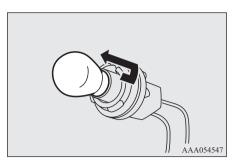
1. ソケットを反時計回りに回して外します。

2. バルブを押し込みながら反時計回りに回して外します。

3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

◆ リヤコンビネーションランプ

J01403000747

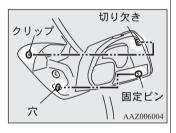
1. テールゲートを開きます。
   →「テールゲート」P. 2-20
2. ネジを取り外します。

3. ランプユニットを手前に引き，ランプの裏側にある固定ピンと切り欠きを外します。

4. ソケットを反時計回りに回して外します。

5. バルブを押し込みながら反時計回りに回して外します。

AAA054547

6. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

● ランプ本体を取り付ける際はランプ本体の固定ピンを車体側の穴に，切り欠きを車体側のクリップ位置に合わせ，取り付けます。

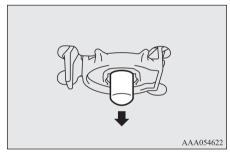
AAZ006004

◆ 番号灯

J01402600690

1. レンズを車両後方に押しながら，手前に引いて外します。

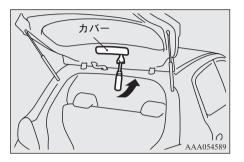
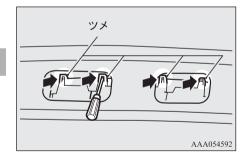
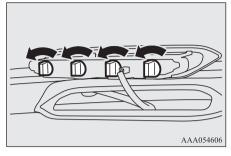
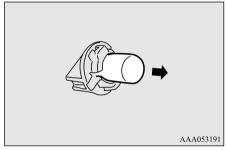
AAA054619

2. ソケットからバルブを引き抜きます。

AAA054622

3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

◆ ハイマウントストップランプ

J01402700574

1. テールゲートを開きます。
   →「テールゲート」P. 2-20
2. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んで，カバーを外します。

3. 穴の中のツメ部分を押し，ハイマウントストップランプ本体を外します。(テールゲートを閉じると，ランプ本体が外れています。)

4. テールゲートを静かに閉じてランプ本体を外し，ソケットを反時計回りに回して外します。

5. ソケットからバルブを引き抜きます。

6. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

サービスデータ

12

メンテナンスデータ

J01600101339

- 日常点検，定期点検の内容およびエンジンオイルなど油脂類の交換時期については，別冊の「メンテナンスノート」に詳しく記載してありますのでお読みください。
- 車両寸法（全長，全幅，全高），車両重量，エンジン型式，排気量については車載の「自動車検査証」をご参照ください。

燃料の量と種類

J01600500307

容量	使用銘柄
約35L	無鉛レギュラーガソリン

⚠注意

- 必ず無鉛ガソリンを補給してください。
- 軽油や有鉛ガソリン，粗悪ガソリン，高濃度アルコール混合燃料，三菱自動車純正以外のガソリン添加剤（含む，水分除去剤）を使用しないでください。排気ガス浄化装置や燃料噴射装置が損傷するおそれがあります。

オイル類の量と種類

J01601200659

<table>
<tr><th>項目</th><th>容量</th><th>使用銘柄</th></tr>
<tr><td>エンジンオイル</td><td>約3.0L（オイルフィルター内約0.2Lを含む）</td><td>
<table>
<tr><th>三菱自動車純正銘柄</th><th>API分類</th><th>ILSAC規格</th><th>SAE粘度番号</th></tr>
<tr><td>ダイヤクイーンSMエコ</td><td rowspan="2">SM</td><td rowspan="3">GF-4</td><td>0W—20</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ダイヤクイーンSM</td><td>5W—30</td></tr>
<tr><td>SM/CF</td><td>10W—30</td></tr>
<tr><td>ダイヤクイーンSLスーパー</td><td>SL相当</td><td>—</td><td>5W—20
10W—30</td></tr>
<tr><td>ダイヤクイーン SJ</td><td>SJ相当/CF</td><td>—</td><td>10W—30</td></tr>
</table>
● エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを使用してください。
-30 -20 -10 0 10 20 30 40 ℃
SAE 10W-30
SAE 0W-20,5W-20,5W-30
AAM007228
</td></tr>
</table>

アドバイス

● 0W-20は最も省燃費性に優れたオイルです。

オイル類の量と種類

J01600600685

項目	容量	使用銘柄
オートマチックトランスミッション(CVT)オイル	約7.0L	三菱自動車純正ダイヤクイーン CVTF-J4
ブレーキ液	所要	三菱自動車純正ダイヤクイーン ブレーキフルードスーパー4(DOT4)

冷却水の量と種類

J01600700530

容量		使用銘柄
除く,オートストップ＆ゴー(AS&G)付き車	約4.6L*	三菱自動車純正ダイヤクイーン スーパーロングライフクーラントプレミアム
オートストップ＆ゴー(AS&G)付き車	約4.3L*	

*: コンデンスタンク内約0.5Lを含む

ウォッシャー液の量と種類

J01600800371

容量	使用銘柄
約2.5L	三菱自動車純正ウォッシャー液

バッテリーの種類

J01601400648

項目		型式
除く, オートストップ＆ゴー(AS&G)付き車	除く, 寒冷地仕様車	34B19L
	寒冷地仕様車	55D23L
オートストップ＆ゴー(AS&G)付き車		Q-85*

*： オートストップ＆ゴー(AS&G)付き車には専用バッテリーが装着されています。専用バッテリーを使用しないとバッテリーが早く消耗したり，AS&G が正常に作動しなくなる原因となります。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

⚠警告

- **バッテリーの＋端子と－端子を間違えないように取り付けてください。**
- **バッテリーを取り付けるときは，＋端子から先に接続してください。－端子から先に接続した場合，万一，＋端子が他部品に接触すると火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。**

点火プラグ

J01600900620

点火プラグの点検，交換は三菱自動車販売会社に依頼してください。

12

整備基準値

J01601000598

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">サービスデータ</th></tr>
<tr><td rowspan="2">ブレーキペダル</td><td>遊び</td><td>3~8mm</td></tr>
<tr><td>踏み込んだときの床板とのすきま
（踏力約500N{約50kgf}）</td><td>75mm以上</td></tr>
<tr><td>駐車ブレーキ</td><td>引きしろ（操作力約200N{約20kgf}）</td><td>7~9ノッチ</td></tr>
<tr><td>ベルトのたわみ量（ベルトの中央部を約100N{約10 kgf}の力で押す。）</td><td colspan="2">1. オルタネータープーリー
2. ウォーターポンププーリー
3. エアコンプーリー
4. クランクシャフトプーリー

<table>
<tr><th></th><th>新品ベルト装着時</th><th>中古ベルト組込時および使用ベルト張り直し時</th><th>使用中ベルト張り点検時</th></tr>
<tr><td>除く, オートストップ＆ゴー(AS&G)付き車</td><td>6.3~7.6mm</td><td>9.1~10.2mm</td><td>8.5~10.9mm</td></tr>
<tr><td>オートストップ＆ゴー(AS&G)付き車</td><td>6.3~7.7mm</td><td>9.1~10.3mm</td><td>8.6~10.9mm</td></tr>
</table>
● ベルトの張り調整, 交換は三菱自動車販売会社に依頼してください。</td></tr>
</table>

タイヤ，ホイール

J01600201734

タイヤ，ホイールを交換するときは，つぎのことをお守りください。

- 4輪とも同時に交換してください。
- 指定サイズのタイヤ，ホイールを装着してください。

⚠注意

- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
- ホイールは，リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも，車体に干渉するため使えないときがあります。お手持ちのものを使われるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

タイヤ，ホイールのサイズ

タイヤ	ホイール
165/65R14 79S	14×4 1/2J（46mm）〔100mm〕4穴

（　）内は，オフセット（インセット）量（ホイールの取り付け面とリムの中心との距離）
〔　〕内は，PCD（ホイール取り付け穴のピッチ円直径）
冬用タイヤなどについても表中のサイズのものをご使用ください。

タイヤの空気圧

タイヤサイズ	空気圧（kPa {kgf/cm²}）
165/65R14 79S	270 {2.7}

12

カスタマイズ（機能の設定変更）

J01600401390

つぎの機能をお好みの設定に変更することができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスエントリー（除く，キーレスオペレーションシステム付き車）	リモコンスイッチでUNLOCKスイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間 →P. 2-4	約30秒	○
		時間を長くする	
	リモコンスイッチで施錠・解錠したときの非常点滅灯による作動確認 →P. 2-4	施錠時:1回点滅 解錠時:2回点滅	○
		施錠時:1回点滅 解錠時:点滅しない	
		施錠時:点滅しない 解錠時:2回点滅	
		施錠時:2回点滅 解錠時:1回点滅	
		施錠時:2回点滅 解錠時:点滅しない	
		施錠時:点滅しない 解錠時:1回点滅	
		点滅しない	
	リモコンスイッチでできるドアミラーの格納・復帰操作 →P. 2-4	作動する	○
		作動しない	

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスオペレーションシステム（キーレスオペレーションシステム付き車）	キーレスオペレーションシステムでできる操作 →P. 2-7	全機能	○
		ドアおよびテールゲートの施錠･解錠機能のみ	
		エンジン始動機能のみ	
		全機能を働かなくする	
	キーレスオペレーションキーのスイッチまたはキーレスオペレーション機能で解錠した後, 自動的に施錠されるまでの時間 →P. 2-4, 2-11	約30秒	○
		時間を長くする	
	キーレスオペレーションキーのスイッチまたはキーレスオペレーション機能で施錠･解錠したときの非常点滅灯による作動確認 →P. 2-4, 2-11	施錠時:1回点滅 解錠時:2回点滅	○
		施錠時:1回点滅 解錠時:点滅しない	
		施錠時:点滅しない 解錠時:2回点滅	
		施錠時:2回点滅 解錠時:1回点滅	
		施錠時:2回点滅 解錠時:点滅しない	
		施錠時:点滅しない 解錠時:1回点滅	
		点滅しない	

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスオペレーションシステム（キーレスオペレーションシステム付き車）	リモコンスイッチでできるドアミラーの格納・復帰操作（ドアミラー格納スイッチ付き車） →P. 2-4	作動する	○
		作動しない	
	キーレスオペレーション機能で施錠・解錠した時の作動確認ブザーの有無 →P. 2-11	有り	○
		無し	
	施錠・解錠した時の作動確認ブザーの有無 →P. 2-11	有り	
		無し	○
	ドア閉時のキーレスオペレーションキーの持ち出し監視機能の有無 →P. 2-12	有り	
		無し	○
	車外ブザーの音量	大	
		中	○
		小	
センタードアロック	セレクターレバーを使って解錠 エンジンスイッチまたは電源モードがONのときにセレクターレバーを🅟に入れる →P. 2-19	解錠する	
		解錠しない	○
ヘッドライト	自動点灯のタイミング（オートライトコントロールセンサーの感度調整）（オートライトコントロール付き車） →P. 4-14	標準	○
		早くする	
		遅くする	
	ライトスイッチがAUTOの位置でフロントワイパーを動かすと自動的にヘッドライトが点灯 →P. 4-19	点灯する	
		点灯しない	○
	ヘッドライトオートカット機能（自動消灯） →P. 4-15	作動する	○
		作動しない	
	降車後照明として利用するときのライトスイッチの位置 →P. 4-15	≣Dのみ	○
		≣D0≣と≣D	

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
方向指示灯	方向指示灯の点滅に合わせて断続的に鳴るブザー音 →P. 4-18	標準	○
		音色を変更する	
	車線変更時の3回点滅機能 →P. 4-18	作動する	○
		作動しない	
	車線変更時の3回点滅機能が作動するまでのレバー操作時間 →P. 4-18	短い	○
		長い	
	方向指示灯が作動するエンジンスイッチの位置または電源モードの状態 →P. 4-18	ON	○
		ONまたはACC	
フロントワイパー	間けつ作動 →P. 4-19	車速感応	○
		車速感応無し	
リヤワイパー(リヤワイパー付き車)	間けつ作動時間 →P. 4-21	約8秒	○
		時間を短くする*1	
		時間を長くする*1	
		連続作動にする	
フロントウォッシャー	ウォッシャー液を噴射させたときのワイパー作動*2 →P. 4-20	連動する	○
		連動しない	
リヤウォッシャー(リヤワイパー付き車)	ウォッシャー液を噴射させたときのワイパー作動*2 →P. 4-20	連動する	○
		連動しない	

*1 :連続作動モードあり
→「リヤワイパー／ウォッシャースイッチ」P. 4-21

*2 :フロントウォッシャー・リヤウォッシャーの「連動する」「連動しない」の設定変更はそれぞれ単独で変更されず同時に変更されます。

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
ドアミラー（ドアミラー格納スイッチ付き車）	自動格納･復帰の条件 →P. 5-11	キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステム機能に連動（LOCKで格納, UNLOCKで復帰）	○
		エンジンスイッチまたは電源モードに連動（運転席ドアを閉めてONで復帰, OFFで運転席ドアを開くと格納）	
		車速約30km/h以上で復帰	
		自動格納･復帰しない	
ルームランプ	すべてのドアおよびテールゲートを閉じたときに消灯するまでの時間（遅延消灯） →P. 6-3	約15秒	○
		時間を短くする	
		時間を長くする	
		遅延消灯機能を働かなくする	
	点灯し続けたとき, 自動的に消灯するまでの時間（自動消灯） →P. 4-15	約30分	○
		自動消灯機能を働かなくする	
エアコン（オートエアコン付き車）	内外気切り換え･エアコンスイッチの自動制御[*3] →P. 7-11, 7-12	許可	○
		拒否	

[*3] :お客様自身でもカスタマイズ（機能の設定変更）可能です。
→「内外気切り換えのカスタマイズ（機能の設定変更）」P. 7-11
→「エアコンスイッチのカスタマイズ（機能の設定変更）」P. 7-12

12

A

C

E

I

M

S

W

ア

イ

ウ

エ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

オ

カ

キ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

13

ク

ケ

コ

サ

シ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ス

セ

ソ

タ

チ

テ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

13

ト

ナ

ニ

ネ

ハ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ヒ

フ

ヘ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ホ

マ

ミ

メ

ユ

ラ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

リ

ル

レ

ワ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

純正品のおすすめ

- お客様のお車に最適な純正品をご使用ください。
- 純正品は，厳しい検査に合格し，その品質が保証されています。
  また，三菱自動車販売会社を通じてお求めになれます。
- 新車時の性能と快適な乗り心地を長く維持していただくために，点検や交換の際は，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 三菱自動車指定の純正品や油脂類以外のものを使用すると，故障などの原因になることがあります。
- 純正品には右のマークが貼ってあります。

MITSUBISHI MOTORS
GENUINE PARTS

事故が起きたときは！

あわてずにつぎの処置をしてください。

●継続事故防止

続発事故を防ぐため，車を路肩などの安全な場所に移動させ，エンジンを止めます。

●負傷者の救護

- 医師，救急車などが到着するまでの間，可能な応急手当を行います。
  この場合，とくに頭部に傷などがあるときは，そのままの姿勢で動かさないようにしますが，続発事故のおそれがあるときは安全な場所に移動させます。
- 外傷がなくても医師の診断を受けてください。
  後になってから後遺症が出るおそれがあります。

●警察への届け出

事故が発生した場所，状況および負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し指示を受けます。

●相手方の確認とメモ

相手方の氏名，住所，電話番号を確認し，事故の状況をメモします。

●ご購入された販売会社と保険会社への連絡

万一にそなえて

安心のため，自賠責保険（強制保険）のほかに任意自動車保険にも加入しましょう。
詳しくは三菱自動車販売会社へご相談ください。